
令和 2 年度岩手県職業能力開発基礎調査

アンケート結果について

<保護者用>

令和 3 年 1 月

目次

I. 調査概要			
1. 調査の目的	2	Q7	
2. 調査手法	2	分野別×地区別	29
2-1. 調査対象	2	Q8	
2-2. 対象高等学校及び生徒	2	重視する点×地区別	32
2-3. 調査票	2	重視する点×希望進路別	34
2-4. 調査方法	2	重視する点×進路先県内外別	36
2-5. 集計方法	3	重視する点×分野別	37
2-6. 調査期間	3	Q9	
2-7. アンケート項目	3	県内就職×男女別	41
3. 調査回答件数	4	県内就職×地区別	42
5. 調査実施機関	4	県内就職×学科別	43
6. 注意事項	4	県内就職×志望進路別	44
		(県北)県内就職×進路先県内外別	45
II. 回答企業の概要	5	Q10	
		県内就職してほしくない理由×男女別	46
III. 設問別の結果		県内就職してほしくない理由×地区別	47
III-1. 回答結果(単純集計)		県内就職してほしくない理由×進路先県内外別	48
Q1	6	Q11	
Q2	6	施設の認知度×男女別	49
Q3	6	施設の認知度×地区別	50
Q4	7	施設の認知度×学科別	51
Q5	7	施設の認知度(産技短×高技専の比較)	53
Q6	8	Q12	
Q7	8	施設への興味×男女別	54
Q8	9	施設への興味×地区別	55
Q9	9	施設への興味×学科別	56
Q10	10	施設への興味(産技短×高技専の比較)	58
Q11	10	Q13	
Q12	11	どの学科で学んで欲しいか×男女別	59
Q13	11	どの学科で学んで欲しいか×地区別	60
Q14	12	Q14	
Q15	12	魅力的な施設とするのために必要なこと×地区別	62
Q16	13	Q15	
Q17	13	二戸校認知度×地区別	65
		二戸校認知度×学科別	66
III-2. 回答結果(クロス集計)		Q16	
Q1	15	魅力的にするために必要なもの×地区別	67
Q2	15	Q17	
Q3	16	二戸校新設コース×男女別	70
Q4		二戸校新設コース×地区別	72
学科×男女別	17	二戸校新設コース×学科別	74
学科×地区別	18	二戸校新設コース×興味別	78
Q5		二戸校新設コース×県内就職希望別	80
希望進路×男女別	20	二戸校新設コース×進路先県内外別	83
希望進路×地区別	21	二戸校新設コース×分野別	84
希望進路×学科別	23	Q18	92
Q6		IV. 調査票	96
進路先県内外×地区別	26		
進路先県内外×希望進路別	27		

I. 調査概要

1. 調査の目的

現在、岩手県内の高等学校に通学している生徒及びその保護者を対象として将来の進路や就職等の職業意識を調査することにより、第11次岩手県職業能力開発計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）の策定及び「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる、県北地区の産業の未来を担う人材の育成に向けた施策の政策立案に寄与する基礎データを収集すること

2. 調査手法

県内高等学校2年生及びその保護者を対象として、職業能力開発に関するアンケート調査を実施して調査結果のデータを集計し、アンケート調査結果及びデータ集計を実施する

1. 調査対象

岩手県内に所在する全日制高等学校の2年生及び2年生の保護者

2. 対象高等学校及び生徒

- (ア) 高校2年生が在学する県内全日制高等学校77校（県立高校63校、盛岡市立高等学校1校、私立高等学校13校）
- (イ) 各高等学校2年生の1学科1クラスを調査対象とし、高校生本人と、その保護者を対象とした調査とする
- (ウ) 調査するクラスの選定については、調査対象の高等学校長の判断とする

3. 調査票

- (ア) 調査設問数は原則として選択方式とし、意見・要望等の自由記述を含めて17～18問とする
- (イ) 調査票はA3モノクロ版、両面刷りとし、一人当たり1枚の調査票とする
- (ウ) 1つの高等学校に対して、想定される1クラス分に加え、予備部数も配布する

4. 調査方法

- (ア) 設問の内容及びアンケート用紙の様式については県と協議の上で決定する
- (イ) 調査は、郵送配布・郵送回収を基本とする
- (ウ) 調査票には別途県が準備する高等学校長あて調査依頼文書を同封する

5. 集計方法

- (ア) 高校2年生及び保護者、それぞれについて設問ごとに単純及びクロス集計を行う
(イ) 回収した調査結果については、契約完了後も分析を行いやすい形式で電子データ化する

6. 調査期間

令和2年10月～令和3年1月

7. アンケート項目

県と協議の上決定した質問項目は下記の通り

※高校生と保護者は設問内容共通、そのため表現方法が変わる場合がある

※アンケート調査票は本報告書の巻末に添付

Q 1. あなた・お子様の性別を教えてください ※保護者向けは設問Q 2として、記入される保護者の方の性別をヒアリング そのため以降、設問数は1つずつ
Q 3. あなたが住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください
Q 4. あなた・お子様の所属している学科をお答えください
Q 5. あなた・お子様が現在希望している進路をお答えください
Q 6. あなた・お子様が希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。
Q 7. あなた・お子様は、進学や就職にあたって、どのような分野を学びたいと考えていますか
Q 8. 職業や就職先を決める際に、重視する点は何ですか
Q 9. 将来、岩手県内の事業所に就職したいですか
Q 10. Q 9で④または⑤とお答えした方、その理由は何ですか
Q 11. 産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか
Q 12. あなたの進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか
Q 13. 産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どのような分野を学びたいですか
Q 14. より魅力的な施設にするには、何が必要だと思いますか
Q 15. 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか
Q 16. 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか
Q 17. 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれについてお答えください
Q 18. その他、意見・要望等（自由記載）

3. 有効回答件数

高校生・保護者向けに各 5, 960 件を発送（予備含む）。アンケート調査の結果、郵送により回答を得られたアンケート用紙は、高校生向けアンケート 3, 875 件、保護者向け 3, 399 件であった。

4. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ盛岡支店

5. 注意事項

- 図表中の構成比率は、小数点以下を四捨五入している。
- 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるため、設問ごとに総数が異なることがある。また比率の合計は 100%を超えることがある。
- 図表中の「n」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数である
- 設問により無回答もあるので、設問ごとに総数が異なることがある。
- 分析結果については、「その他」や少数意見については傾向分析としては適さないため分析は控えている。但し貴重な意見として、各設問毎に記載する。

Ⅱ. 回答対象の概要

1. 高校別件数

市町村、振興圏別件数については、本設問 Q 1～Q 3 を参照

	no.	高校名	高校生	保護者	合計	
県立	1	盛岡第一高等学校	67	67	134	
	2	盛岡第二高等学校	41	38	79	
	3	盛岡第三高等学校	38	36	74	
	4	盛岡第四高等学校	42	42	84	
	5	盛岡北高等学校	41	40	81	
	6	盛岡南高等学校	68	66	134	
	7	不来方高等学校	39	39	78	
	9	盛岡農業高等学校	165	113	278	
	10	盛岡工業高等学校	240	192	432	
	11	盛岡商業高等学校	120	119	239	
	12	沼宮内高等学校	22	20	42	
	13	葛巻高等学校	19	13	32	
	14	平館高等学校	40	38	78	
	15	雫石高等学校	25	25	50	
	16	紫波総合高等学校	24	21	45	
	17	花巻北高等学校	31	30	61	
	18	花巻南高等学校	40	28	68	
	19	花巻農業高等学校	121	118	239	
	20	花北青雲高等学校	116	110	226	
	21	大迫高等学校	29	29	58	
	22	遠野高等学校	26	26	52	
	23	遠野緑峰高等学校	48	38	86	
	24	黒沢尻北高等学校	32	32	64	
	25	北上翔南高等学校	33	33	66	
	26	黒沢尻工業高等学校	189	139	328	
	27	西和賀高等学校	19	19	38	
	28	水沢高等学校	56	52	108	
	29	水沢農業高等学校	49	39	88	
	30	水沢工業高等学校	151	145	296	
	31	水沢商業高等学校	97	83	180	
	32	前沢高等学校	23	23	46	
	33	金ヶ崎高等学校	17	17	34	
	34	岩谷堂高等学校	40	40	80	
	35	一関第一高等学校	62	60	122	
	36	一関第二高等学校	33	20	53	
	37	一関工業高等学校	122	121	243	
	38	花泉高等学校	33	33	66	
	39	大東高等学校	47	42	89	
	40	千厩高等学校	87	75	162	
	県立	41	高田高等学校	33	33	66
42		大船渡高等学校	39	38	77	
43		大船渡東高等学校	87	78	165	
44		住田高等学校	32	30	62	
45		釜石高等学校	64	47	111	
46		釜石商工高等学校	92	75	167	
47		大槌高等学校	20	17	37	
48		山田高等学校	30	28	58	
49		宮古高等学校	35	34	69	
50		宮古北高等学校	24	19	43	
51		宮古商工高等学校	66	63	129	
52		宮古水産高等学校	43	33	76	
53		岩泉高等学校	26	26	52	
54		久慈高等学校	47	36	83	
55		久慈東高等学校	0	0	0	
56		久慈工業高等学校	31	19	50	
57		種市高等学校	44	36	80	
58		大野高等学校	27	26	53	
59		軽米高等学校	21	20	41	
60		伊保内高等学校	20	15	35	
61		福岡高等学校	43	42	85	
62		福岡工業高等学校	45	31	76	
63		一戸高等学校	31	31	62	
64		盛岡市立高等学校	0	0	0	
市立		65	岩手高等学校	28	23	51
私立		66	岩手女子高等学校	72	70	142
		67	盛岡白百合学園高等学校	36	28	64
		68	江南義塾盛岡高等学校	38	37	75
		69	盛岡誠桜高等学校	40	27	67
		70	盛岡大学付属高等学校	31	23	54
		71	盛岡スコーレ高等学校	14	16	30
		72	盛岡中央高等学校	33	32	65
		73	花巻東高等学校	34	32	66
	74	専修大学北上高等学校	82	55	137	
	75	協和学院水沢第一高等学校	0	0	0	
	76	一関学院高等学校	29	21	50	
	77	一関修紅高等学校	46	37	83	
		総計	3875	3399	7274	

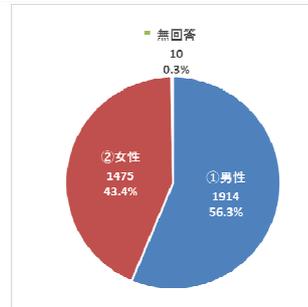
Ⅲ－１．回答結果（単純集計）

※分析結果についてはクロス集計にて行う

Q1. お子様の性別をお答えください。

(単位:人)

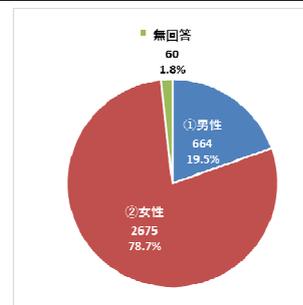
	n=	①男性	②女性	無回答
回答数	3399	1914	1475	10
構成比	100.0%	56.3%	43.4%	0.3%



Q2. 保護者の方の性別をお答えください。

(単位:人)

	n=	①男性	②女性	無回答
回答数	3399	664	2675	60
構成比	100.0%	19.5%	78.7%	1.8%



Q3. 保護者の方が住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。

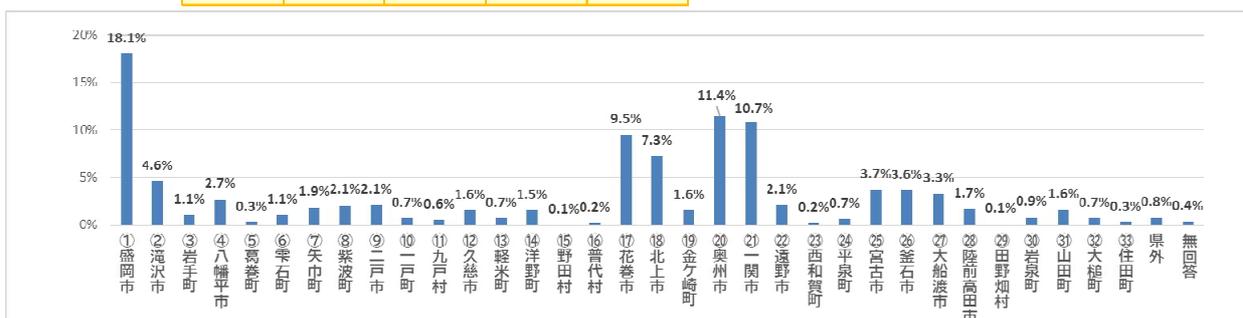
(単位:人)

	n=	①盛岡市	②滝沢市	③岩手町	④八幡平市	⑤葛巻町	⑥雫石町	⑦矢巾町	⑧紫波町	⑨二戸市	⑩一戸町
回答数	3399	614	158	37	91	10	37	63	71	72	24
構成比	100.0%	18.1%	4.6%	1.1%	2.7%	0.3%	1.1%	1.9%	2.1%	2.1%	0.7%

	⑪九戸村	⑫久慈市	⑬軽米町	⑭洋野町	⑮野田村	⑯普代村	⑰花巻市	⑱北上市	⑲金ケ崎町	⑳奥州市
回答数	20	54	24	52	2	7	322	247	54	388
構成比	0.6%	1.6%	0.7%	1.5%	0.1%	0.2%	9.5%	7.3%	1.6%	11.4%

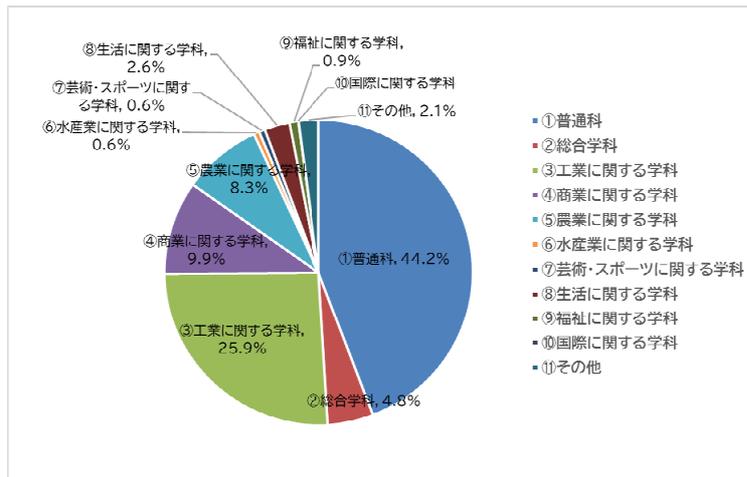
	㉑一関市	㉒遠野市	㉓西和賀町	㉔平泉町	㉕宮古市	㉖釜石市	㉗大船渡市	㉘陸前高田市	㉙田野畑村	㉚岩泉町
回答数	365	73	8	23	125	124	113	58	4	29
構成比	10.7%	2.1%	0.2%	0.7%	3.7%	3.6%	3.3%	1.7%	0.1%	0.9%

	㉛山田町	㉜大槌町	㉝住田町	県外	無回答
回答数	55	25	10	26	14
構成比	1.6%	0.7%	0.3%	0.8%	0.4%



Q4. お子様の所属している学科をお答えください。

	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他
回答数	3365	1489	161	870	333	279	20	21	89	31	1	71
構成比	100.0%	44.2%	4.8%	25.9%	9.9%	8.3%	0.6%	0.6%	2.6%	0.9%	0.0%	2.1%

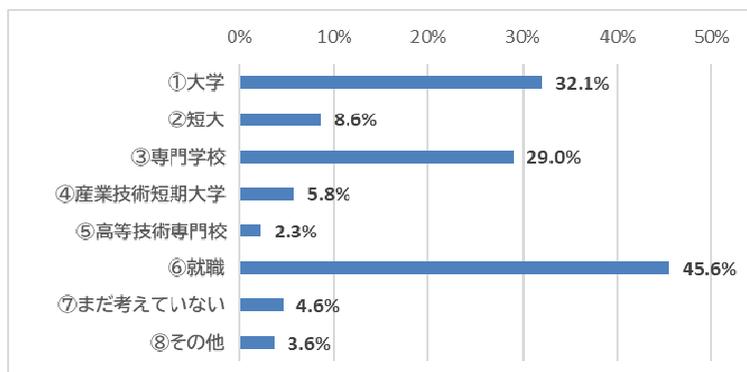


Q5. 保護者の方が希望している進路をお答えください。(複数回答可)

(単位:人)

	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学	⑤高等技術専門学校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3378	1084	292	980	195	77	1539	156	123
構成比		32.1%	8.6%	29.0%	5.8%	2.3%	45.6%	4.6%	3.6%

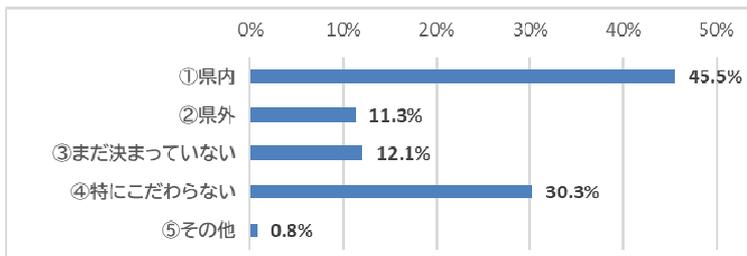
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q6. 保護者の方が希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。

(単位:人)

	n=	①県内	②県外	③まだ決ま っていない	④特にこだ わらない	⑤その他
回答数	3376	1537	383	408	1022	26
構成比	100.0%	45.5%	11.3%	12.1%	30.3%	0.8%



Q7. お子様には、進学や就職にあたって、どのような分野に進んでほしいと考えていますか。(2つ以内)

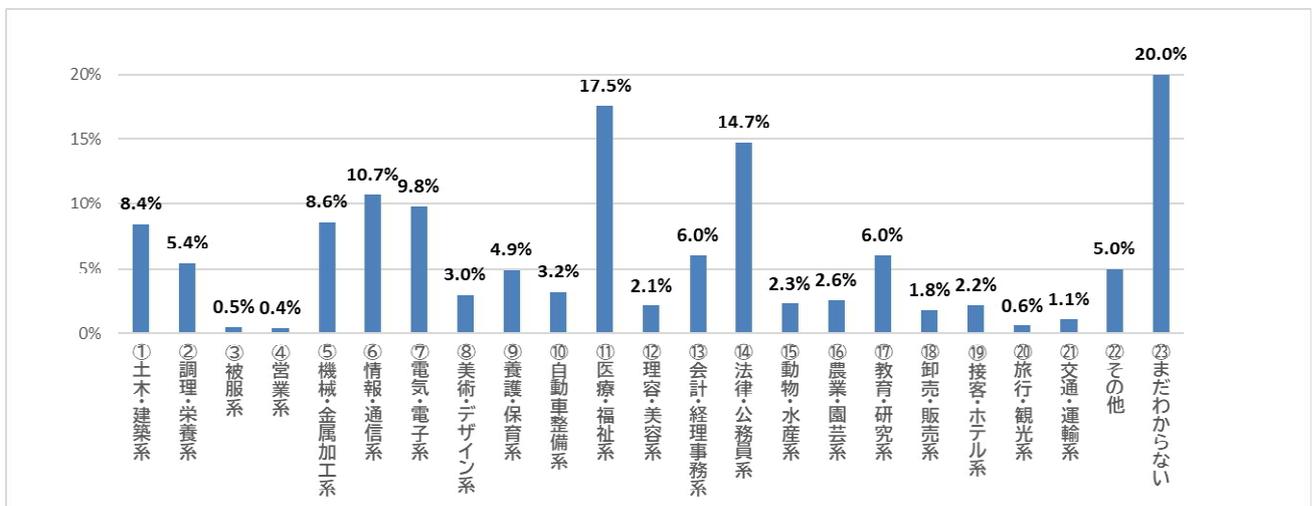
(単位:人)

n=	①土木・建築系	②調理・栄養系	③被服系	④営業系	⑤機械・金属加工系	⑥情報・通信系	⑦電気・電子系	⑧美術・デザイン系	⑨養護・保育系	⑩自動車整備系	
回答数	3370	284	182	16	14	289	361	329	100	166	108
構成比	8.4%	5.4%	0.5%	0.4%	8.6%	10.7%	9.8%	3.0%	4.9%	3.2%	

	⑪医療・福祉系	⑫理容・美容系	⑬会計・経理事務系	⑭法律・公務員系	⑮動物・水産系	⑯農業・園芸系	⑰教育・研究系	⑱卸売・販売系	⑲接客・ホテル系	⑳旅行・観光系
回答数	591	72	203	497	77	86	202	61	73	20
構成比	17.5%	2.1%	6.0%	14.7%	2.3%	2.6%	6.0%	1.8%	2.2%	0.6%

	㉑交通・運輸系	㉒その他	㉓まだわからない
回答数	37	167	673
構成比	1.1%	5.0%	20.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



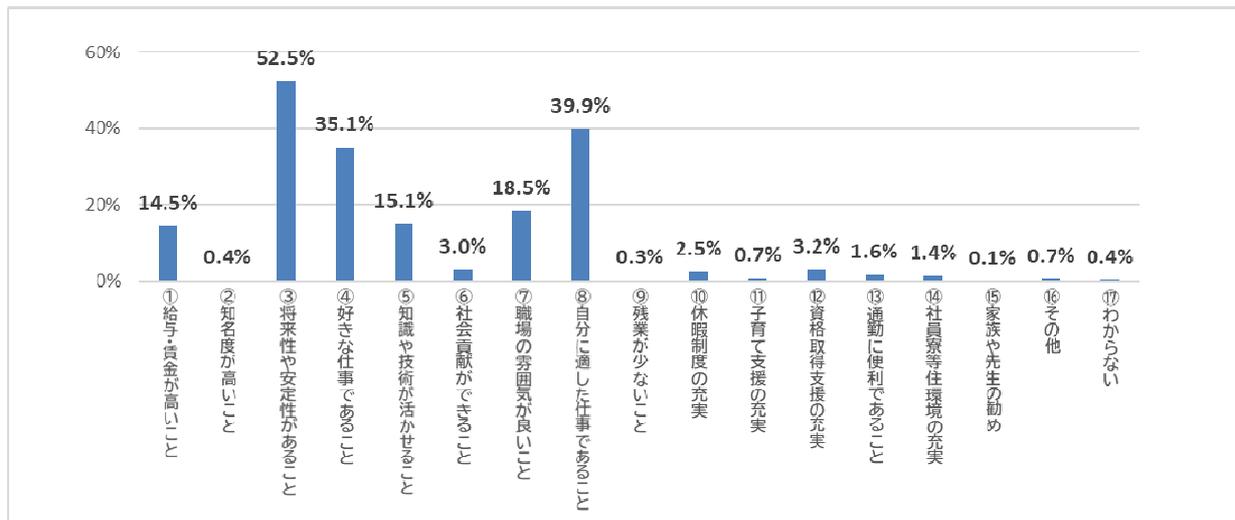
Q8. 職業や就職先を決める際に、重視してほしい点は何ですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実
回答数	3346	484	13	1756	1173	505	101	619	1336	10	85
構成比		14.5%	0.4%	52.5%	35.1%	15.1%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.5%

	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勤め	⑯その他	⑰わからない
回答数	25	106	54	47	3	23	14
構成比	0.7%	3.2%	1.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.4%

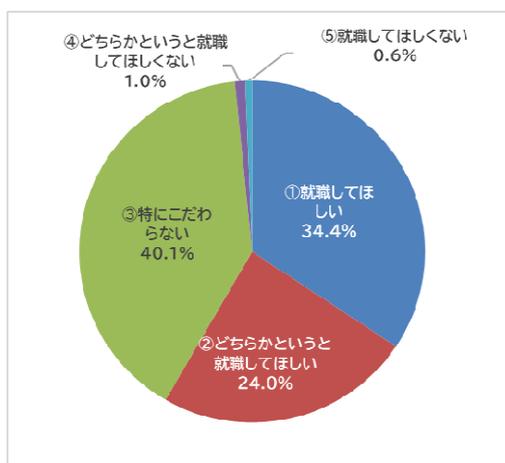
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q9. 将来、岩手県内の事業所に就職してほしいですか。

(単位:人)

	n=	①就職してほしい	②どちらかという就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	3339	1147	801	1338	32	21
構成比	100.0%	34.4%	24.0%	40.1%	1.0%	0.6%

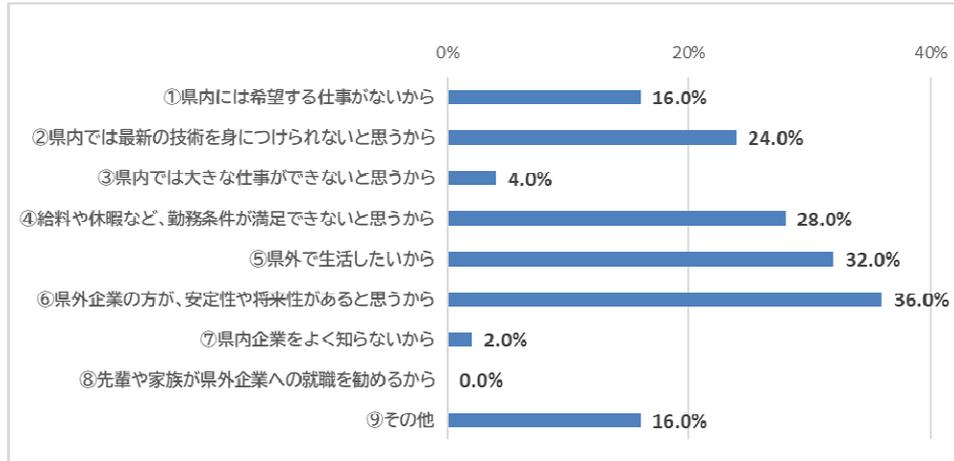


Q10. Q9で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活したいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	50	8	12	2	14	16	18	1	0	8
構成比		16.0%	24.0%	4.0%	28.0%	32.0%	36.0%	2.0%	0.0%	16.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q11. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか。

産業技術短期大学校

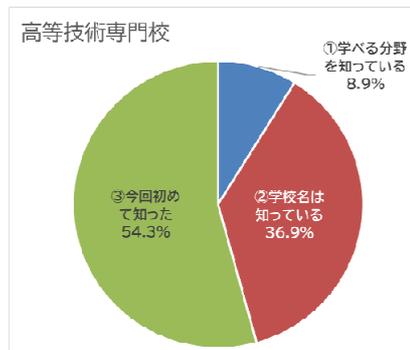
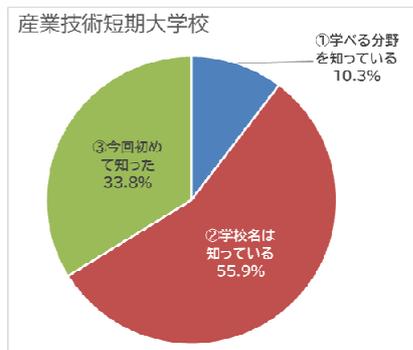
(単位:人)

	n=	①学べる分野を知っている	②学校名を知っている	③今回初めて知った
回答数	3312	341	1850	1121
構成比	100.0%	10.3%	55.9%	33.8%

高等技術専門校

(単位:人)

	n=	①学べる分野を知っている	②学校名を知っている	③今回初めて知った
回答数	3161	280	1165	1716
構成比	100.0%	8.9%	36.9%	54.3%



Q12. お子様の進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

産業技術短期大学校

(単位:人)

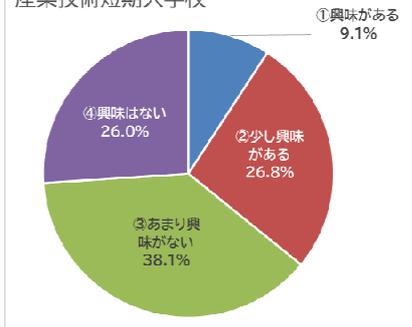
	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3285	300	879	1251	855
構成比	100.0%	9.1%	26.8%	38.1%	26.0%

高等技術専門校

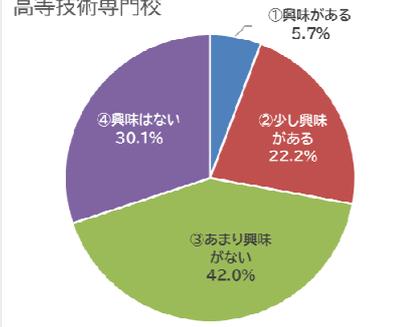
(単位:人)

	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3177	181	705	1335	956
構成比	100.0%	5.7%	22.2%	42.0%	30.1%

産業技術短期大学校



高等技術専門校



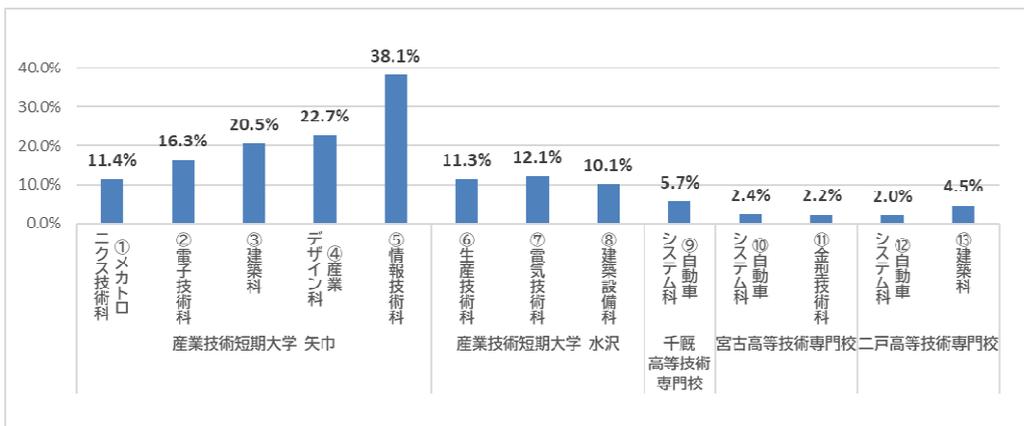
Q13. お子様を産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学させるとしたら、どの学科で学んでほしいですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	産業技術短期大学 矢巾					産業技術短期大学 水沢		
		①メカトロニクス技術科	②電子技術科	③建築科	④産業デザイン科	⑤情報技術科	⑥生産技術科	⑦電気技術科	⑧建築設備科
回答数	2839	323	463	581	645	1083	322	343	286
構成比		11.4%	16.3%	20.5%	22.7%	38.1%	11.3%	12.1%	10.1%

千厩高等技術専門校	宮古高等技術専門校	二戸高等技術専門校
⑨自動車システム科	⑩自動車システム科	⑪金型技術科
⑫自動車システム科	⑬建築科	
161	68	62
5.7%	2.4%	2.2%
		58
		128
		2.0%
		4.5%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

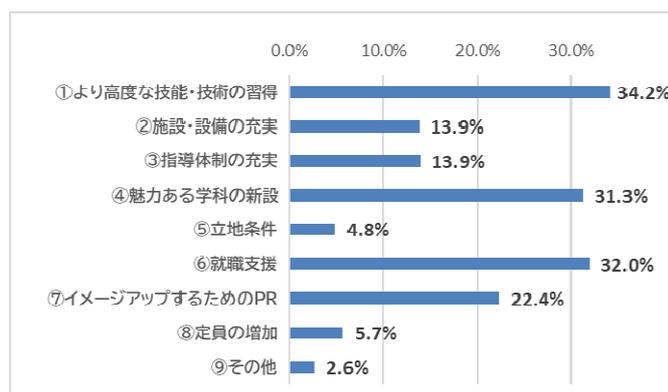


Q 14. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が重要だと思いますか。（2つ以内）

(単位:人)

	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3162	1081	438	440	989	153	1011	707	181	83
構成比		34.2%	13.9%	13.9%	31.3%	4.8%	32.0%	22.4%	5.7%	2.6%

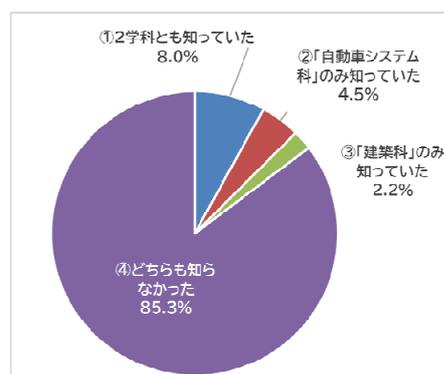
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q 15. 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等技術専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

(単位:人)

	n=	①2学科とも知っていた	②「自動車システム科」のみ知っていた	③「建築科」のみ知っていた	④どちらも知らなかった
回答数	3284	262	147	73	2802
構成比	100.0%	8.0%	4.5%	2.2%	85.3%

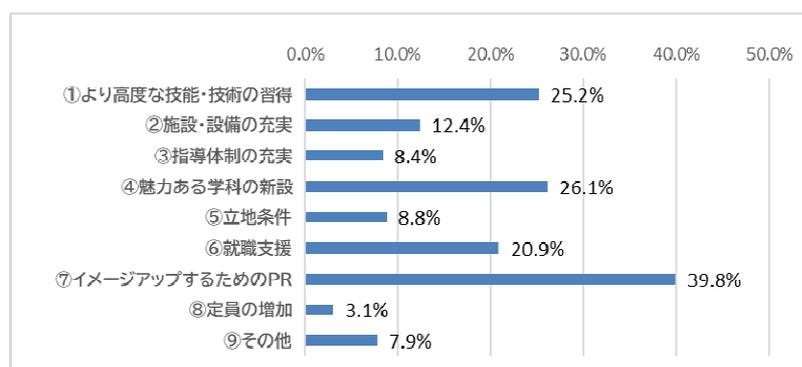


Q16. 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

(単位:人)

	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3107	782	385	260	812	273	649	1238	95	244
構成比		25.2%	12.4%	8.4%	26.1%	8.8%	20.9%	39.8%	3.1%	7.9%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



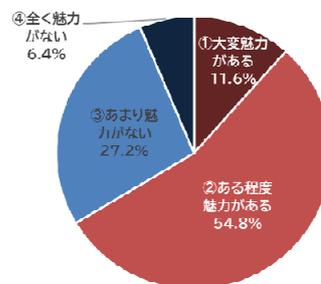
Q17. 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれにお答えください。

I. 食品の加工技術など

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3079	358	1687	837	197
構成比	100.0%	11.6%	54.8%	27.2%	6.4%

I. 食品の加工技術など

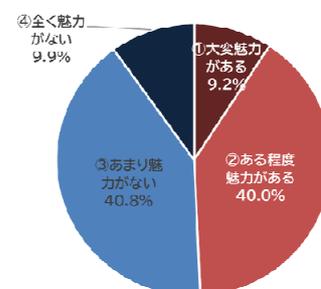


II. アパレル・ファッション

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3079	284	1233	1256	306
構成比	100.0%	9.2%	40.0%	40.8%	9.9%

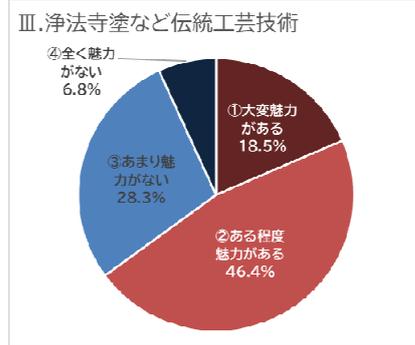
II. アパレル・ファッション



Ⅲ.浄法寺塗など伝統工芸技術

(単位:人)

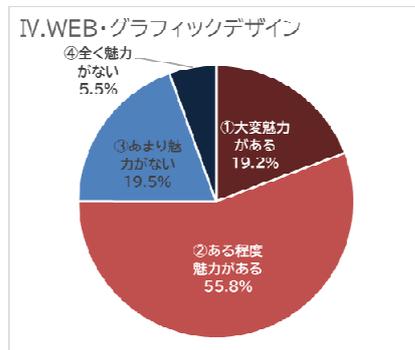
	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3076	569	1428	870	209
構成比	100.0%	18.5%	46.4%	28.3%	6.8%



Ⅳ.WEB・グラフィックデザイン

(単位:人)

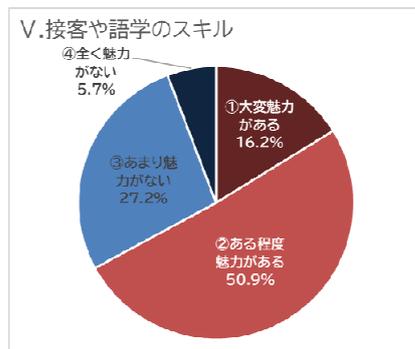
	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3087	593	1723	601	170
構成比	100.0%	19.2%	55.8%	19.5%	5.5%



Ⅴ.接客や語学のスキル

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3076	497	1566	837	176
構成比	100.0%	16.2%	50.9%	27.2%	5.7%



Ⅲ－２．回答結果（クロス集計）

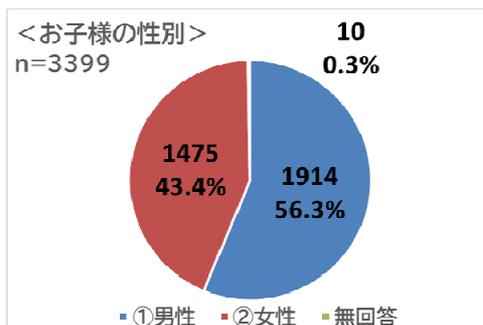
Q1.お子様の性別をお答えください。

Q2.保護者の方の性別をお答えください。

【お子様の性別】

(単位:人)

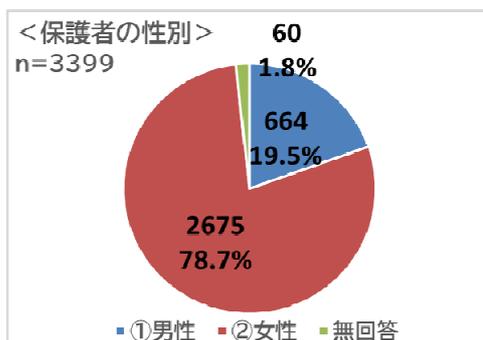
<お子様の性別>	n=	構成比
回答数	3399	100.0%
①男性	1914	56.3%
②女性	1475	43.4%
無回答	10	0.3%



【保護者の性別】

(単位:人)

<保護者の性別>	n=	構成比
回答数	3399	100.0%
①男性	664	19.5%
②女性	2675	78.7%
無回答	60	1.8%



【地区×男女別】

(単位:人)

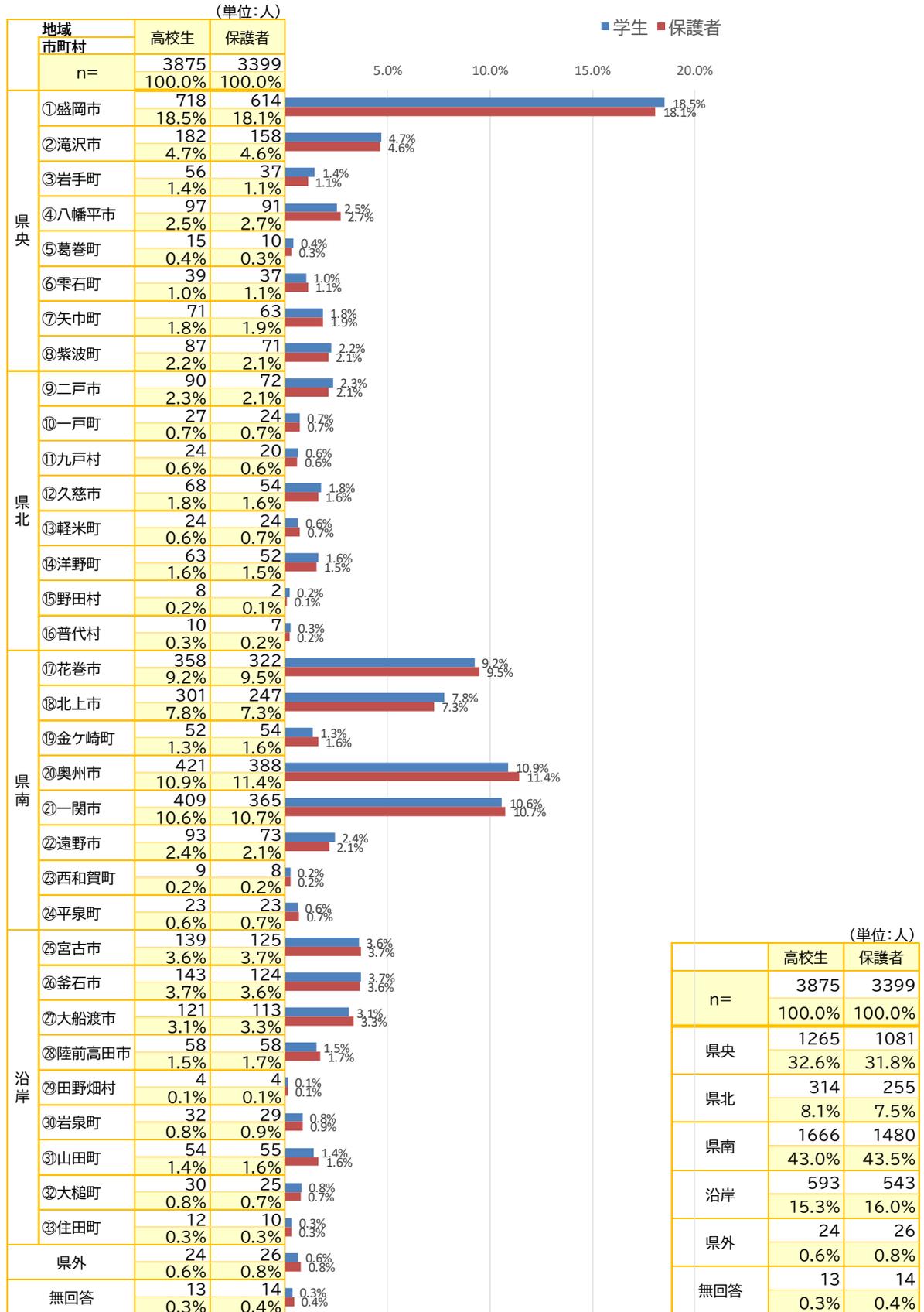
<地域別>	n=	①男性	②女性
回答数	3339	664	2675
	100.0%	19.9%	80.1%
(県央)	1063	178	885
	100.0%	16.7%	83.3%
(県北)	252	46	206
	100.0%	18.3%	81.7%
(県南)	1453	345	1108
	100.0%	23.7%	76.3%
(沿岸)	537	84	453
	100.0%	15.6%	84.4%
(県外)	25	8	17
	100.0%	32.0%	68.0%
無回答	9	3	6
	100.0%	33.3%	66.7%

県内全日制高等学校77校に実施
各高等学校2年生の1学科1クラスを調査対象とし
県内高校生の保護者3,339名からの回答を得た。
男女比は左表の通り。

- 県央 1,063名 (31.8%)
- 県北 252名 (7.5%)
- 県南 1,453名 (43.5%)
- 沿岸 537名 (16.1%)
- 県外 25名 (0.7%)
- 無回答 9名 (0.3%)

尚、1学校1クラスが調査対象となるため、学科数や
1クラス人数などにより県南の回答数が多くなっている。

Q3. 保護者の方が住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。

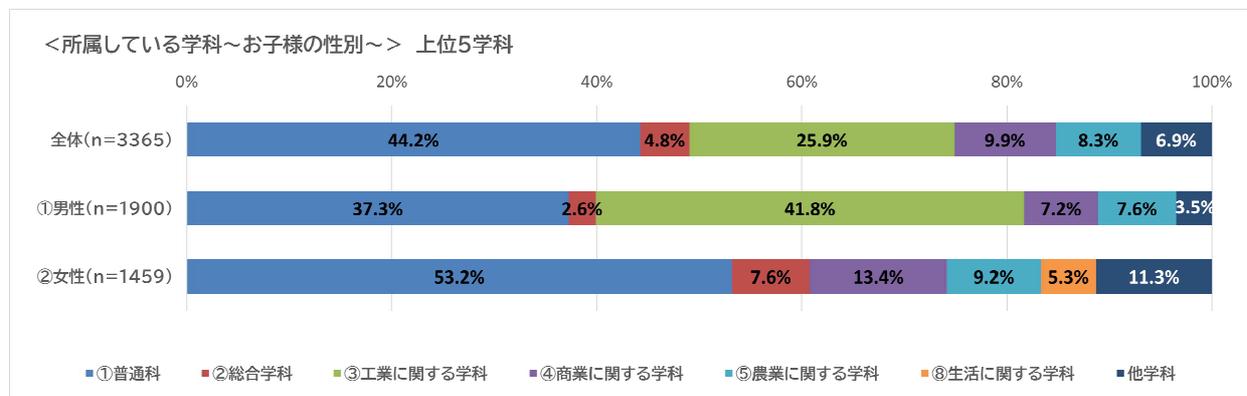


Q4. お子様の所属している学科をお答えください。

【学科×男女別】

(単位:人)

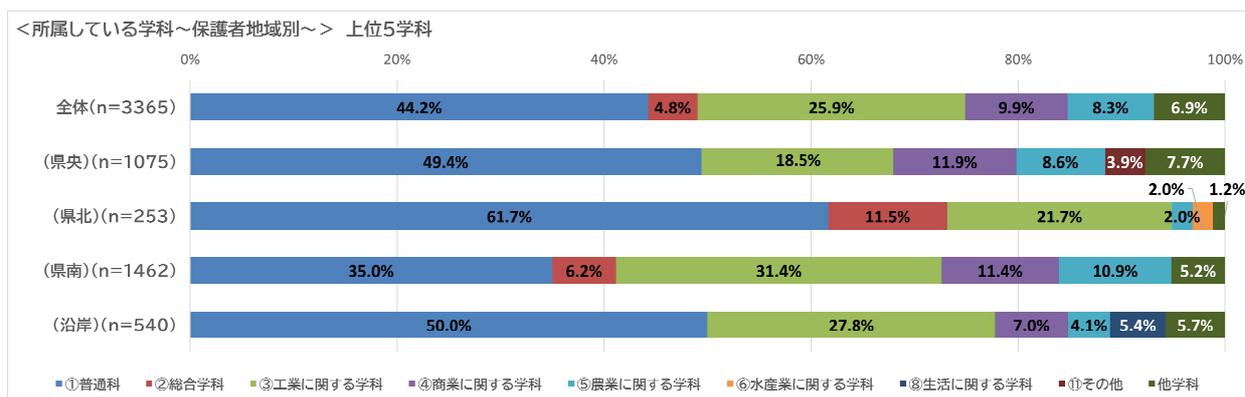
<お子様の性別>	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他
回答人数	3365	1489	161	870	333	279	20	21	89	31	1	71
	100.0%	44.2%	4.8%	25.9%	9.9%	8.3%	0.6%	0.6%	2.6%	0.9%	0.0%	2.1%
①男性	1900	708	50	794	137	145	14	16	11	2	1	22
	100.0%	37.3%	2.6%	41.8%	7.2%	7.6%	0.7%	0.8%	0.6%	0.1%	0.1%	1.2%
②女性	1459	776	111	76	195	134	6	5	78	29	0	49
	100.0%	53.2%	7.6%	5.2%	13.4%	9.2%	0.4%	0.3%	5.3%	2.0%	0.0%	3.4%
無回答	6	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



【学科×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他
回答人数	3365	1489	161	870	333	279	20	21	89	31	1	71
	100.0%	44.2%	4.8%	25.9%	9.9%	8.3%	0.6%	0.6%	2.6%	0.9%	0.0%	2.1%
(県央)	1075	531	32	199	128	92	1	11	12	27	0	42
	100.0%	49.4%	3.0%	18.5%	11.9%	8.6%	0.1%	1.0%	1.1%	2.5%	0.0%	3.9%
(県北)	253	156	29	55	0	5	5	0	1	0	1	1
	100.0%	61.7%	11.5%	21.7%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%
(県南)	1462	511	91	459	166	159	0	9	47	4	0	16
	100.0%	35.0%	6.2%	31.4%	11.4%	10.9%	0.0%	0.6%	3.2%	0.3%	0.0%	1.1%
(沿岸)	540	270	7	150	38	22	13	1	29	0	0	10
	100.0%	50.0%	1.3%	27.8%	7.0%	4.1%	2.4%	0.2%	5.4%	0.0%	0.0%	1.9%
(県外)	26	18	1	3	0	1	1	0	0	0	0	2
	100.0%	69.2%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
無回答	9	3	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



【その他記載】

②総合学科（分野）

<総合学科の分野>	
IT	1
ビジネス科	1
家庭	2
家庭コース	1
家庭科	1
介護福祉	1
介護福祉系列	1
海洋開発	1
環境学科	1
看護	21
芸術	1
工業系列	1
産業工学	1
自然	6
自然科学	3
自然系列	3
商業科	1
商業系列	1
情報	10
情報・経済	12
情報ビジネス	5
情報系	2
情報系列	5
情報処理	2
情報処理科	2
食物	1
食物科	1
食物文化科	1
進学	2
人文	4
人文科学	1
人文科学学系	1
人文科学系列	2
人文系列	1
生活・文化系列 家庭	1
生活福祉	2
生活文化	1
生活文化系	1
総合情報	1
体育科	4
農業	4
農業科	1
農業生活文化	1
普通	1
福祉	1
文系	1
保育コース	1
幼児教育	1
理数	1
理数科含む	1
理数系	1

①①その他

<その他>	
インテリア科	1
家政科	2
家政科学科	3
海洋開発	1
看護	12
建築・デザイン科	1
建築デザイン	1
自動車	2
自動車科	3
情報ビジネス	1
食に関する学科	1
食農に関する学科	1
食品	1
食物	2
食物科	1
食物文化	2
食物文化に関する学科	1
食物文化科	1
進学	1
人間科学	1
調理	1
調理(食物科)	1
土木	3
土木科	2
文系	1
保育に関する学科	1

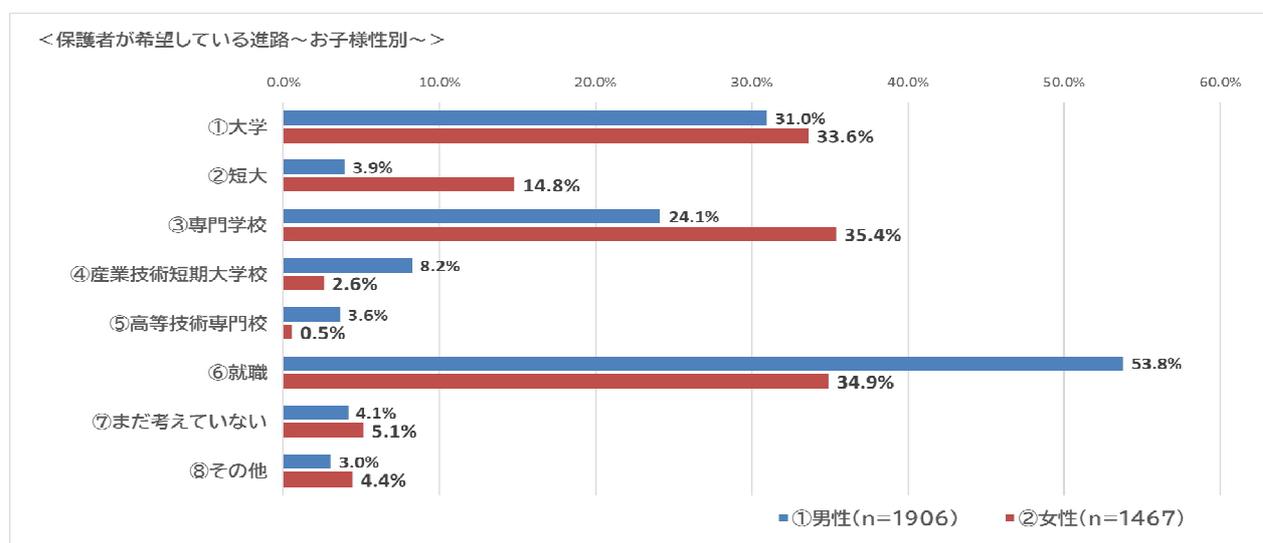
Q5. 保護者の方が希望している進路をお答えください。（複数回答可）

【希望進路×男女別】

(単位:人)

<お子様性別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学校	⑤高等技術専門学校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3378	1084	292	980	195	77	1539	156	123
		32.1%	8.6%	29.0%	5.8%	2.3%	45.6%	4.6%	3.6%
①男性	1906	590	75	460	157	69	1025	79	58
		31.0%	3.9%	24.1%	8.2%	3.6%	53.8%	4.1%	3.0%
②女性	1467	493	217	519	38	8	512	75	65
		33.6%	14.8%	35.4%	2.6%	0.5%	34.9%	5.1%	4.4%
無回答	5	1	0	1	0	0	2	2	0
		20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



保護者が希望している進路として、「就職」が 45.6%と最も高い。次いで「大学」の 32.1%、「専門学校」の 29.0%と続く。

男女別（お子様）でみると、「男性」は「就職」が最も高く 53.8%、次いで「大学」の 31.0%、「専門学校」の 24.1%であるのに対して、「女性」は「専門学校」が 35.4%と最も高く、次いで「就職」の 34.9%、「大学」の 33.6%となっている。また高校生同様に、「大学」、「短大」、「専門学校」ともに「女性」のほうが進路先として希望している割合が「男性」より高く、一方で「産業技術短期大学校」や「高等技術専門学校」、「就職」は「男性」のほうが高い。「産業技術短期大学校」や「高等技術専門学校」の希望者は他進路先と比べて少ないものの、保護者のうち、「産業技術短期大学校」には 195 名、「高等技術専門学校」には 77 名がお子様の進路先として希望している。

【希望進路×地区別】

(単位:人)

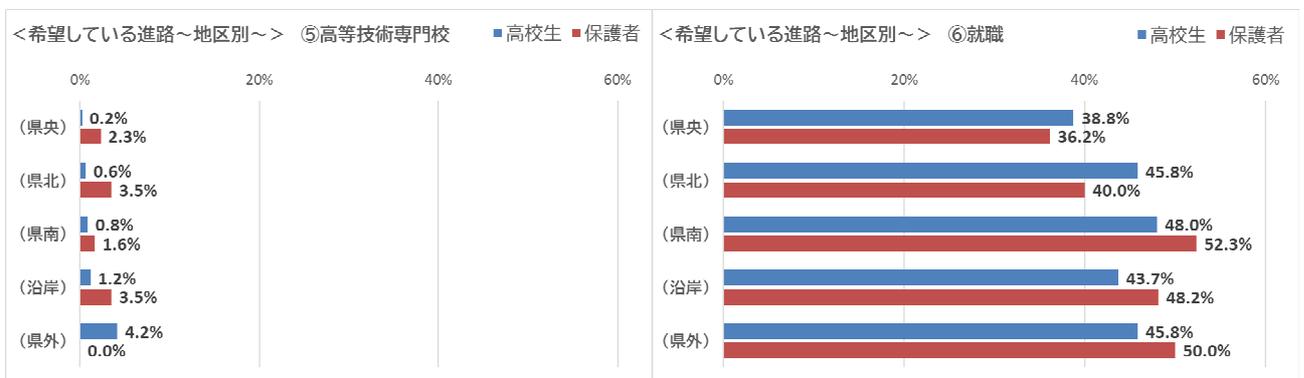
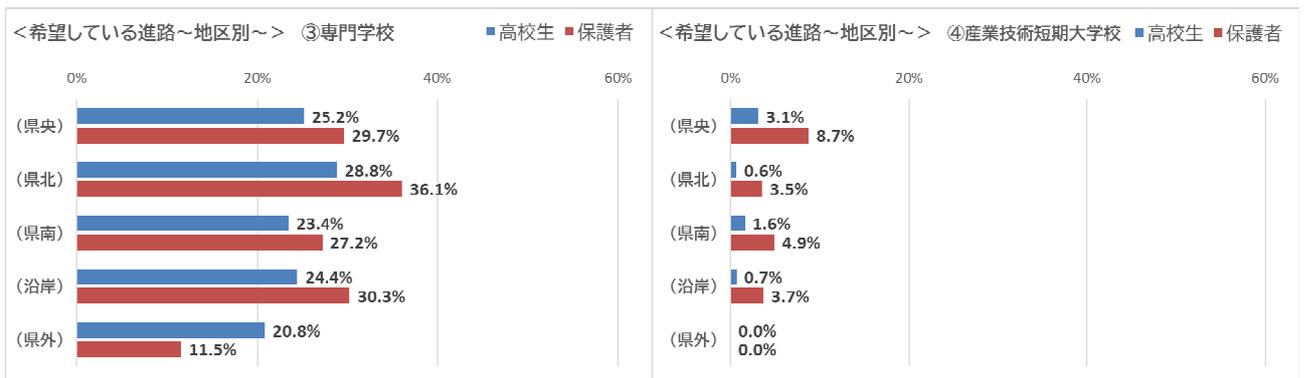
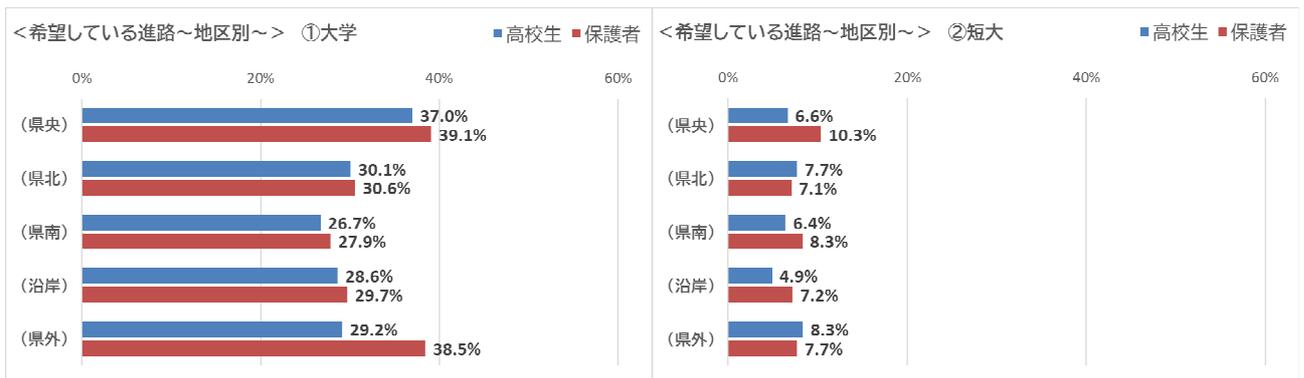
<保護者地区別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学校	⑤高等技術専門学校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3378	1084	292	980	195	77	1539	156	123
		32.1%	8.6%	29.0%	5.8%	2.3%	45.6%	4.6%	3.6%
(県央)	1075	420	111	319	94	25	389	60	47
		39.1%	10.3%	29.7%	8.7%	2.3%	36.2%	5.6%	4.4%
(県北)	255	78	18	92	9	9	102	15	7
		30.6%	7.1%	36.1%	3.5%	3.5%	40.0%	5.9%	2.7%
(県南)	1471	410	122	400	72	24	770	54	53
		27.9%	8.3%	27.2%	4.9%	1.6%	52.3%	3.7%	3.6%
(沿岸)	542	161	39	164	20	19	261	27	16
		29.7%	7.2%	30.3%	3.7%	3.5%	48.2%	5.0%	3.0%
(県外)	26	10	2	3	0	0	13	0	0
		38.5%	7.7%	11.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	5	0	2	0	0	4	0	0
		55.6%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

地区別にみると、高校生はいずれの地区も「就職」が最も高く、次いで、「大学」、「専門学校」が続いていたが、保護者は「県央」について「大学」がトップとなっている。

希望進路別にみると、「大学」は「県央」が最も高く、次いで「県北」、「沿岸」、「県南」と続く。「短大」については「県央」、「専門学校」は「県北」が最も高くなっている。尚、「産業短期大学校」は、「県央」が最も高く、次いで「県南」となり、「県北」は最も低く、高校生と同じ傾向。一方「高等技術専門学校」は、「県北」と「沿岸」が最も高く、「県央」、「県南」は低い。高校生では「沿岸」がトップであったが、保護者は「県北」と「沿岸」が同比率でトップとなった。

「県南」は「就職」を希望する割合が52.3%と約半数に達する一方で、「県央」は36.2%と16.1ポイントの差がついた。

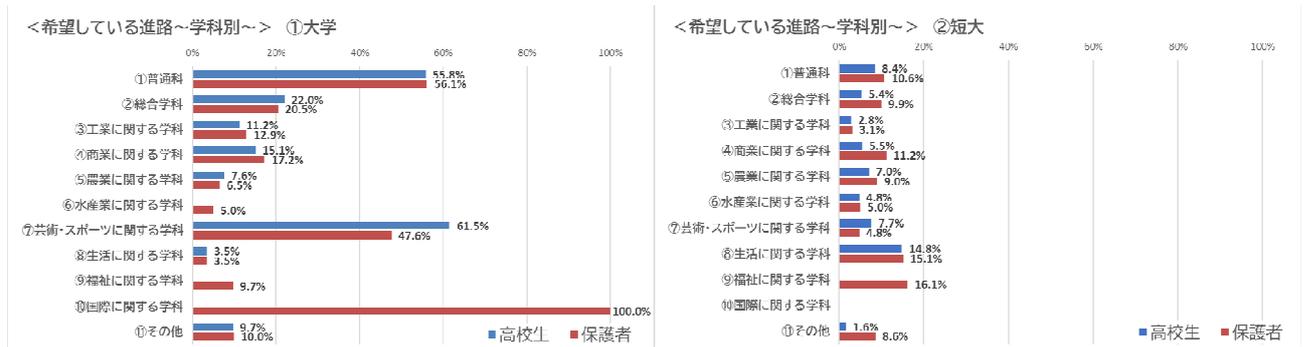


【希望進路×学科別】

(単位:人)

<学科別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学	⑤高等技術専門学校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3378	1085	292	980	195	77	1538	157	123
		32.1%	8.6%	29.0%	5.8%	2.3%	45.5%	4.6%	3.6%
①普通科	1484	833	158	484	42	16	338	60	33
		56.1%	10.6%	32.6%	2.8%	1.1%	22.8%	4.0%	2.2%
②総合学科	161	33	16	66	13	4	64	4	13
		20.5%	9.9%	41.0%	8.1%	2.5%	39.8%	2.5%	8.1%
③工業に関する学科	867	112	27	152	109	46	647	31	28
		12.9%	3.1%	17.5%	12.6%	5.3%	74.6%	3.6%	3.2%
④商業に関する学科	331	57	37	105	11	1	190	26	19
		17.2%	11.2%	31.7%	3.3%	0.3%	57.4%	7.9%	5.7%
⑤農業に関する学科	277	18	25	84	11	6	176	13	15
		6.5%	9.0%	30.3%	4.0%	2.2%	63.5%	4.7%	5.4%
⑥水産業に関する学科	20	1	1	5	2	0	11	3	2
		5.0%	5.0%	25.0%	10.0%	0.0%	55.0%	15.0%	10.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	21	10	1	7	1	0	6	3	0
		47.6%	4.8%	33.3%	4.8%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
⑧生活に関する学科	86	3	13	40	0	1	47	5	3
		3.5%	15.1%	46.5%	0.0%	1.2%	54.7%	5.8%	3.5%
⑨福祉に関する学科	31	3	5	12	1	0	15	1	1
		9.7%	16.1%	38.7%	3.2%	0.0%	48.4%	3.2%	3.2%
⑩国際に関する学科	1	1	0	0	0	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑪その他	70	7	6	17	3	2	34	8	8
		10.0%	8.6%	24.3%	4.3%	2.9%	48.6%	11.4%	11.4%
無回答	29	7	3	8	2	1	10	2	1
		24.1%	10.3%	27.6%	6.9%	3.4%	34.5%	6.9%	3.4%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



学科別（お子様）でみると、高校生同様、「普通科」と「芸術・スポーツに関する学科」は「大学」への進学希望が高いが、「総合学科」にて「専門学校」への進学が「就職」を超えた。その他学科では「就職」を希望する割合が高くなっている。

【その他記載】⑧

＜その他-保護者＞	
この先の希望を聞きたい	1
どちらでもかまわない	1
一番は本人の意思	1
家から近場	1
海外へ留学	1
看護科5年	1
希望ないです。	1
希望はない。	1
決めかねている	1
公務員	7
考えています。	1
考えの途中。	1
高専	1
高卒公務員	1
国立高専	1
黒工専攻科、一関工専4年へ編入	1
黒沢尻工業専攻科	1
子が希望する進路	1
子どもが希望している進路に賛同	1
子どもの意思を尊重する。	1
子にまかせる	1
子の考えを聞く	1
子の行きたい道。	1
子の望み通りで。	1
子供が希望する進路	1
子供が考えている進路を希望	1
子供が進みたい進路を親としても希望	1
子供の意見を尊重したい	1
子供の希望	2
子供の希望を尊重	1
子供の考えでよいと思う	1
子供自分決定	1
自由	1
自由に自分で決めたとこに進んでほしい	1
職業能力開発大学校	1
進学就職	1
盛農専攻科	1
専攻科	3
地方公務員	1
同校専攻科	1
特になし	1
特になし	1
特に具体的にない	1
防衛大学校	1
本人がやりたいことをやってほしい	1
本人が希望しているのと同じでよい。	1

本人が希望するところ	2
本人が希望する所	1
本人が希望する進路	1
本人が希望する進路。	1
本人が決めたところ	1
本人が決めた所	1
本人が進みたい道へ。	1
本人が進学を希望しているので、希望を叶えてあげたい。	1
本人が望む進路	1
本人しだい	1
本人にまかせています	1
本人にまかせます	1
本人に任せてある	1
本人に任せています	1
本人に任せる	1
本人のやりたいことを第一希望に	1
本人のやりたいように	1
本人の意志を尊重	1
本人の意思に添う	1
本人の意思を尊重したいと思いますができれば進学	1
本人の希望	7
本人の希望。進学でも就職でもよい	1
本人の希望が親の希望	1
本人の希望している進路	1
本人の希望するものに同意	1
本人の希望する進路	1
本人の希望する通りで	1
本人の希望に沿う	1
本人の希望に任せる	1
本人の希望の通りませる	1
本人の希望を尊重したい	1
本人の希望を尊重します	1
本人の希望を優先	1
本人の希望を優先したい	1
本人の希望通りに	1
本人の考え通り	1
本人希望を優先したい	1
本人希望進路	1
本人次第	3
本人第一	1
迷っているようですし、迷っています。	1
目標により必要な方へ	1
留学	1

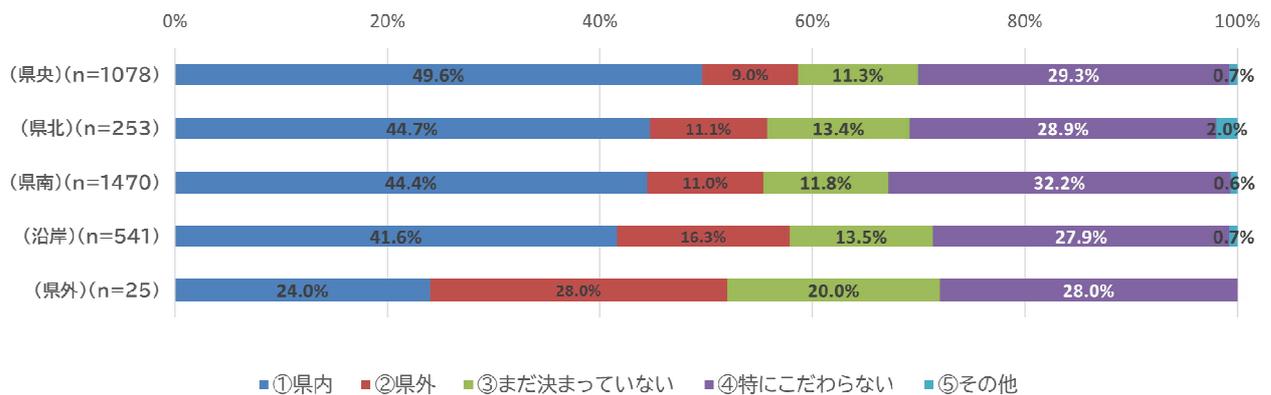
Q6. 保護者の方が希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。

【進路先県内外×地区別】

(単位:人)

<地区別>	n=	①県内	②県外	③まだ決まっていない	④特にこだわらない	⑤その他
回答数	3376	1537	383	408	1022	26
	100.0%	45.5%	11.3%	12.1%	30.3%	0.8%
(県央)	1078	535	97	122	316	8
	100.0%	49.6%	9.0%	11.3%	29.3%	0.7%
(県北)	253	113	28	34	73	5
	100.0%	44.7%	11.1%	13.4%	28.9%	2.0%
(県南)	1470	653	161	173	474	9
	100.0%	44.4%	11.0%	11.8%	32.2%	0.6%
(沿岸)	541	225	88	73	151	4
	100.0%	41.6%	16.3%	13.5%	27.9%	0.7%
(県外)	25	6	7	5	7	0
	100.0%	24.0%	28.0%	20.0%	28.0%	0.0%
無回答	9	5	2	1	1	0
	100.0%	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%

<保護者が希望している進路先～地域別～>



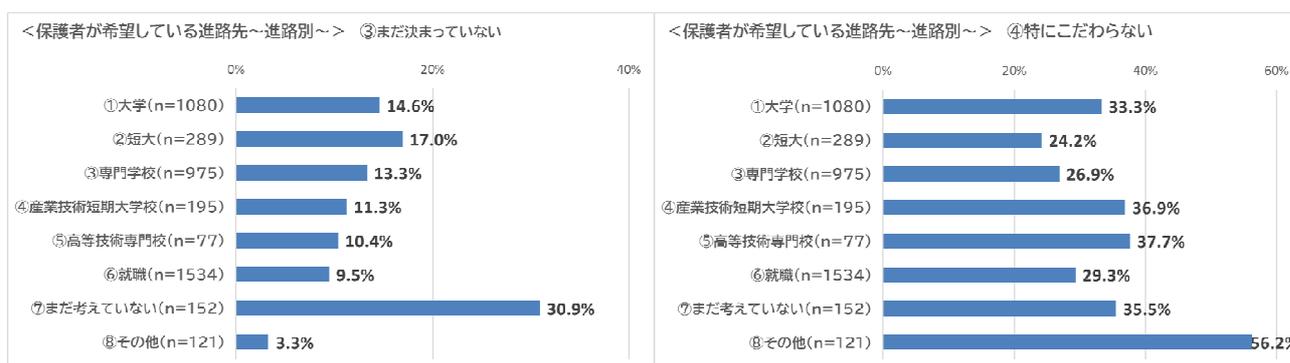
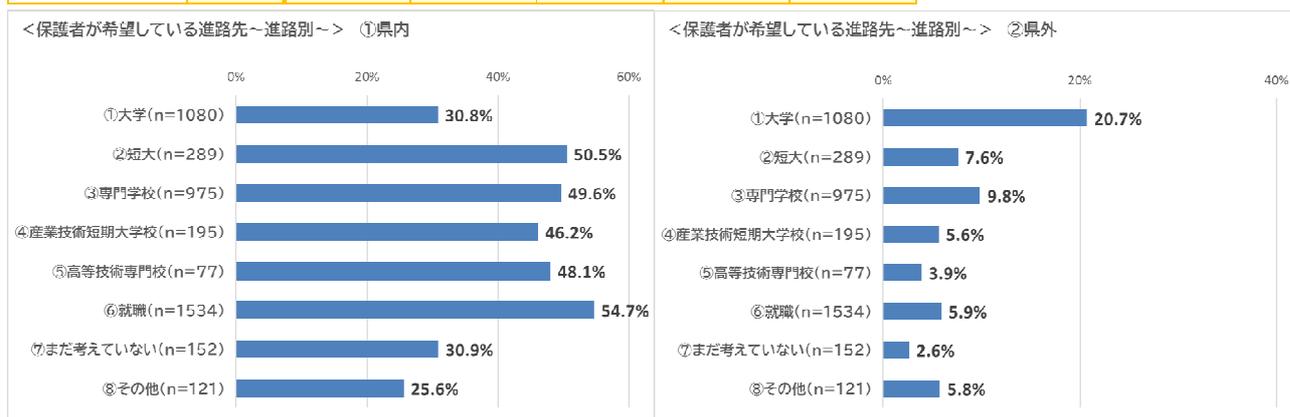
保護者が希望している進路先の県内・外を聞いたところ、「県内」が 45.5%と最も高く、次いで「特にこだわらない」が 30.3%と続く。一方「県外」は 11.3%と高校生と比べて大きく下回っている。尚、高校生の「県内」は 35.3%と 10.2 ポイント高く、「県外」は 32.8%と 21.5 ポイント低くなっている。

地区別で見ると、いずれの地区も「県内」を希望する割合が最も高い。尚、高校生アンケートでは、「県北」と「沿岸」は、「県内」より「県外」を希望する割合が高かった。「県内」とする割合が最も高いのは、「県央」で 49.6%、次いで「県北」の 44.7%と続き、いずれの地区の 4 割超え。「県北」の高校生は 28.4%であったが、保護者は 44.7%と 16.3 ポイントの差がついた。「県外」を希望する割合が最も高いのは、「沿岸」で 16.3%であるが、高校生より低い。最も低いのは「県央」の 9.0%。

【進路先県内外×希望進路先別】

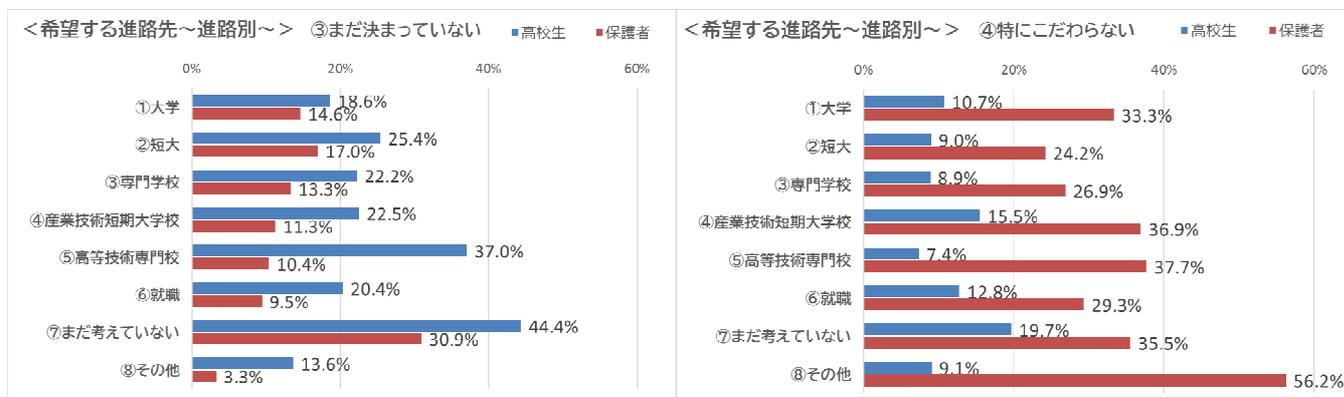
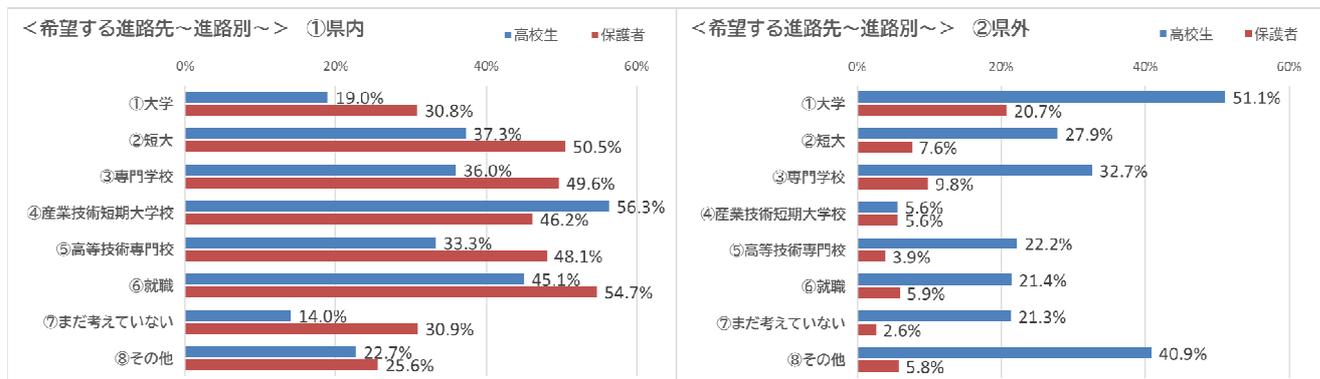
(単位:人)

<進路別>	n=	①県内	②県外	③まだ決まっていない	④特にこだわらない	⑤その他
回答数	3376	1537	383	408	1022	26
	100.0%	45.5%	11.3%	12.1%	30.3%	0.8%
①大学	1080	333	224	158	360	5
	100.0%	30.8%	20.7%	14.6%	33.3%	0.5%
②短大	289	146	22	49	70	2
	100.0%	50.5%	7.6%	17.0%	24.2%	0.7%
③専門学校	975	484	96	130	262	3
	100.0%	49.6%	9.8%	13.3%	26.9%	0.3%
④産業技術短期大学校	195	90	11	22	72	0
	100.0%	46.2%	5.6%	11.3%	36.9%	0.0%
⑤高等技術専門学校	77	37	3	8	29	0
	100.0%	48.1%	3.9%	10.4%	37.7%	0.0%
⑥就職	1534	839	91	145	450	9
	100.0%	54.7%	5.9%	9.5%	29.3%	0.6%
⑦まだ考えていない	152	47	4	47	54	0
	100.0%	30.9%	2.6%	30.9%	35.5%	0.0%
⑧その他	121	31	7	4	68	11
	100.0%	25.6%	5.8%	3.3%	56.2%	9.1%



希望進路先別でみると、「県内」とする割合が最も高いのは、「就職」の 54.7%、次いで「短大」の 50.5%、「専門学校」の 49.6%と続く。一方、「県外」とする割合が最も高いのは、「大学」の 20.7%、次いで「専門学校」の 9.8%、「短大」の 7.6%と続く。尚、「産業技術短期大学校」は「県内」希望が 46.2%。「県外」希望が 5.6%と低く、「高等技術専門学校」も「県内」が 48.1%、「県外」3.9%となっている。

【参考：高校生との比較 進路先県内外×希望進路先】



参考までに、高校生とその保護者の「県内」・「県外」の意向を比較してみると、保護者の方が全体的に「県内」志向が強い。ただ、「産業短期大学校」のみ、高校生の方が「県内」を選択した割合が高い。また保護者は「特にこだわらない」の割合も高い。

【その他記載】⑤

＜その他＞	
移動しやすい東北内	1
家から100キロ以内	1
希望就職先のある地域	1
子供自由	1
自宅外	1
東北	6
東北6県	1
東北地方	1
八戸、種市	1
本人が行きたいところで	1
本人が望む場所が一番	1
本人に任せる9	1
本人の意思で	1
本人の希望	2
本人の希望に任せる	1
本人次第	1

Q7. お子様には、進学や就職にあたって、どのような分野に進んでほしいと考えていますか。（2つ以内）

【分野別×地区別】【希望進路先が県外選択者】

(単位:人)

	Q2.地域別							Q5.②県外 選択者		
	回答数	(県央)	(県北)	(県南)	(沿岸)	(県外)	無回答	大学	短大	専門学校
n=	3370	1073	253	1471	538	26	9	223	22	96
①土木・建築系	284 8.4%	75 7.0%	25 9.9%	139 9.4%	43 8.0%	1 3.8%	1 11.1%	18 8.1%	0 0.0%	4 4.2%
②調理・栄養系	182 5.4%	47 4.4%	14 5.5%	74 5.0%	47 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	14 6.3%	5 22.7%	12 12.5%
③被服系	16 0.5%	7 0.7%	1 0.4%	7 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 0.9%	1 4.5%	1 1.0%
④営業系	14 0.4%	6 0.6%	1 0.4%	4 0.3%	3 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.8%	0 0.0%	0 0.0%
⑤機械・金属加工系	289 8.6%	52 4.8%	15 5.9%	170 11.6%	48 8.9%	1 3.8%	3 33.3%	9 4.0%	0 0.0%	3 3.1%
⑥情報・通信系	361 10.7%	116 10.8%	17 6.7%	181 12.3%	45 8.4%	1 3.8%	1 11.1%	33 14.8%	2 9.1%	14 14.6%
⑦電気・電子系	329 9.8%	76 7.1%	17 6.7%	188 12.8%	46 8.6%	1 3.8%	1 11.1%	8 3.6%	1 4.5%	4 4.2%
⑧美術・デザイン系	100 3.0%	35 3.3%	9 3.6%	43 2.9%	12 2.2%	1 3.8%	0 0.0%	7 3.1%	1 4.5%	9 9.4%
⑨養護・保育系	166 4.9%	53 4.9%	21 8.3%	71 4.8%	19 3.5%	1 3.8%	1 11.1%	5 2.2%	3 13.6%	8 8.3%
⑩自動車整備系	108 3.2%	22 2.1%	11 4.3%	50 3.4%	23 4.3%	1 3.8%	1 11.1%	1 0.4%	1 4.5%	5 5.2%
⑪医療・福祉系	591 17.5%	221 20.6%	42 16.6%	225 15.3%	100 18.6%	3 11.5%	0 0.0%	62 27.8%	7 31.8%	18 18.8%
⑫理容・美容系	72 2.1%	21 2.0%	5 2.0%	28 1.9%	18 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 4.5%	11 11.5%
⑬会計・経理事務系	203 6.0%	80 7.5%	10 4.0%	81 5.5%	31 5.8%	0 0.0%	1 11.1%	11 4.9%	0 0.0%	4 4.2%
⑭法律・公務員系	497 14.7%	175 16.3%	50 19.8%	198 13.5%	68 12.6%	4 15.4%	2 22.2%	41 18.4%	3 13.6%	14 14.6%
⑮動物・水産系	77 2.3%	22 2.1%	7 2.8%	27 1.8%	21 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	5 5.2%
⑯農業・園芸系	86 2.6%	23 2.1%	5 2.0%	51 3.5%	7 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	1 4.5%	2 2.1%
⑰教育・研究系	202 6.0%	81 7.5%	21 8.3%	74 5.0%	24 4.5%	2 7.7%	0 0.0%	45 20.2%	2 9.1%	2 2.1%
⑱卸売・販売系	61 1.8%	20 1.9%	8 3.2%	26 1.8%	4 0.7%	2 7.7%	1 11.1%	2 0.9%	0 0.0%	2 2.1%
⑲接客・ホテル系	73 2.2%	22 2.1%	7 2.8%	27 1.8%	17 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 1.0%
⑳旅行・観光系	20 0.6%	11 1.0%	0 0.0%	5 0.3%	3 0.6%	1 3.8%	0 0.0%	4 1.8%	0 0.0%	0 0.0%
㉑交通・運輸系	37 1.1%	10 0.9%	4 1.6%	21 1.4%	2 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	3 3.1%
㉒その他	167 5.0%	61 5.7%	6 2.4%	82 5.6%	16 3.0%	2 7.7%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	1 1.0%
㉓まだわからない	673 20.0%	244 22.7%	50 19.8%	261 17.7%	111 20.6%	7 26.9%	0 0.0%	32 14.3%	3 13.6%	6 6.3%

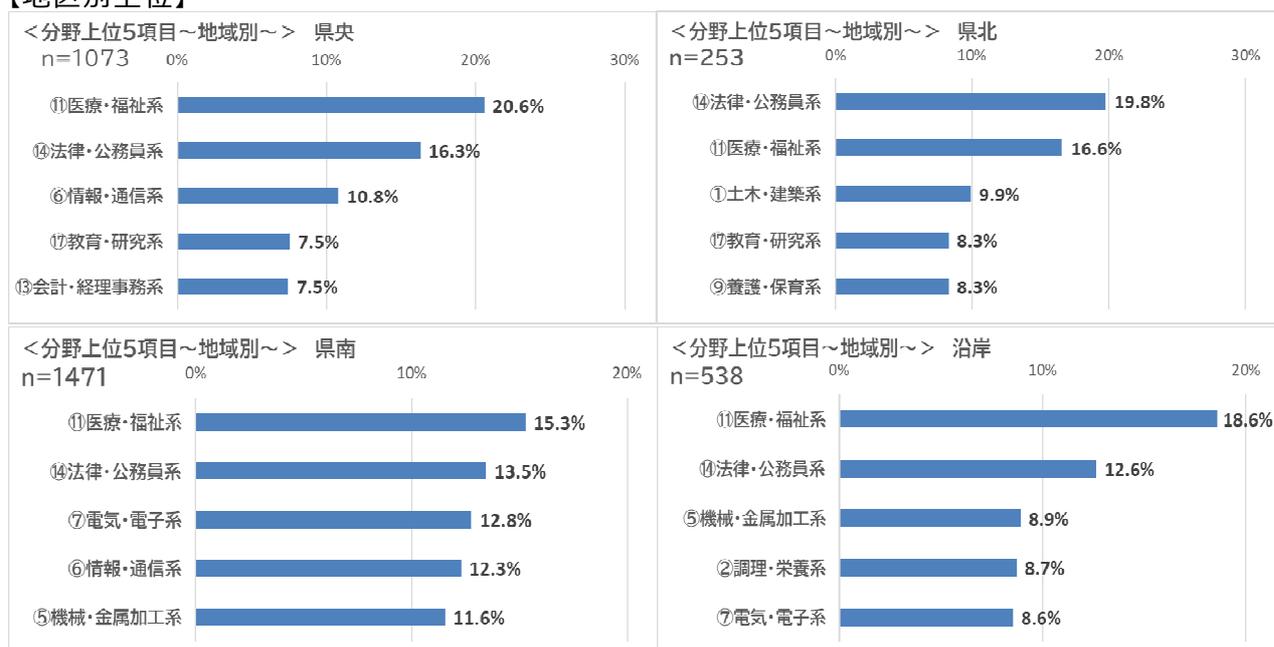
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

保護者にどのような分野に進んでほしいか聞いたところ、最多は「医療・福祉系」の 17.5%、次いで「法律・公務員系」の 14.7%、「情報・通信系」の 10.7%と続く。

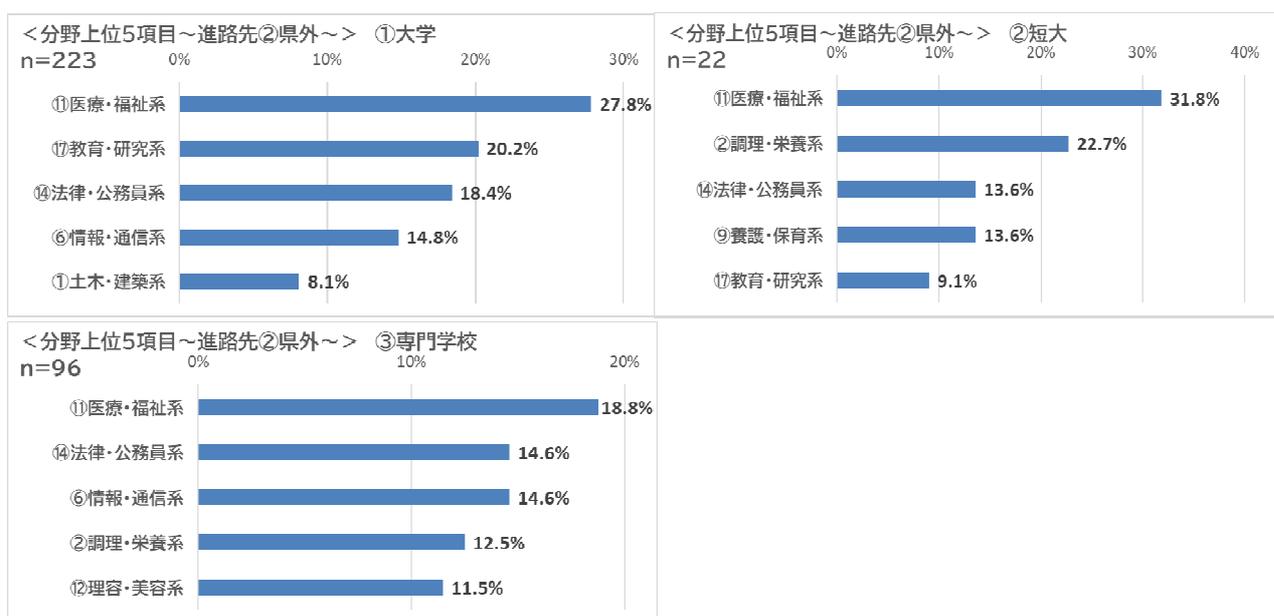
地区別で見ると、「県央」は「医療・福祉系」が最も多く 20.6%、次いで「法律・公務員系」の 16.3%、「情報・通信系」の 10.8%と続く。「県北」は「法律・公務員系」が最多の 19.8%、次いで「医療・福祉系」の 16.6%、「土木・建築系」の 9.9%と続く。「県南」は「医療・福祉系」の 15.3%が最も高く、次いで「法律・公務員系」の 13.5%、「電気・電子系」の 12.8%と続く。「沿岸」は「医療・福祉系」の 18.6%が最多。次いで「法律・公務員系」の 12.6%、「機械・金属加工系」の 8.9%と続く。

尚、「その他」の回答の多くは、お子様本人の希望に任せるとの回答が目立った。高校生と比べて全地区とも「法律・公務員系」の割合が高くなっている。

【地区別上位】



【分野別上位】



参考までに、Q6で「県外」を選択し、さらに「大学」、「短大」、「専門学校」への進路を希望している保護者に進んでほしい分野を聞いたところ、県外「大学」は、「医療・福祉系」が27.8%と最も多く、次いで「教育・研究系」の20.2%、「法律・公務員系」の18.4%と続く。県外「短大」は、「医療・福祉系」の31.8%、次いで「調理・栄養系」の22.7%、「養護・保育系」と「法律・公務員系」が同数の13.6%と続く。県外「専門学校」は、「医療・福祉系」の18.8%が最も多く、次いで同数で「情報・通信系」と「法律・公務員系」の14.6%と続く。いずれも「医療・福祉系」がトップとなっているが、「法律・公務員系」がランクインするなど、高校生と保護者では異なる結果となった。

【その他記載】②

<その他>	
イベント企画	1
エンターテインメント系	1
ガス・ガソリン系	1
こだわらない	2
ご自分が好きな分野	1
スポーツに関する職業	1
スポーツに関わる仕事	1
スポーツ系	2
ダンス系	1
どの分野でもよい。	1
トレーナー系	1
なんでもよい	1
フラワーアレンジメントができる仕事	1
ペットリマー	1
マスコミ系	2
やりたい事をやってほしい。	1
医療系	1
音楽	1
音楽・芸能	1
化学	3
化学系	1
希望なし	1
金融・保険系	1
芸術系	1
公務員	2
好きなところなんでもいい	1
好きな所に	1
工場系又はパソコンの仕事	1
子が希望する進路	1
子どもがやりたい分野	1
子のやりたい事を後押しします。	1
子の希望に沿うもの	1
子希望通り。	1
子供がやりやすい分野	1
子供が希む進路で	1
子供が希望する職種	1
子供が希望する進路	1
子供が希望する分野	1
子供が好きな分野	1
子供が行きたい所であれば	1
子供が選んだ職業でよい	1
子供が望んでいればどこでもよい	1
子供のやりたい事を応援する	1
子供の希望	1
子供の希望するところ	1
子供の希望する分野	1
子供の希望優先	1
資格をもった職業	1
歯科	1
自営なので	1
自衛隊	2
自動車製造	1
自分がこれだと思ふ仕事ずっと続けていける	1
自分がやりたいと思ふ事	1
自分がやりたい事	1
自分がやりたい分野に進んでほしい	1
自分が希望する分野	1
自分のやりたいこと	2
自分のやりたいことを。	1
自分のやりたい事	1
自分のやりたい分野に進んでほしい	1
自分の希望の職について欲しい	1

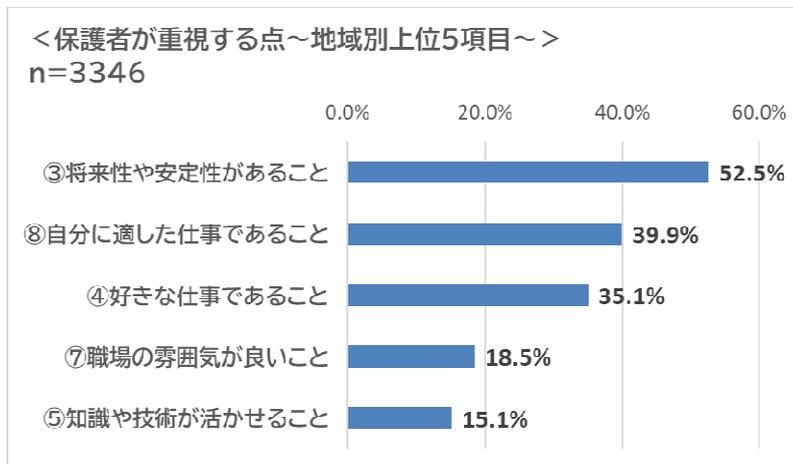
自分の興味ある分野	1
自由に	1
手職	1
消防	1
親が考える事ではない。	1
親としての希望はない	1
正社員であればどこでも	1
製造	1
潜水	1
体育系	1
伝統工芸など	1
特になし	2
特になし	3
独自の分野をみつけてほしい	1
舞台演出	1
本人	1
本人がやりたい分野	1
本人が希望している分野。	1
本人が希望するところ	2
本人が希望するもの	1
本人が希望する分野	8
本人が長く続けられる分野	1
本人しだい	1
本人に任せている	1
本人に任せてる。	1
本人に任せます	1
本人のやりたいこと	2
本人のやりたい仕事	1
本人のやりたい事	1
本人の意志	1
本人の意思	1
本人の意思に任せる	1
本人の希望	12
本人の希望するところ	1
本人の希望するところ	1
本人の希望するもの	2
本人の希望する職業でよい	1
本人の希望する職種	1
本人の希望する分野	3
本人の希望する方向で	1
本人の希望で	1
本人の希望であれば何でもイイです	1
本人の希望でよい	1
本人の希望に沿う	1
本人の希望に添って	1
本人の希望に任せる	1
本人の希望の分野	1
本人の希望を尊重したい	1
本人の希望を優先したい	1
本人の希望次第	1
本人の希望重視	1
本人の希望職	1
本人の希望通りに	1
本人の考えに任せる	1
本人の望むこと	1
本人の望む所	1
本人希望するもの	1
本人次第	2
木工職人	1
林業	1

Q8. 職業や就職先を決める際に、重視してほしい点は何ですか。（2つ以内）

【重視する点×地区別】

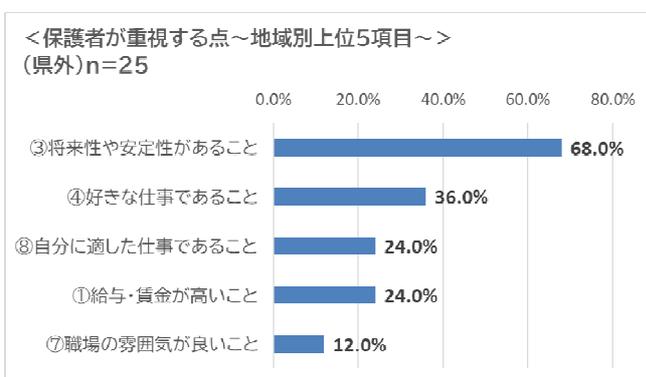
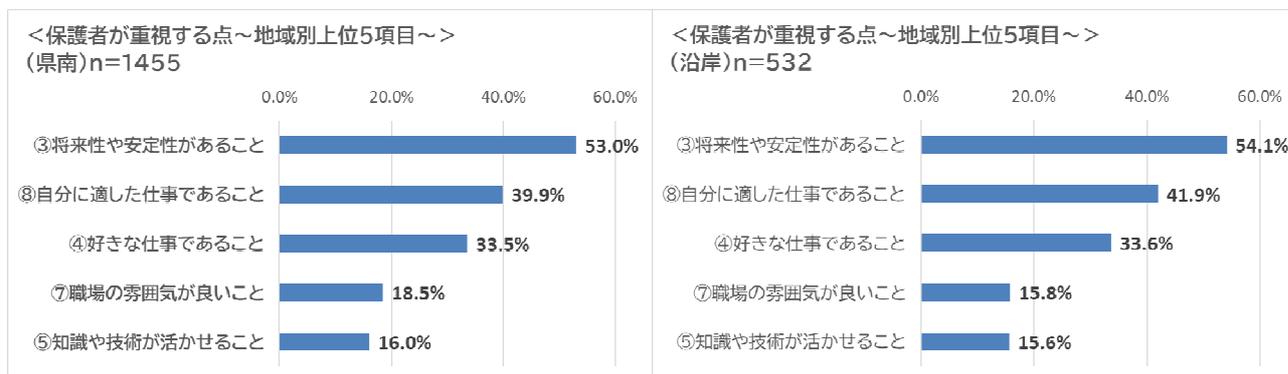
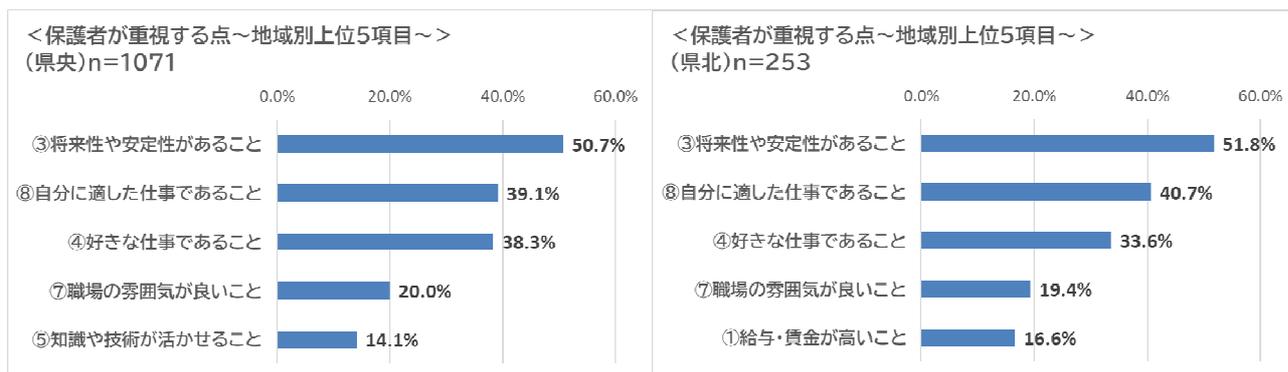
<地域別>	n=	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		給与・賃金が高いこと	知名度が高いこと	将来性や安定性があること	好きな仕事であること	知識や技術が活かせること	社会貢献ができること	職場の雰囲気が良いこと	自分に適した仕事であること	残業が少ないこと	休暇制度の充実	子育て支援の充実	資格取得支援の充実	通勤に便利であること	社員寮等住環境の充実	家族や先生の勧め	その他	わからない
回答数	3346	484	13	1756	1173	505	101	619	1336	10	85	25	106	54	47	3	23	14
		14.5%	0.4%	52.5%	35.1%	15.1%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.5%	0.7%	3.2%	1.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.4%
(県央)	1071	142	6	543	410	151	30	214	419	2	25	5	27	22	10	2	12	7
		13.3%	0.6%	50.7%	38.3%	14.1%	2.8%	20.0%	39.1%	0.2%	2.3%	0.5%	2.5%	2.1%	0.9%	0.2%	1.1%	0.7%
(県北)	253	42	0	131	85	31	8	49	103	1	3	2	11	4	1	0	2	2
		16.6%	0.0%	51.8%	33.6%	12.3%	3.2%	19.4%	40.7%	0.4%	1.2%	0.8%	4.3%	1.6%	0.4%	0.0%	0.8%	0.8%
(県南)	1455	218	3	771	488	233	43	269	580	5	41	11	43	24	19	0	6	2
		15.0%	0.2%	53.0%	33.5%	16.0%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.8%	0.8%	3.0%	1.6%	1.3%	0.0%	0.4%	0.1%
(沿岸)	532	75	4	288	179	83	19	84	223	2	15	7	23	3	17	1	3	3
		14.1%	0.8%	54.1%	33.6%	15.6%	3.6%	15.8%	41.9%	0.4%	2.8%	1.3%	4.3%	0.6%	3.2%	0.2%	0.6%	0.6%
(県外)	25	6	0	17	9	3	1	3	6	0	0	0	2	1	0	0	0	0
		24.0%	0.0%	68.0%	36.0%	12.0%	4.0%	12.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10	1	0	6	2	4	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		10.0%	0.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



就職や進路を決める際に重視してほしい点を聞いたところ、「将来性や安定性があること」が最も高く 52.5%、次いで「自分に適した仕事であること」の 39.9%、「好きな仕事であること」の 35.1%と続く。高校生アンケートで上位にあった「給与・賃金が高いこと」は 14.5%と低く、保護者はあまり重視していない。

地区別にみると、いずれの地区においても上位のトップ3に加え、「職場の雰囲気が良いこと」がランクインしている。



【重視する点×希望進路先別】

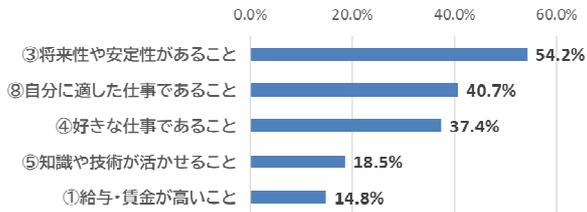
(単位:人)

<進路別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
回答数	3346	484	13	1756	1173	505	101	619	1336	10	85	25	106	54	47	3	23	14
		14.5%	0.4%	52.5%	35.1%	15.1%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.5%	0.7%	3.2%	1.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.4%
①大学	1071	158	5	581	401	198	55	127	436	3	25	8	20	11	4	0	6	2
		14.8%	0.5%	54.2%	37.4%	18.5%	5.1%	11.9%	40.7%	0.3%	2.3%	0.7%	1.9%	1.0%	0.4%	0.0%	0.6%	0.2%
②短大	288	38	1	155	117	39	11	43	122	2	6	4	9	9	0	1	1	0
		13.2%	0.3%	53.8%	40.6%	13.5%	3.8%	14.9%	42.4%	0.7%	2.1%	1.4%	3.1%	3.1%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
③専門学校	968	106	3	539	370	137	22	159	417	3	20	10	34	21	11	2	4	2
		11.0%	0.3%	55.7%	38.2%	14.2%	2.3%	16.4%	43.1%	0.3%	2.1%	1.0%	3.5%	2.2%	1.1%	0.2%	0.4%	0.2%
④産業技術短期大学校	193	25	0	98	81	28	7	38	80	0	7	2	7	1	4	0	0	0
		13.0%	0.0%	50.8%	42.0%	14.5%	3.6%	19.7%	41.5%	0.0%	3.6%	1.0%	3.6%	0.5%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤高等技術専門学校	77	7	0	43	28	11	2	14	36	0	1	0	6	0	3	0	0	0
		9.1%	0.0%	55.8%	36.4%	14.3%	2.6%	18.2%	46.8%	0.0%	1.3%	0.0%	7.8%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥就職	1514	243	4	810	455	197	27	347	610	4	46	7	58	31	36	3	10	4
		16.1%	0.3%	53.5%	30.1%	13.0%	1.8%	22.9%	40.3%	0.3%	3.0%	0.5%	3.8%	2.0%	2.4%	0.2%	0.7%	0.3%
⑦まだ考えていない	153	27	1	78	61	15	4	32	49	0	1	1	5	2	0	0	0	3
		17.6%	0.7%	51.0%	39.9%	9.8%	2.6%	20.9%	32.0%	0.0%	0.7%	0.7%	3.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
⑧その他	121	7	0	60	52	13	4	31	41	1	2	0	4	0	1	0	5	4
		5.8%	0.0%	49.6%	43.0%	10.7%	3.3%	25.6%	33.9%	0.8%	1.7%	0.0%	3.3%	0.0%	0.8%	0.0%	4.1%	3.3%
無回答	21	15	2	0	8	3	3	1	2	8	0	1	0	0	0	0	0	1
		71.4%	9.5%	0.0%	38.1%	14.3%	14.3%	4.8%	9.5%	38.1%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%

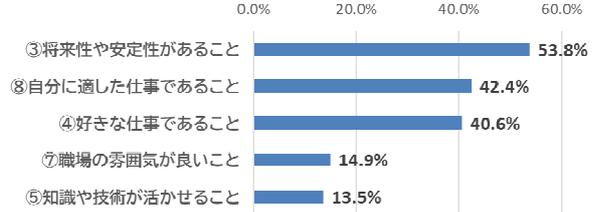
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

希望進路先別でみると、「大学」、「短大」、「専門学校」、「産業技術短期大学校」などは概ね全体と同じ傾向を示しており、「将来性や安定性があること」が最も高い。次点には「自分に適した仕事であること」が多いが、「産業技術短期大学校」については、次点で「好きな仕事であること」となっている。

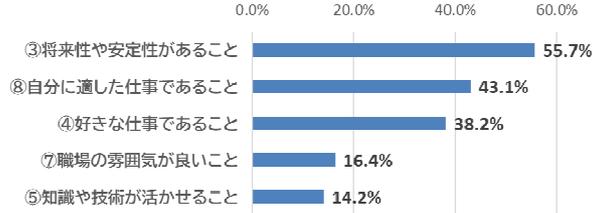
<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
①大学 (n=1071)



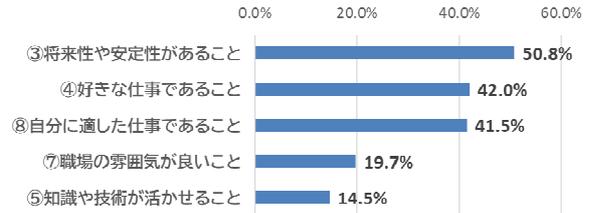
<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
②短大 (n=288)



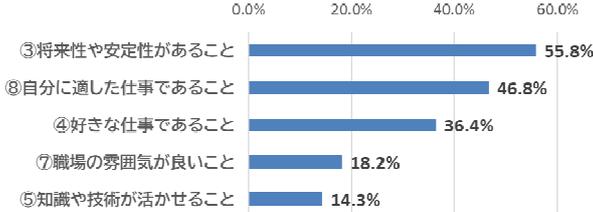
<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
③専門学校 (n=968)



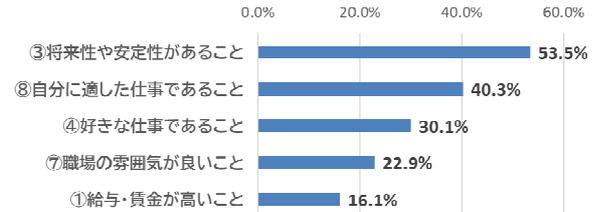
<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
④産業技術短期大学校 (n=193)



<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
⑤高等技術専門学校 (n=77)



<保護者が重視する点～進路別上位5項目～>
⑥就職 (n=1514)



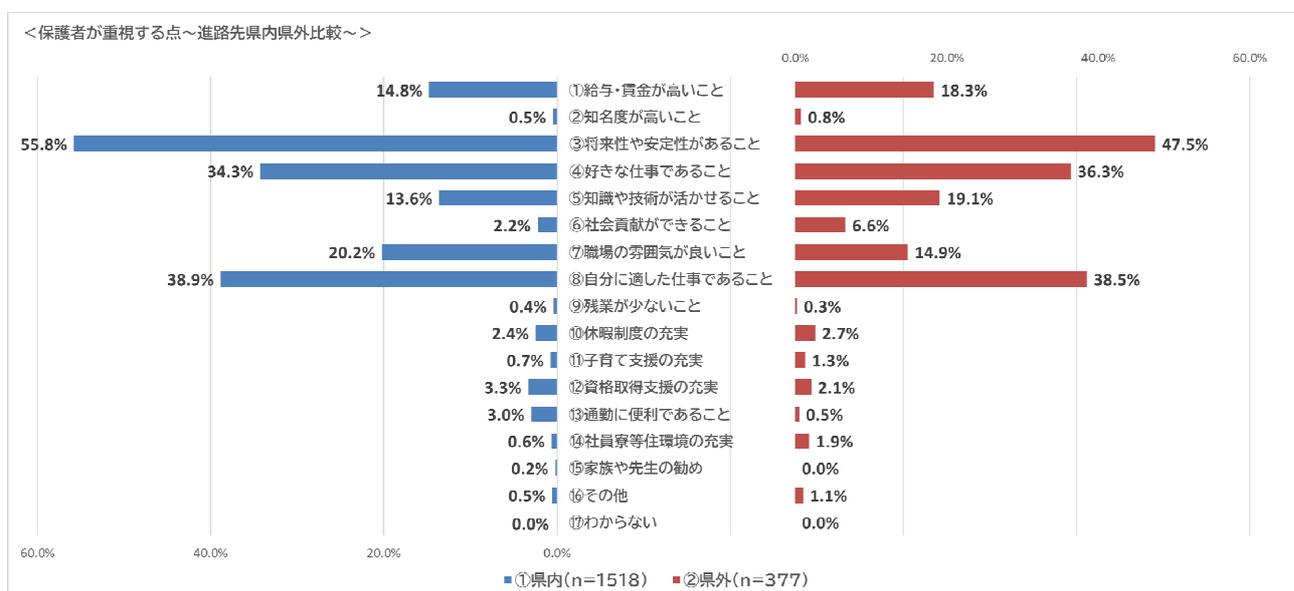
【重視する点×進路先県内外別】

(単位:人)

<進路先別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
回答数	3346	484	13	1756	1173	505	101	619	1336	10	85	25	106	54	47	3	23	14
		14.5%	0.4%	52.5%	35.1%	15.1%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.5%	0.7%	3.2%	1.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.4%
①県内	1518	224	7	847	520	207	34	307	590	6	37	11	50	45	9	3	8	0
		14.8%	0.5%	55.8%	34.3%	13.6%	2.2%	20.2%	38.9%	0.4%	2.4%	0.7%	3.3%	3.0%	0.6%	0.2%	0.5%	0.0%
②県外	377	69	3	179	137	72	25	56	145	1	10	5	8	2	7	0	4	0
		18.3%	0.8%	47.5%	36.3%	19.1%	6.6%	14.9%	38.5%	0.3%	2.7%	1.3%	2.1%	0.5%	1.9%	0.0%	1.1%	0.0%
③まだ決まっていない	404	74	1	228	129	72	7	62	151	0	8	3	16	2	9	0	0	3
		18.3%	0.2%	56.4%	31.9%	17.8%	1.7%	15.3%	37.4%	0.0%	2.0%	0.7%	4.0%	0.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.7%
④特にこだわらない	1006	115	2	485	370	148	33	189	433	3	30	5	29	4	20	0	10	11
		11.4%	0.2%	48.2%	36.8%	14.7%	3.3%	18.8%	43.0%	0.3%	3.0%	0.5%	2.9%	0.4%	2.0%	0.0%	1.0%	1.1%
⑤その他	26	0	0	11	11	4	1	4	13	0	0	0	1	0	2	0	1	0
		0.0%	0.0%	42.3%	42.3%	15.4%	3.8%	15.4%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%
無回答	15	2	0	6	6	2	1	1	4	0	0	1	2	1	0	0	0	0
		13.3%	0.0%	40.0%	40.0%	13.3%	6.7%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

希望進路先県内外別でみると、最も多いのは「将来性や安定性があること」で、上位は全体と同じ傾向にあり、進路先県内外では高校生と保護者では大きな差は出なかった。



【重視する点×分野別】

(単位:人)

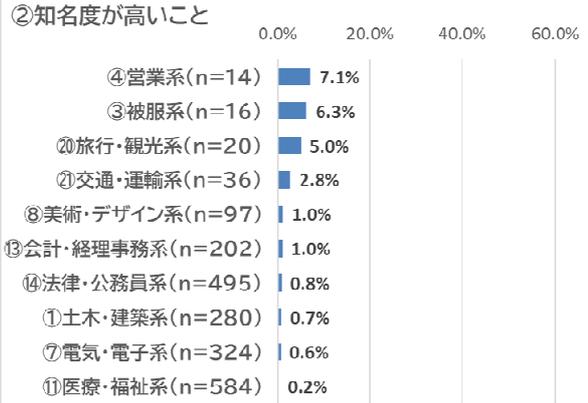
<分野別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
		回答数	3346	484	13	1756	1173	505	101	619	1336	10	85	25	106	54	47	3
	189.9%	14.5%	0.4%	52.5%	35.1%	15.1%	3.0%	18.5%	39.9%	0.3%	2.5%	0.7%	3.2%	1.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.4%
①土木・建築系	280	52	2	156	87	61	2	55	92	2	7	2	12	3	5	0	1	0
	192.5%	18.6%	0.7%	55.7%	31.1%	21.8%	0.7%	19.6%	32.9%	0.7%	2.5%	0.7%	4.3%	1.1%	1.8%	0.0%	0.4%	0.0%
②調理・栄養系	179	25	0	97	65	26	5	29	81	0	3	1	5	4	5	0	0	0
	193.3%	14.0%	0.0%	54.2%	36.3%	14.5%	2.8%	16.2%	45.3%	0.0%	1.7%	0.6%	2.8%	2.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
③被服系	16	2	1	8	6	4	0	1	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	181.3%	12.5%	6.3%	50.0%	37.5%	25.0%	0.0%	6.3%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④営業系	14	1	1	8	7	4	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	185.7%	7.1%	7.1%	57.1%	50.0%	28.6%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤機械・金属加工系	285	53	0	147	91	52	2	68	110	0	6	1	6	6	3	0	3	0
	192.3%	18.6%	0.0%	51.6%	31.9%	18.2%	0.7%	23.9%	38.6%	0.0%	2.1%	0.4%	2.1%	2.1%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%
⑥情報・通信系	358	46	0	194	132	65	8	65	149	1	12	2	13	5	2	0	3	1
	195.0%	12.8%	0.0%	54.2%	36.9%	18.2%	2.2%	18.2%	41.6%	0.3%	3.4%	0.6%	3.6%	1.4%	0.6%	0.0%	0.8%	0.3%
⑦電気・電子系	324	49	2	170	92	69	6	71	129	1	14	1	17	2	3	0	1	0
	193.5%	15.1%	0.6%	52.5%	28.4%	21.3%	1.9%	21.9%	39.8%	0.3%	4.3%	0.3%	5.2%	0.6%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%
⑧美術・デザイン系	97	22	1	44	46	14	1	15	36	0	3	2	4	0	0	0	0	0
	193.8%	22.7%	1.0%	45.4%	47.4%	14.4%	1.0%	15.5%	37.1%	0.0%	3.1%	2.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨養護・保育系	164	16	0	84	75	21	1	29	67	1	3	4	6	3	2	1	1	0
	191.5%	9.8%	0.0%	51.2%	45.7%	12.8%	0.6%	17.7%	40.9%	0.6%	1.8%	2.4%	3.7%	1.8%	1.2%	0.6%	0.6%	0.0%
⑩自動車整備系	107	15	0	48	41	26	1	15	48	0	1	0	9	3	1	0	1	0
	195.3%	14.0%	0.0%	44.9%	38.3%	24.3%	0.9%	14.0%	44.9%	0.0%	0.9%	0.0%	8.4%	2.8%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%
⑪医療・福祉系	584	88	1	337	193	95	25	87	235	2	11	4	24	8	5	1	2	1
	191.6%	15.1%	0.2%	57.7%	33.0%	16.3%	4.3%	14.9%	40.2%	0.3%	1.9%	0.7%	4.1%	1.4%	0.9%	0.2%	0.3%	0.2%
⑫理容・美容系	70	6	0	31	38	11	0	11	27	0	3	2	4	0	2	0	0	0
	192.9%	8.6%	0.0%	44.3%	54.3%	15.7%	0.0%	15.7%	38.6%	0.0%	4.3%	2.9%	5.7%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
⑬会計・経理事務系	202	33	2	116	59	31	0	54	78	0	9	1	4	7	0	0	0	0
	195.0%	16.3%	1.0%	57.4%	29.2%	15.3%	0.0%	26.7%	38.6%	0.0%	4.5%	0.5%	2.0%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑭法律・公務員系	495	93	4	340	155	55	28	76	170	1	8	5	12	5	3	2	4	1
	194.3%	18.8%	0.8%	68.7%	31.3%	11.1%	5.7%	15.4%	34.3%	0.2%	1.6%	1.0%	2.4%	1.0%	0.6%	0.4%	0.8%	0.2%
⑮動物・水産系	76	6	0	29	39	13	4	6	32	1	6	2	2	1	1	0	1	1
	189.5%	7.9%	0.0%	38.2%	51.3%	17.1%	5.3%	7.9%	42.1%	1.3%	7.9%	2.6%	2.6%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%
⑯農業・園芸系	84	5	0	37	31	12	3	15	42	0	2	1	3	7	0	0	1	0
	189.3%	6.0%	0.0%	44.0%	36.9%	14.3%	3.6%	17.9%	50.0%	0.0%	2.4%	1.2%	3.6%	8.3%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%
⑰教育・研究系	200	26	0	97	81	40	14	19	94	0	2	1	3	2	1	0	1	0
	190.5%	13.0%	0.0%	48.5%	40.5%	20.0%	7.0%	9.5%	47.0%	0.0%	1.0%	0.5%	1.5%	1.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%
⑱卸売・販売系	61	4	0	31	29	7	1	17	23	0	1	0	1	2	0	0	0	0
	190.2%	6.6%	0.0%	50.8%	47.5%	11.5%	1.6%	27.9%	37.7%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑲接客・ホテル系	71	12	0	39	23	4	0	16	34	0	1	0	3	3	4	0	0	0
	195.8%	16.9%	0.0%	54.9%	32.4%	5.6%	0.0%	22.5%	47.9%	0.0%	1.4%	0.0%	4.2%	4.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
⑳旅行・観光系	20	3	1	8	7	5	0	2	10	0	0	0	3	0	2	0	0	0
	205.0%	15.0%	5.0%	40.0%	35.0%	25.0%	0.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉑交通・運輸系	36	5	1	21	11	4	0	6	15	0	3	0	0	1	1	0	0	0
	188.9%	13.9%	2.8%	58.3%	30.6%	11.1%	0.0%	16.7%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
㉒その他	165	18	1	63	80	19	4	31	67	0	3	1	4	3	6	0	9	1
	187.9%	10.9%	0.6%	38.2%	48.5%	11.5%	2.4%	18.8%	40.6%	0.0%	1.8%	0.6%	2.4%	1.8%	3.6%	0.0%	5.5%	0.6%
㉓まだわからない	660	89	2	318	219	56	22	147	301	2	20	3	13	11	13	0	2	11
	186.2%	13.5%	0.3%	48.2%	33.2%	8.5%	3.3%	22.3%	45.6%	0.3%	3.0%	0.5%	2.0%	1.7%	2.0%	0.0%	0.3%	1.7%
無回答	22	2	0	11	10	4	2	4	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	186.4%	9.1%	0.0%	50.0%	45.5%	18.2%	9.1%	18.2%	31.8%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

*複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

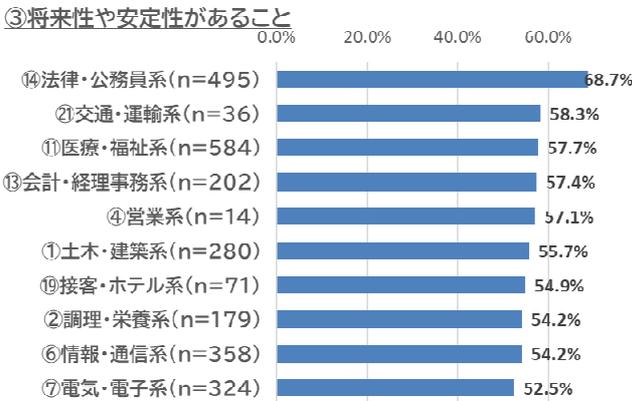
<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



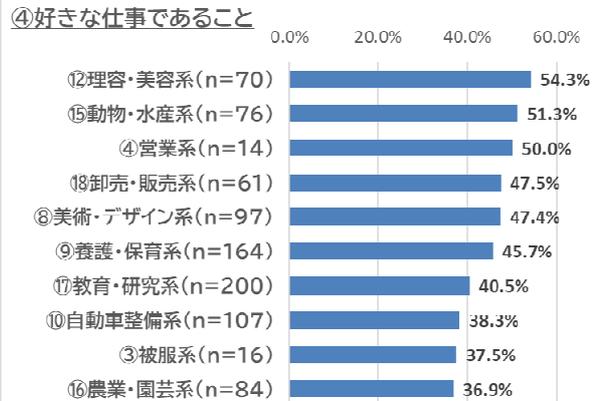
<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



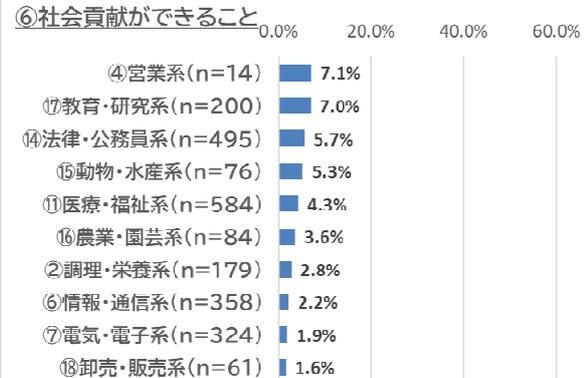
<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



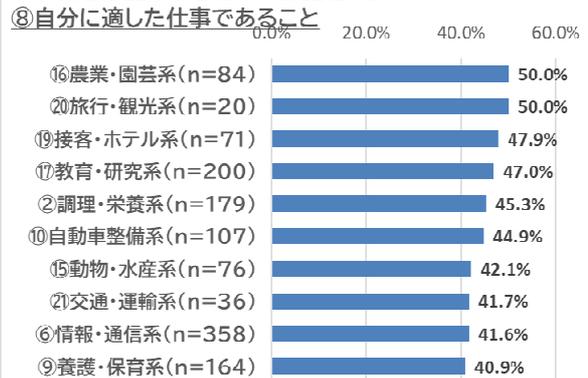
<保護者が重視する点～分野上位10項目～>

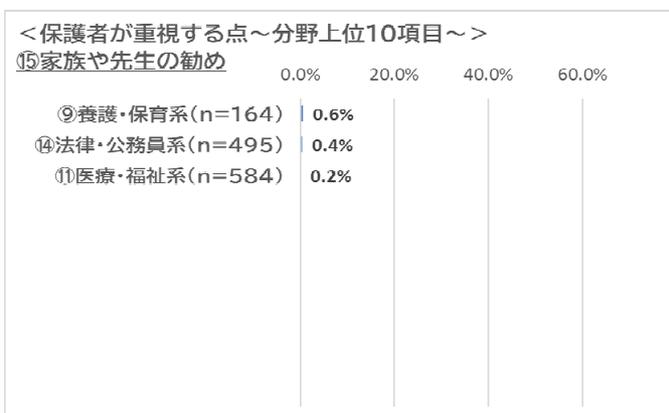
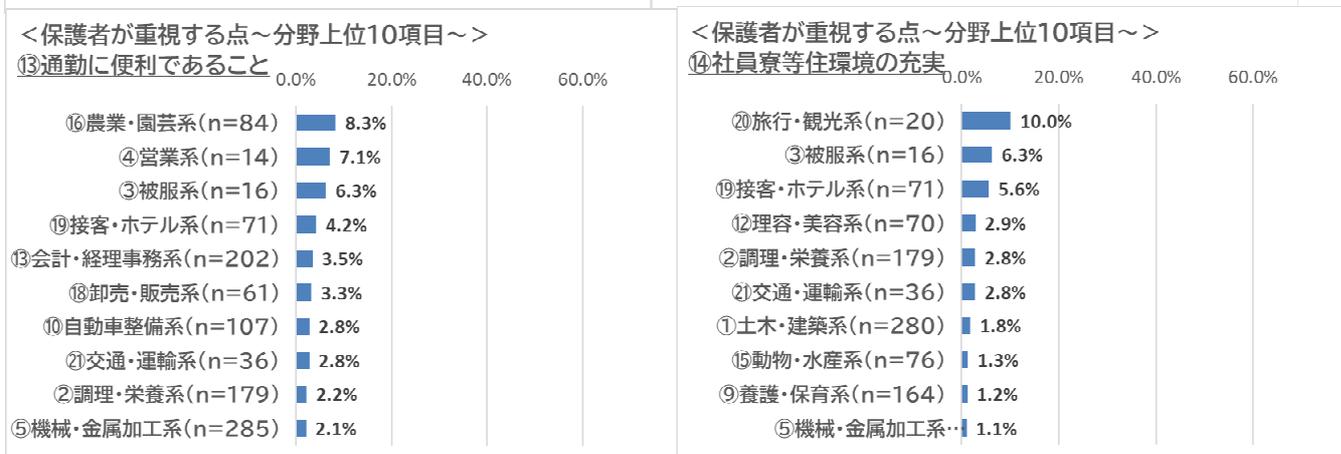
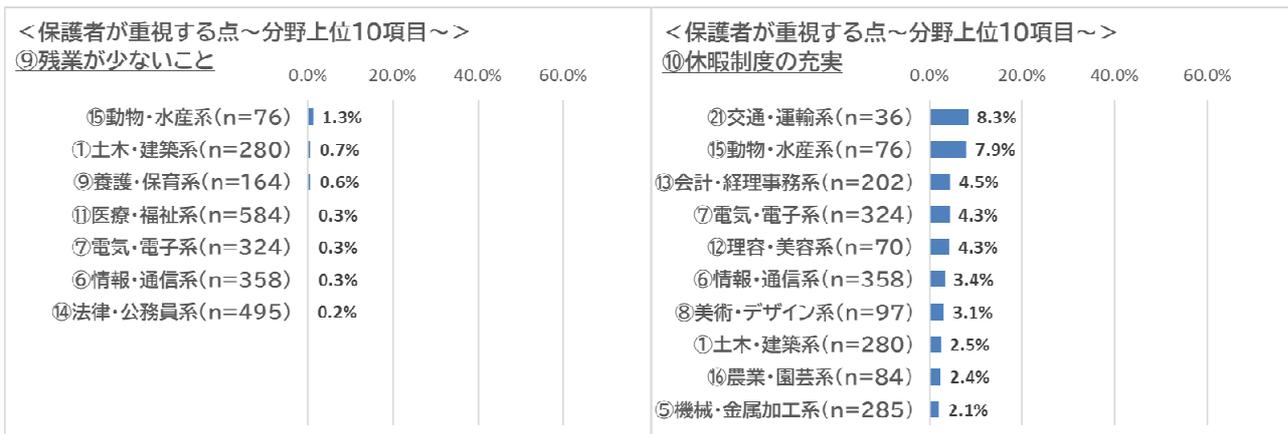


<保護者が重視する点～分野上位10項目～>



<保護者が重視する点～分野上位10項目～>





進みたい分野別にみると、重視して欲しい点で最も多かった「将来性や安定性があること」では、「法律・公務員系」が最も高く、次いで「交通・運輸系」、「医療・福祉系」と続く。重視してほしい点で次点に多かった「自分に適した仕事であること」では、「農業・園芸系」が最も高く、次いで「旅行・観光系」、「接客・ホテル系」と続く。「好きな仕事であること」では、「理容・美容系」が最も高く、「動物・水産系」、「営業系」と続く。

【その他記載】⑩

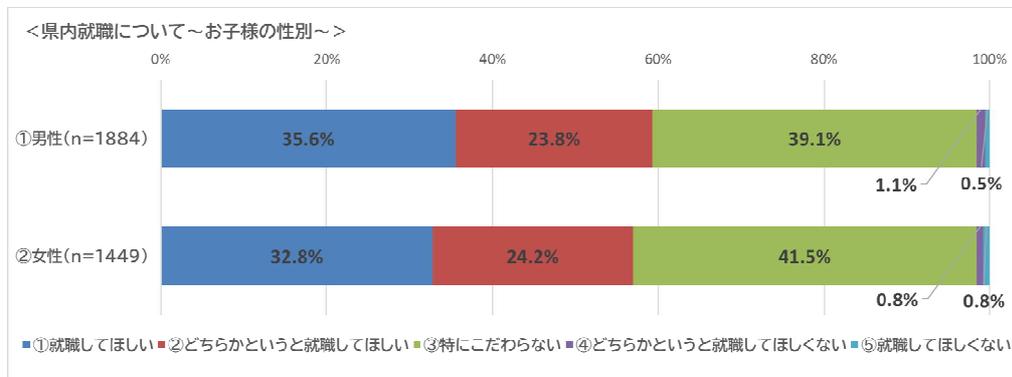
<その他>	
2つ以内では決めかねる	1
2つ以内では重視できない。すべてに該当する。	1
やりたいと思ったことを実現して欲しい。	1
企業倫理制度が確立している企業・団体であること	1
興味を持てるかどうか	1
嫌いな仕事ではないこと	1
自分がやってみたい、興味があること	1
自分がやりたいこと	1
自分で考え決めた道なら親としては応援するのみです	1
社員教育の講習(コンプライアンス、ハラスメント等)	1
就職先で発達障害の特性・子供の特徴を理解し対応してくれること。	1
人生が豊かになること	1
全部	1
福利厚生	1
福利厚生がきちんとしている	1
福利厚生がしっかりしているところ	1
福利厚生が充実しているところ	1
本人がやりたいと思うこと	1
本人に任せています	1
本人のしたいもの	1
本人の希望	1
本人の希望を優先したい	1

Q9. 将来、岩手県内の事業所に就職してほしいですか。

【県内就職×男女別】

(単位:人)

<お子様の性別>	n=	①就職してほしい	②どちらかという 就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	3339	1147	801	1338	32	21
	100.0%	34.4%	24.0%	40.1%	1.0%	0.6%
①男性	1884	670	448	736	20	10
	100.0%	35.6%	23.8%	39.1%	1.1%	0.5%
②女性	1449	475	350	601	12	11
	100.0%	32.8%	24.2%	41.5%	0.8%	0.8%
無回答	6	2	3	1	0	0
	100.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%



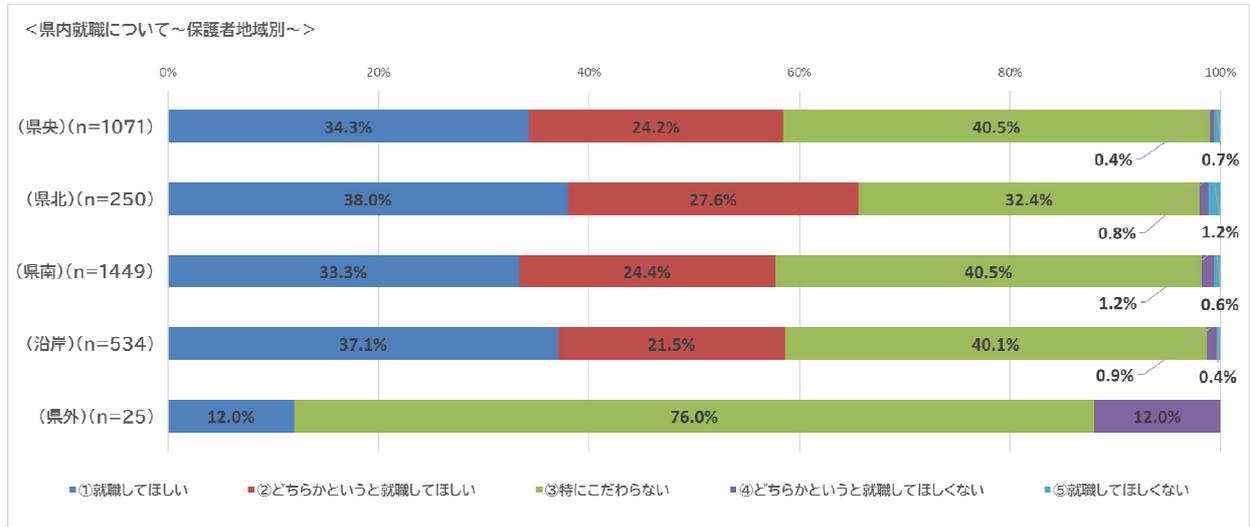
将来、岩手県内の事業所に就職してほしいか聞いたところ、「特にこだわらない」が多いものの、「就職してほしい」が34.4%、「どちらかという就職したい」が24.0%、合わせると58.4%と半数以上が「県内」に就職してほしいと感じている。一方で、「どちらかという就職してほしくない」が1.0%、「就職してほしくない」が0.6%と、合わせると1.6%にとどまり、高校生より保護者のほうが県内志向が高い傾向を示した。

男女別でみると、「男性」の「就職してほしい」が35.6%、「どちらかという就職してほしい」が23.8%に対して、「どちらかという就職してほしくない」が1.1%、「就職してほしくない」が0.5%にとどまる。「女性」は「就職してほしい」が32.8%、「どちらかという就職してほしい」が24.2%に対して、どちらかという就職してほしくない」が0.8%、「就職してほしくない」が0.8%となり、男女（お子様）ともに保護者は「県内」就職を希望している。

【県内就職×地区別】

(単位:人)

<地区別>	n=	①就職してほしい	②どちらかという 就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	3339	1147	801	1338	32	21
	100.0%	34.4%	24.0%	40.1%	1.0%	0.6%
(県央)	1071	367	259	434	4	7
	100.0%	34.3%	24.2%	40.5%	0.4%	0.7%
(県北)	250	95	69	81	2	3
	100.0%	38.0%	27.6%	32.4%	0.8%	1.2%
(県南)	1449	483	353	587	17	9
	100.0%	33.3%	24.4%	40.5%	1.2%	0.6%
(沿岸)	534	198	115	214	5	2
	100.0%	37.1%	21.5%	40.1%	0.9%	0.4%
(県外)	25	3	0	19	3	0
	100.0%	12.0%	0.0%	76.0%	12.0%	0.0%
無回答	10	1	5	3	1	0
	100.0%	10.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%

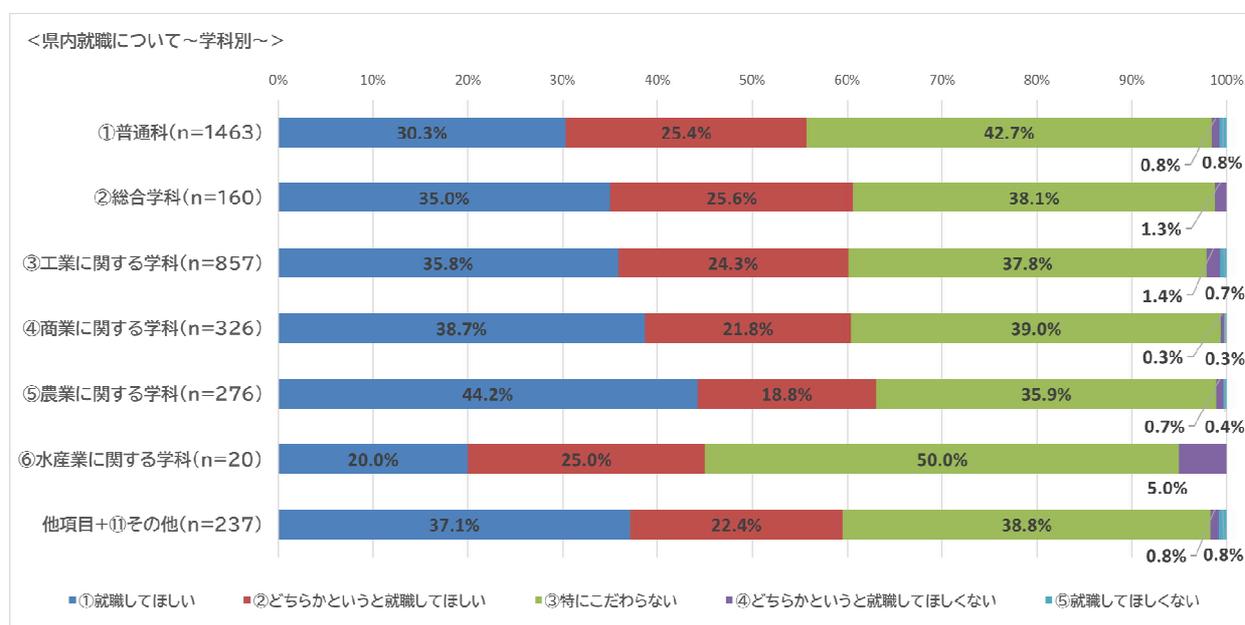


地区別で見ると、いずれの地区でも、県内就職志向が高いものの、「県北」は「就職してほしい」が 38.0%、「どちらかという就職してほしい」が 27.6%、一方で「どちらかという就職してほしくない」が 0.8%、「就職してほしくない」が 1.2%と、他地区と比べて県内就職を希望する割合が高くなっている。

【県内就職×学科別】

(単位:人)

<学科別>	n=	①就職してほしい	②どちらかという 就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	3339	1147	801	1338	32	21
	100.0%	34.4%	24.0%	40.1%	1.0%	0.6%
①普通科	1463	444	371	625	12	11
	100.0%	30.3%	25.4%	42.7%	0.8%	0.8%
②総合学科	160	56	41	61	2	0
	100.0%	35.0%	25.6%	38.1%	1.3%	0.0%
③工業に関する学科	857	307	208	324	12	6
	100.0%	35.8%	24.3%	37.8%	1.4%	0.7%
④商業に関する学科	326	126	71	127	1	1
	100.0%	38.7%	21.8%	39.0%	0.3%	0.3%
⑤農業に関する学科	276	122	52	99	2	1
	100.0%	44.2%	18.8%	35.9%	0.7%	0.4%
⑥水産業に関する学科	20	4	5	10	1	0
	100.0%	20.0%	25.0%	50.0%	5.0%	0.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	21	6	8	6	0	1
	100.0%	28.6%	38.1%	28.6%	0.0%	4.8%
⑧生活に関する学科	88	35	14	37	2	0
	100.0%	39.8%	15.9%	42.0%	2.3%	0.0%
⑨福祉に関する学科	30	12	11	7	0	0
	100.0%	40.0%	36.7%	23.3%	0.0%	0.0%
⑩国際に関する学科	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	69	29	13	27	0	0
	100.0%	42.0%	18.8%	39.1%	0.0%	0.0%
無回答	28	6	6	15	0	1
	100.0%	21.4%	21.4%	53.6%	0.0%	3.6%

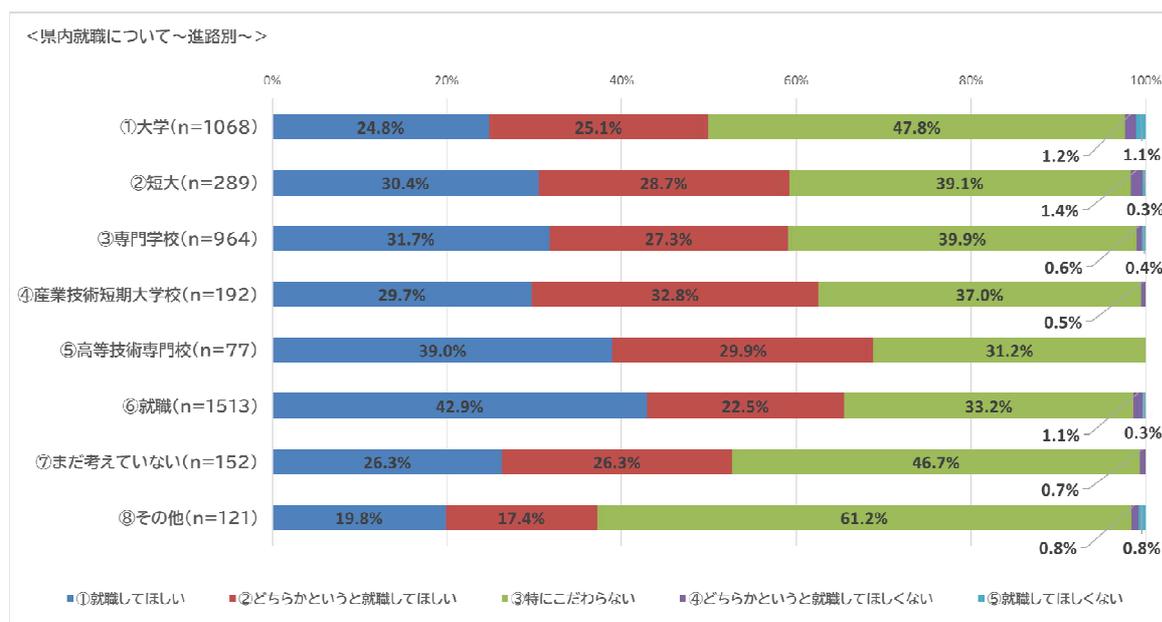


学科別でみると、高校生同様、「農業に関する学科」において「就職してほしい」が 44.2%と高く、「どちらかという就職してほしい」も 18.8%と合わせて 63.0%の保護者が「県内」を希望している。尚、高校生アンケートで「県内」就職希望が低かった「普通科」は、「就職してほしい」が 30.3%、「どちらかという就職してほしい」が 25.4%、「特にこだわらない」の割合は高いものの、高校生と比べて「県内」就職を希望する割合が高い。

【県内就職×希望進路別】

(単位:人)

<進路別>	n=	①就職してほしい	②どちらかという 就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	3339	1147	801	1338	32	21
	100.0%	34.4%	24.0%	40.1%	1.0%	0.6%
①大学	1068	265	268	510	13	12
	100.0%	24.8%	25.1%	47.8%	1.2%	1.1%
②短大	289	88	83	113	4	1
	100.0%	30.4%	28.7%	39.1%	1.4%	0.3%
③専門学校	964	306	263	385	6	4
	100.0%	31.7%	27.3%	39.9%	0.6%	0.4%
④産業技術短期大学校	192	57	63	71	1	0
	100.0%	29.7%	32.8%	37.0%	0.5%	0.0%
⑤高等技術専門学校	77	30	23	24	0	0
	100.0%	39.0%	29.9%	31.2%	0.0%	0.0%
⑥就職	1513	649	341	502	16	5
	100.0%	42.9%	22.5%	33.2%	1.1%	0.3%
⑦まだ考えていない	152	40	40	71	1	0
	100.0%	26.3%	26.3%	46.7%	0.7%	0.0%
⑧その他	121	24	21	74	1	1
	100.0%	19.8%	17.4%	61.2%	0.8%	0.8%
無回答	15	2	3	9	0	1
	100.0%	13.3%	20.0%	60.0%	0.0%	6.7%



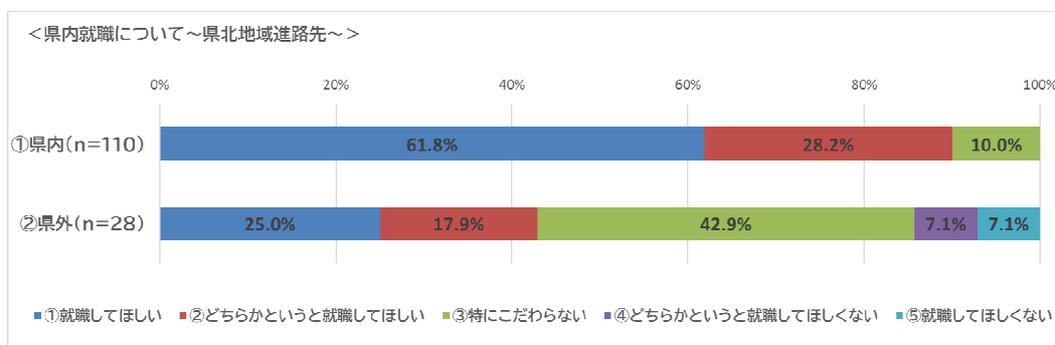
希望進路先別でみると、「高等技術専門学校」は「就職してほしい」が 39.0%、「どちらかという就職してほしい」が 29.9%と合わせて 68.9%が「県内」への就職を希望。次いで「産業技術短期大学校」が「就職してほしい」29.7%、「どちらかという就職してほしい」の 32.8%と県内志向の高い傾向を示している。高校生アンケートでは、「高等技術専門学校」は「就職したい」が 9.3%、「どちらかという就職したい」が 9.3%にとどまり、一方で「就職したくない」が 50.0%と半数にも及んだが、保護者は「県内」就職を望んでいる割合が高い。

また「大学」の「県内」希望は、「就職してほしい」が 24.8%、「どちらかという就職してほしい」が 25.1%となり、高校生アンケートでは「大学」の「県内」就職希望割合は低かったが、保護者では高くなっている。

【県北：県内就職×進路先県内外別】

(単位:人)

<県北地域> 進路先別	n=	①就職してほしい	②どちらかという と就職してほしい	③特にこだわらない	④どちらかという と就職してほしくない	⑤就職してほしくない
回答数	250	95	69	81	2	3
	100.0%	38.0%	27.6%	32.4%	0.8%	1.2%
①県内	110	68	31	11	0	0
	100.0%	61.8%	28.2%	10.0%	0.0%	0.0%
②県外	28	7	5	12	2	2
	100.0%	25.0%	17.9%	42.9%	7.1%	7.1%
③まだ決まっていない	33	8	16	8	0	1
	100.0%	24.2%	48.5%	24.2%	0.0%	3.0%
④特にこだわらない	72	9	15	48	0	0
	100.0%	12.5%	20.8%	66.7%	0.0%	0.0%
⑤その他	5	1	2	2	0	0
	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	2	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



参考までに、「県北」地区において Q 6 にて希望している進路先が「県内」としている保護者は、Q 9 にて県内に「就職してほしい」としたのは、61.8%、「どちらかというと就職してほしい」が 28.2%、「特にこだわらない」は 10.0%があるものの、「就職してほしくない」、「どちらかというと就職してほしくない」の回答はゼロ。一方、Q 6 で「県外」と回答した保護者も、「就職してほしい」が 25.0%、「どちらかというと就職してほしい」が 17.9%、合わせて 42.9%と、「県外」に進学・就職しても、「県内」に就職してほしい割合は約 4 割にのぼる。

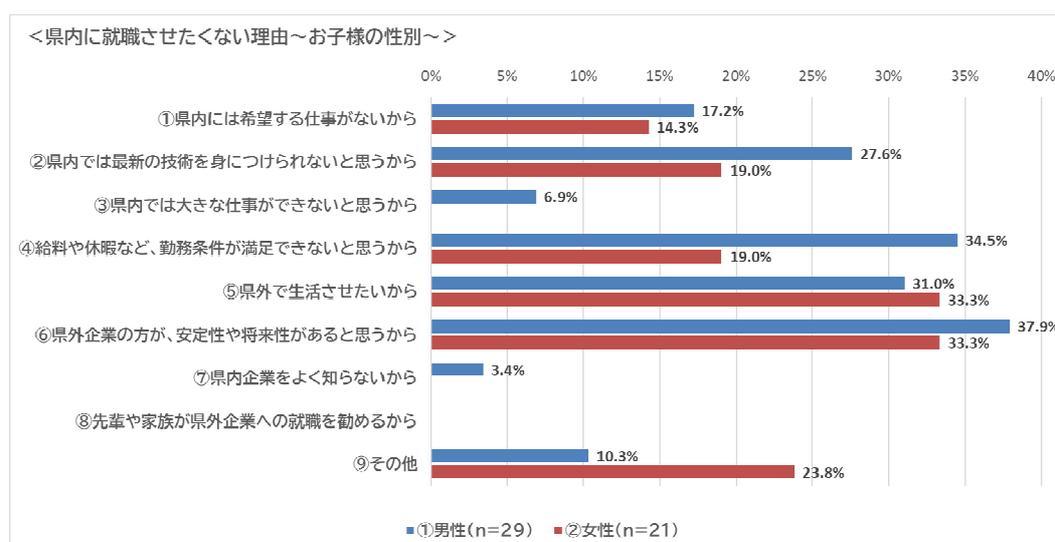
Q10. Q9で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

【県内就職してほしくない理由×男女別】

(単位:人)

<お子様の性別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活させたいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	50	8	12	2	14	16	18	1	0	8
		16.0%	24.0%	4.0%	28.0%	32.0%	36.0%	2.0%	0.0%	16.0%
①男性	29	5	8	2	10	9	11	1	0	3
		17.2%	27.6%	6.9%	34.5%	31.0%	37.9%	3.4%	0.0%	10.3%
②女性	21	3	4	0	4	7	7	0	0	5
		14.3%	19.0%	0.0%	19.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	23.8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



県内に「就職してほしくない」または「どちらかというと就職してほしくない」と回答した保護者に、その理由を聞いた。

「(どちらかというと) 就職してほしくない」の回答は少数であるため参考となるが、「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が36.0%と最も多く、次いで「県外で生活させたいから」が32.0%、「給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから」が28.0%と続く。

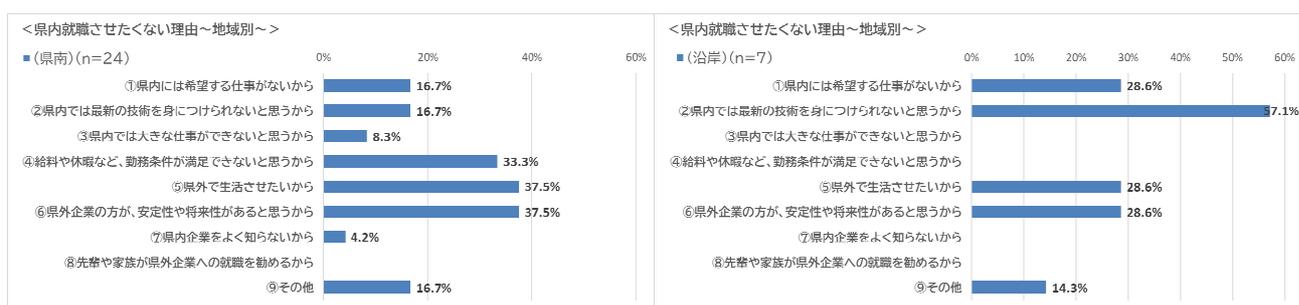
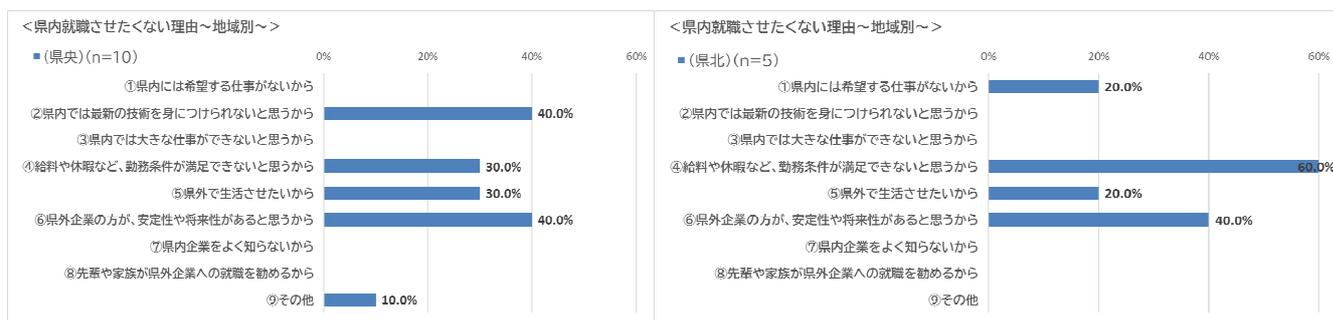
男女別でみると、男女ともに最多は「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」(女性は同数で「県外で生活させたいから」)がトップとなるが、第2順位には、「給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから」となっている。

【県内就職してほしくない理由×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活させたいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	50	8	12	2	14	16	18	1	0	8
		16.0%	24.0%	4.0%	28.0%	32.0%	36.0%	2.0%	0.0%	16.0%
(県央)	10	0	4	0	3	3	4	0	0	1
		0.0%	40.0%	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%
(県北)	5	1	0	0	3	1	2	0	0	0
		20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(県南)	24	4	4	2	8	9	9	1	0	4
		16.7%	16.7%	8.3%	33.3%	37.5%	37.5%	4.2%	0.0%	16.7%
(沿岸)	7	2	4	0	0	2	2	0	0	1
		28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%
(県外)	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
無回答	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



回答数が少数のため参考となるが、地区別で見ると、「県央」は「県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから」と「県内では最新の技術を身につけられないと思うから」が同数でトップ。「県北」は「給与や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから」が最も多く、「県南」は「県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから」と「県外で生活がしたいから」が同数で最多。「沿岸」は「県内では最新の技術を身につけられないと思うから」が最多となり、地区により、区々の結果となった。

【県内就職してほしくない理由×進路先県内外別】

(単位:人)

<進路先別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけれないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活させたいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	50	8	12	2	14	16	18	1	0	8
		16.0%	24.0%	4.0%	28.0%	32.0%	36.0%	2.0%	0.0%	16.0%
①県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②県外	35	5	10	1	8	14	14	1	0	4
		14.3%	28.6%	2.9%	22.9%	40.0%	40.0%	2.9%	0.0%	11.4%
③まだ決まっていない	7	1	1	0	3	2	1	0	0	2
		14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%
④特にこだわらない	8	2	1	1	3	0	3	0	0	2
		25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%
⑤その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

回答が少数のため参考となるが、進路先県内外別でみると、「県内」に進路先を希望する保護者は、「県内」には就職したくないとの回答はゼロ。「県外」に進路先を希望する保護者では、「県外で生活させたいから」と「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が最多となっている。

【その他記載】⑨

<その他>	
もっと広い世界を見て欲しいから	1
仕事が特定の分野のみに限られているから	1
住んでいる場所が違うから	1
世界に目を向けてほしい	1
地元が岩手ではないから	1
賃金安すぎるから。	1
転勤族のため卒業後は県外に戻るから	1

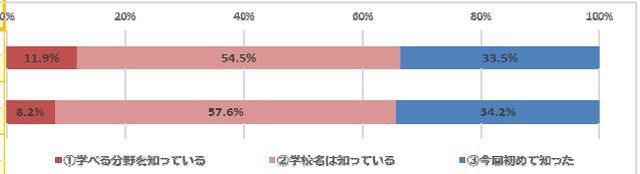
Q 11. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか。

【施設の認知度×男女別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

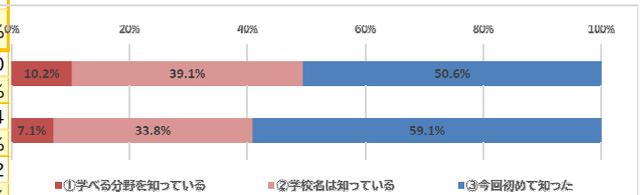
<お子様の性別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
全体	3312	341	1850	1121
	100.0%	10.3%	55.9%	33.8%
①男性	1869	223	1019	627
	100.0%	11.9%	54.5%	33.5%
②女性	1437	118	827	492
	100.0%	8.2%	57.6%	34.2%
無回答	6	0	4	2
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%



高等技術専門校

(単位:人)

<お子様の性別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3161	280	1165	1716
	100.0%	8.9%	36.9%	54.3%
①男性	1778	182	696	900
	100.0%	10.2%	39.1%	50.6%
②女性	1377	98	465	814
	100.0%	7.1%	33.8%	59.1%
無回答	6	0	4	2
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%



保護者の方に「産業技術短期大学校」や「高等技術専門校」の認知度を聞いた。「産業技術短期大学校」については、「学べる分野を知っている」は 10.3%にとどまるが、「学校名は知っている」は 55.9%、「今回初めて知った」が 33.8%。「高等技術専門校」については、「学べる分野を知っている」は 8.9%、「学校名は知っている」は 36.9%、「今回初めて知った」が 54.3%と高校生より認知度は高くなっている。

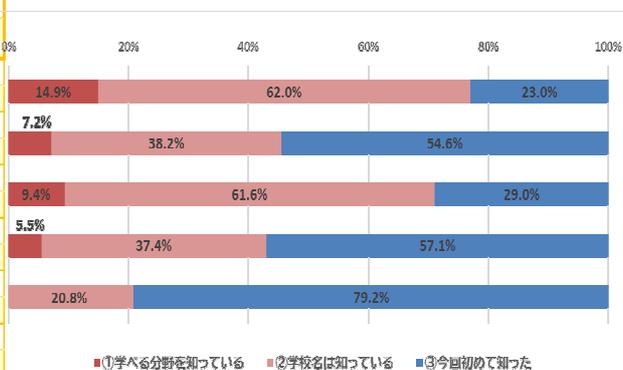
男女別でみると、「産業技術短期大学校」は、「学べる分野を知っている」が「男性」は 11.9%に対して、「女性」は 8.2%。「学校名は知っている」は、「男性」は 54.5%に対し、「女性」は 57.6%。「今回初めて知った」は、「男性」が 33.5%に対し、「女性」は 34.2%。「高等技術専門校」については、「学べる分野を知っている」が、「男性」は 10.2%に対して「女性」は 7.1%にとどまり、「学校名は知っている」は、「男性」は 39.1%に対し、「女性」は 33.8%。「今回初めて知った」は、「男性」が 50.6%に対し、「女性」は 59.1%と、高校生同様、「産業技術短期大学校」よりも認知度が低いことがわかった。

【施設の認知度×地区別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

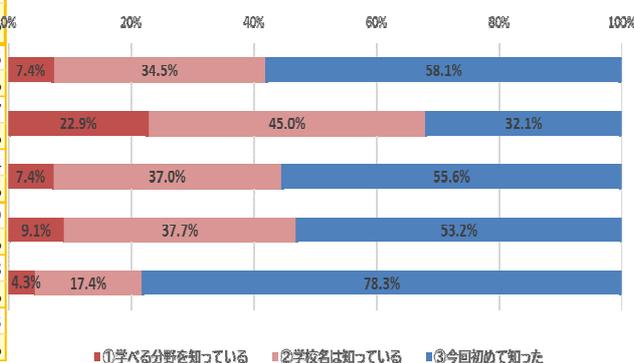
<地域別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3312	341	1850	1121
	100.0%	10.3%	55.9%	33.8%
(県央)	1059	158	657	244
	100.0%	14.9%	62.0%	23.0%
(県北)	251	18	96	137
	100.0%	7.2%	38.2%	54.6%
(県南)	1444	136	889	419
	100.0%	9.4%	61.6%	29.0%
(沿岸)	524	29	196	299
	100.0%	5.5%	37.4%	57.1%
(県外)	24	0	5	19
	100.0%	0.0%	20.8%	79.2%
無回答	10	0	7	3
	100.0%	0.0%	70.0%	30.0%



高等技術専門学校

(単位:人)

<地域別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3161	280	1165	1716
	100.0%	8.9%	36.9%	54.3%
(県央)	1007	75	347	585
	100.0%	7.4%	34.5%	58.1%
(県北)	240	55	108	77
	100.0%	22.9%	45.0%	32.1%
(県南)	1375	102	509	764
	100.0%	7.4%	37.0%	55.6%
(沿岸)	506	46	191	269
	100.0%	9.1%	37.7%	53.2%
(県外)	23	1	4	18
	100.0%	4.3%	17.4%	78.3%
無回答	10	1	6	3
	100.0%	10.0%	60.0%	30.0%



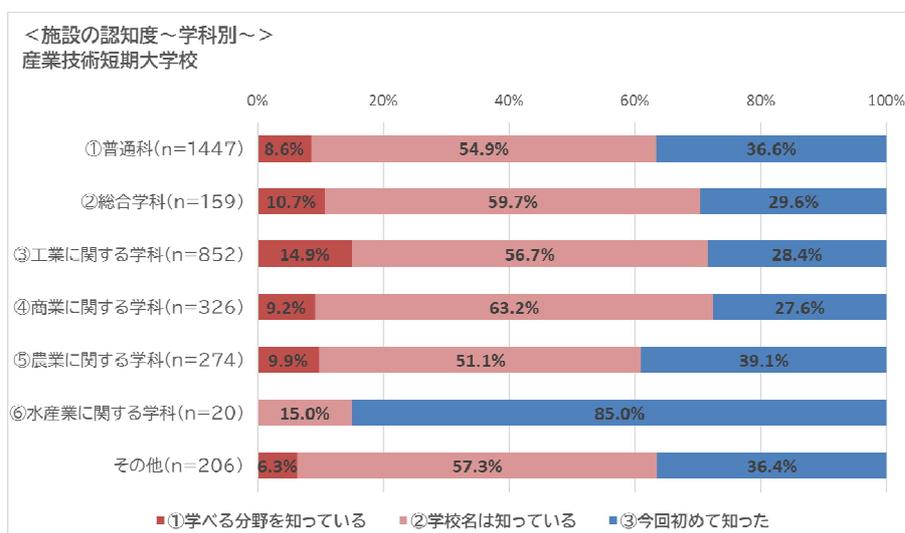
地区別で見ると、高校生と同じ傾向にあるものの、「産業技術短期大学校」については、「県央」と「県南」が、「学べる分野を知っている」はそれぞれ14.9%と9.4%。「学校名は知っている」はそれぞれ62.0%、61.6%となっており、高い認知度を示したが、一方で「県北」や「沿岸」については、認知度は低い結果となった。「県央」には産業技術短期大学校矢巾キャンパス、「県南」には産業技術短期大学校水沢キャンパスがあることが、認知度に影響しているものとみられる。

一方、「高等技術専門学校」については、「県北」での認知度は、「学べる分野を知っている」が22.9%、「学校名は知っている」が45.0%と、他の地区と比べてダントツ高い。「県北」には高等技術専門学校二戸校、「県南」には千厩校、「沿岸」には宮古校があるが、「県南」、「沿岸」では認知度は低く、「県北」地区での重要度は高い位置付けにあることがわかった。

【施設の認知度×学科別】

産業技術短期大学校 (単位:人)

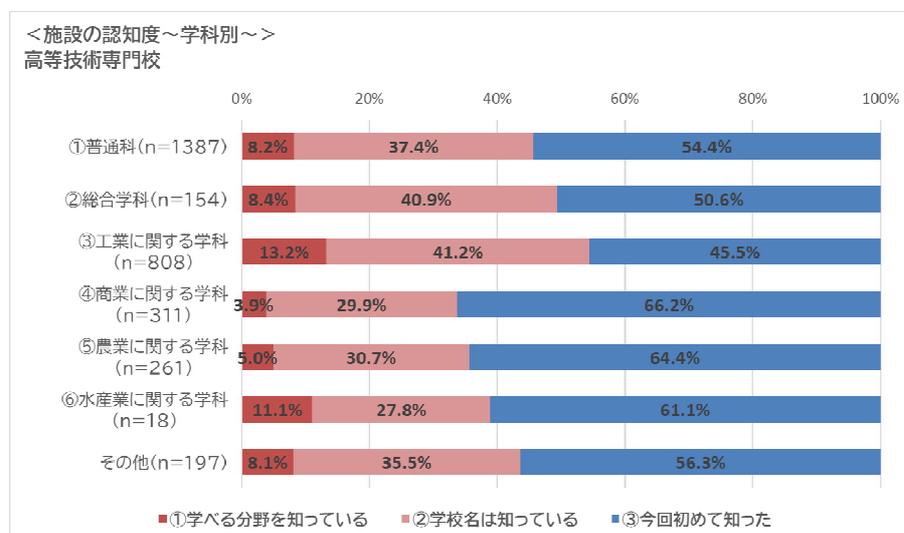
<学科別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3312	341	1850	1121
	100.0%	10.3%	55.9%	33.8%
①普通科	1447	124	794	529
	100.0%	8.6%	54.9%	36.6%
②総合学科	159	17	95	47
	100.0%	10.7%	59.7%	29.6%
③工業に関する学科	852	127	483	242
	100.0%	14.9%	56.7%	28.4%
④商業に関する学科	326	30	206	90
	100.0%	9.2%	63.2%	27.6%
⑤農業に関する学科	274	27	140	107
	100.0%	9.9%	51.1%	39.1%
⑥水産業に関する学科	20	0	3	17
	100.0%	0.0%	15.0%	85.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	21	1	15	5
	100.0%	4.8%	71.4%	23.8%
⑧生活に関する学科	89	7	44	38
	100.0%	7.9%	49.4%	42.7%
⑨福祉に関する学科	30	1	26	3
	100.0%	3.3%	86.7%	10.0%
⑩国際に関する学科	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑪その他	65	4	33	28
	100.0%	6.2%	50.8%	43.1%
無回答	28	3	11	14
	100.0%	10.7%	39.3%	50.0%



高等技術専門校

(単位:人)

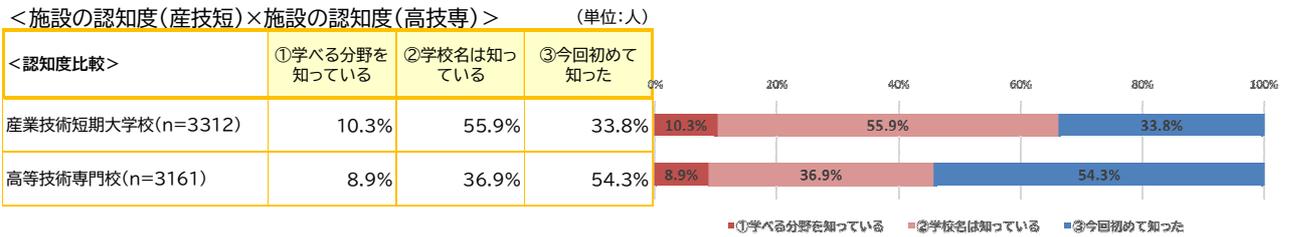
<学科別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3161	280	1165	1716
	100.0%	8.9%	36.9%	54.3%
①普通科	1387	114	519	754
	100.0%	8.2%	37.4%	54.4%
②総合学科	154	13	63	78
	100.0%	8.4%	40.9%	50.6%
③工業に関する学科	808	107	333	368
	100.0%	13.2%	41.2%	45.5%
④商業に関する学科	311	12	93	206
	100.0%	3.9%	29.9%	66.2%
⑤農業に関する学科	261	13	80	168
	100.0%	5.0%	30.7%	64.4%
⑥水産業に関する学科	18	2	5	11
	100.0%	11.1%	27.8%	61.1%
⑦芸術・スポーツに関する学科	20	2	3	15
	100.0%	10.0%	15.0%	75.0%
⑧生活に関する学科	86	9	32	45
	100.0%	10.5%	37.2%	52.3%
⑨福祉に関する学科	28	1	14	13
	100.0%	3.6%	50.0%	46.4%
⑩国際に関する学科	1	1	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	62	3	21	38
	100.0%	4.8%	33.9%	61.3%
無回答	25	3	2	20
	100.0%	12.0%	8.0%	80.0%



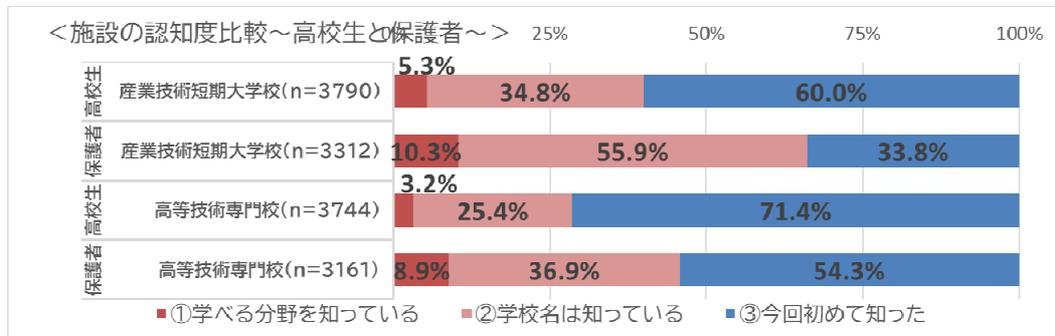
学科別でみると、「産業技術短期大学校」については、全体的に高校生より認知度は高く、「商業に関する学科」、「工業に関する学科」、「総合学科」からの認知度が7割を超えている。高校生アンケートで認知度が低かった「普通科」や「農業に関する学科」は、認知度は増加したが、「水産業に関する学科」からの認知度は依然低い。

「高等技術専門校」については、全体的に「産業技術短期大学校」より認知度は下回るが、「工業に関する学科」においては、「学べる分野を知っている」が13.2%、「学校名は知っている」は41.2%と最も認知度は高かった。「商業に関する学科」や「農業に関する学科」では「産業技術短期大学校」と比べて、認知度は低くなっている。

【施設の認知度（産技短）×施設の知名度（高技専）】



参考：【施設の認知度（高校生×保護者）】



「産業技術短期大学校」の認知度（「学べる分野を知っている」+「学校名は知っている」）は、高校生は40.1%であったのに対して、保護者は66.2%と、26.1ポイントの差があった。同様に、「高等技術専門学校」についても、高校生28.6%、保護者45.8%と保護者からの認知度は高くなっている。

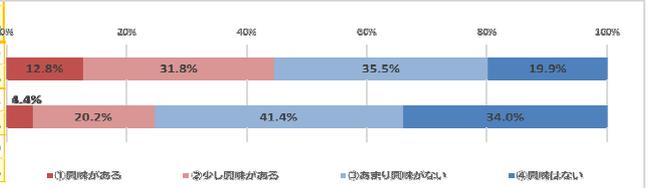
Q12. お子様の進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

【施設への興味×男女別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

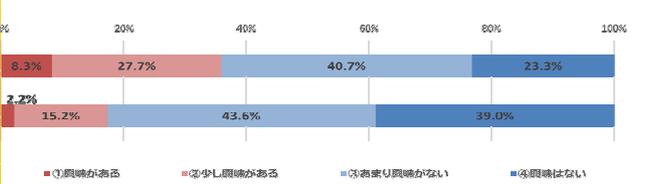
<お子様の性別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3285	300	879	1251	855
	100.0%	9.1%	26.8%	38.1%	26.0%
①男性	1852	237	589	657	359
	100.0%	12.8%	31.8%	35.5%	19.9%
②女性	1429	63	289	591	436
	100.0%	4.4%	20.2%	41.4%	34.0%
無回答	4	0	1	3	0
	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%



高等技術専門学校

(単位:人)

<お子様の性別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3177	181	705	1335	956
	100.0%	5.7%	22.2%	42.0%	30.1%
①男性	1790	149	495	729	417
	100.0%	8.3%	27.7%	40.7%	23.3%
②女性	1382	30	210	603	539
	100.0%	2.2%	15.2%	43.6%	39.0%
無回答	5	2	0	3	0
	100.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%



保護者の方に、進路先として県立職業能力開発施設に興味があるか聞いた。「産業技術短期大学校」については、「興味がある」は 9.1%、「少し興味がある」は 26.8%と、高校生と比べると興味度が高い。しかし「あまり興味がない」と「興味はない」と合わせると 64.1%が興味はないとしている。「高等技術専門学校」については、「興味がある」は 5.7%、「少し興味がある」は 22.2%と「産業技術短期大学校」より興味度は低い。ただし実数ベースでは相当数の保護者が興味を示しており、興味深い結果となった。

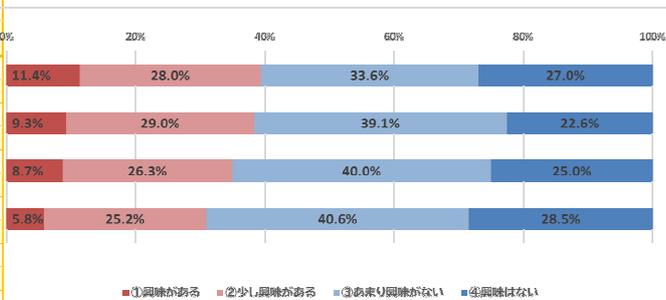
男女別でみると、「産業技術短期大学校」、「高等技術専門学校」ともに、「男性」からの興味度は高いが、高校生同様「女性」からの興味度は低い。

【施設への興味×地区別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

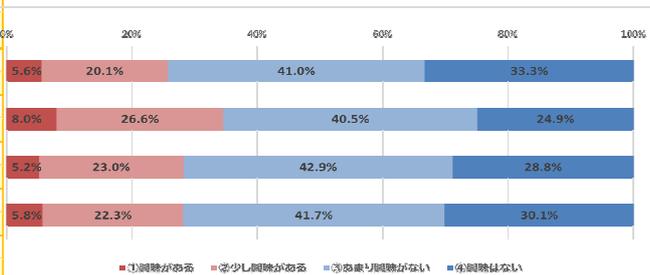
<地域別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3285	300	879	1251	855
	100.0%	9.1%	26.8%	38.1%	26.0%
(県央)	1056	120	296	355	285
	100.0%	11.4%	28.0%	33.6%	27.0%
(県北)	248	23	72	97	56
	100.0%	9.3%	29.0%	39.1%	22.6%
(県南)	1427	124	375	571	357
	100.0%	8.7%	26.3%	40.0%	25.0%
(沿岸)	520	30	131	211	148
	100.0%	5.8%	25.2%	40.6%	28.5%
(県外)	24	3	3	11	7
	100.0%	12.5%	12.5%	45.8%	29.2%
無回答	10	0	2	6	2
	100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%



高等技術専門学校

(単位:人)

<地域別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名を知っている	③今回初めて知った	④今回初めて知った
回答数	3177	181	705	1335	956
	100.0%	5.7%	22.2%	42.0%	30.1%
(県央)	1013	57	204	415	337
	100.0%	5.6%	20.1%	41.0%	33.3%
(県北)	237	19	63	96	59
	100.0%	8.0%	26.6%	40.5%	24.9%
(県南)	1381	72	318	593	398
	100.0%	5.2%	23.0%	42.9%	28.8%
(沿岸)	515	30	115	215	155
	100.0%	5.8%	22.3%	41.7%	30.1%
(県外)	23	3	3	12	5
	100.0%	13.0%	13.0%	52.2%	21.7%
無回答	8	0	2	4	2
	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%



地区別でみると、「産業技術短期大学校」については、「県央」が興味がある割合が 39.4%と最も高く、次いで「県北」、「県南」と続く。高校生アンケートでは「県北」が低い数値となっていたが、保護者では高くなっている。一方、「高等技術専門学校」については、「県北」において「興味がある」は 8.0%、「少し興味がある」が 26.6%と、他地区と比べて高くなっている。「県北」については、「産業技術短期大学校」、「高等技術専門学校」ともに、高い興味度を示している。

【施設への興味×学科別】

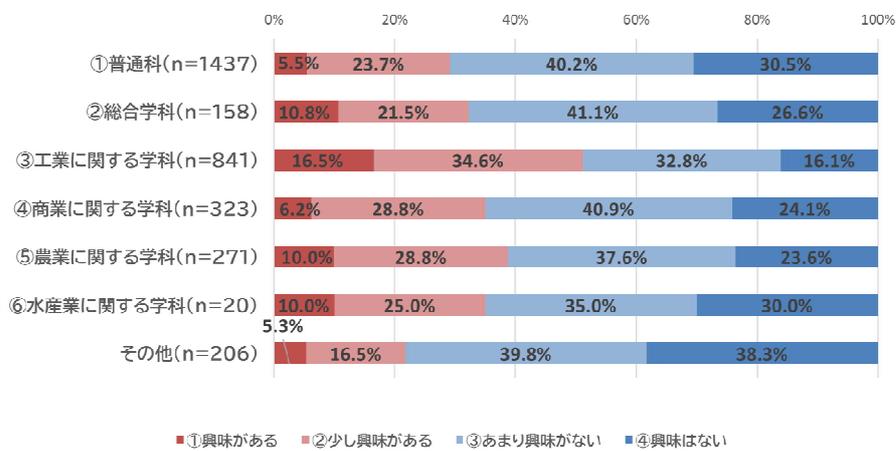
産業技術短期大学校

(単位:人)

<学科別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3285	300	879	1251	855
	100.0%	9.1%	26.8%	38.1%	26.0%
①普通科	1437	79	341	578	439
	100.0%	5.5%	23.7%	40.2%	30.5%
②総合学科	158	17	34	65	42
	100.0%	10.8%	21.5%	41.1%	26.6%
③工業に関する学科	841	139	291	276	135
	100.0%	16.5%	34.6%	32.8%	16.1%
④商業に関する学科	323	20	93	132	78
	100.0%	6.2%	28.8%	40.9%	24.1%
⑤農業に関する学科	271	27	78	102	64
	100.0%	10.0%	28.8%	37.6%	23.6%
⑥水産業に関する学科	20	2	5	7	6
	100.0%	10.0%	25.0%	35.0%	30.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	21	1	4	5	11
	100.0%	4.8%	19.0%	23.8%	52.4%
⑧生活に関する学科	88	4	20	43	21
	100.0%	4.5%	22.7%	48.9%	23.9%
⑨福祉に関する学科	30	2	1	11	16
	100.0%	6.7%	3.3%	36.7%	53.3%
⑩国際に関する学科	1	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑪その他	66	4	9	22	31
	100.0%	6.1%	13.6%	33.3%	47.0%

<施設への興味～学科別～>

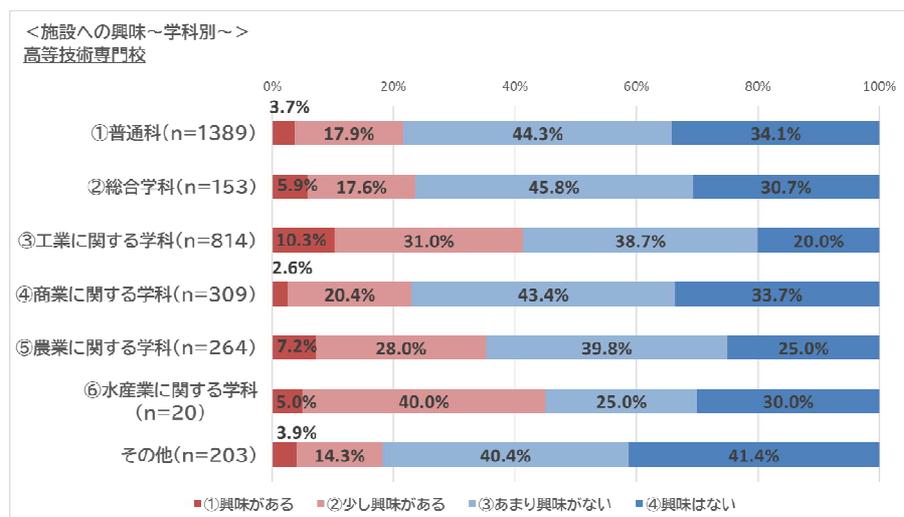
産業技術短期大学校



高等技術専門校

(単位:人)

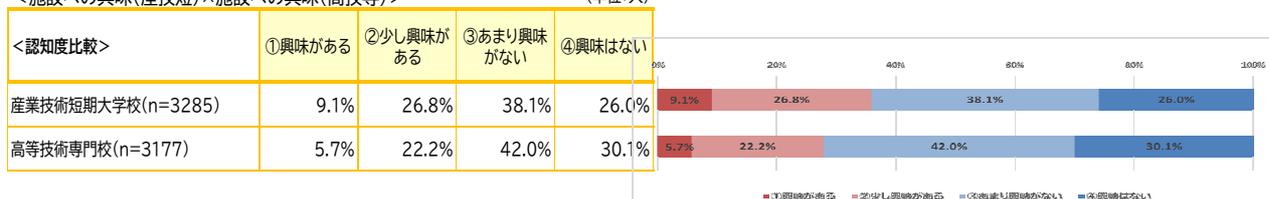
<学科別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3177	181	705	1335	956
	100.0%	5.7%	22.2%	42.0%	30.1%
①普通科	1389	51	249	615	474
	100.0%	3.7%	17.9%	44.3%	34.1%
②総合学科	153	9	27	70	47
	100.0%	5.9%	17.6%	45.8%	30.7%
③工業に関する学科	814	84	252	315	163
	100.0%	10.3%	31.0%	38.7%	20.0%
④商業に関する学科	309	8	63	134	104
	100.0%	2.6%	20.4%	43.4%	33.7%
⑤農業に関する学科	264	19	74	105	66
	100.0%	7.2%	28.0%	39.8%	25.0%
⑥水産業に関する学科	20	1	8	5	6
	100.0%	5.0%	40.0%	25.0%	30.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	20	1	4	4	11
	100.0%	5.0%	20.0%	20.0%	55.0%
⑧生活に関する学科	85	3	14	43	25
	100.0%	3.5%	16.5%	50.6%	29.4%
⑨福祉に関する学科	30	0	2	12	16
	100.0%	0.0%	6.7%	40.0%	53.3%
⑩国際に関する学科	1	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	67	3	9	23	32
	100.0%	4.5%	13.4%	34.3%	47.8%



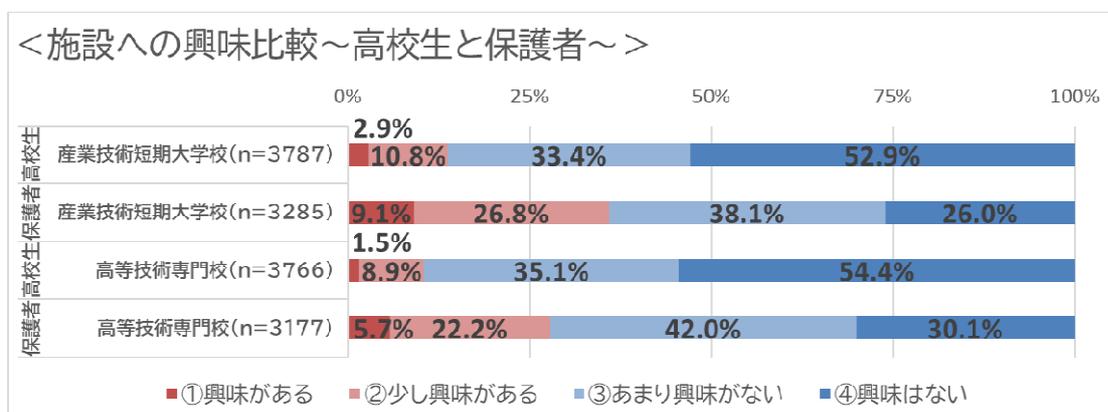
学科別でみると、「産業技術短期大学校」については、「工業に関する学科」が「興味がある」が 16.5%、「少し興味がある」が 34.6%と、高校生アンケートと同じ傾向で、「工業に関する学科」は興味が高い傾向を示している。「高等技術専門校」についても同様に、「工業に関する学科」が最も高い傾向を示している。

【施設への興味（産技短）×施設への興味（高技専）】

<施設への興味(産技短)×施設への興味(高技専)> (単位:人)



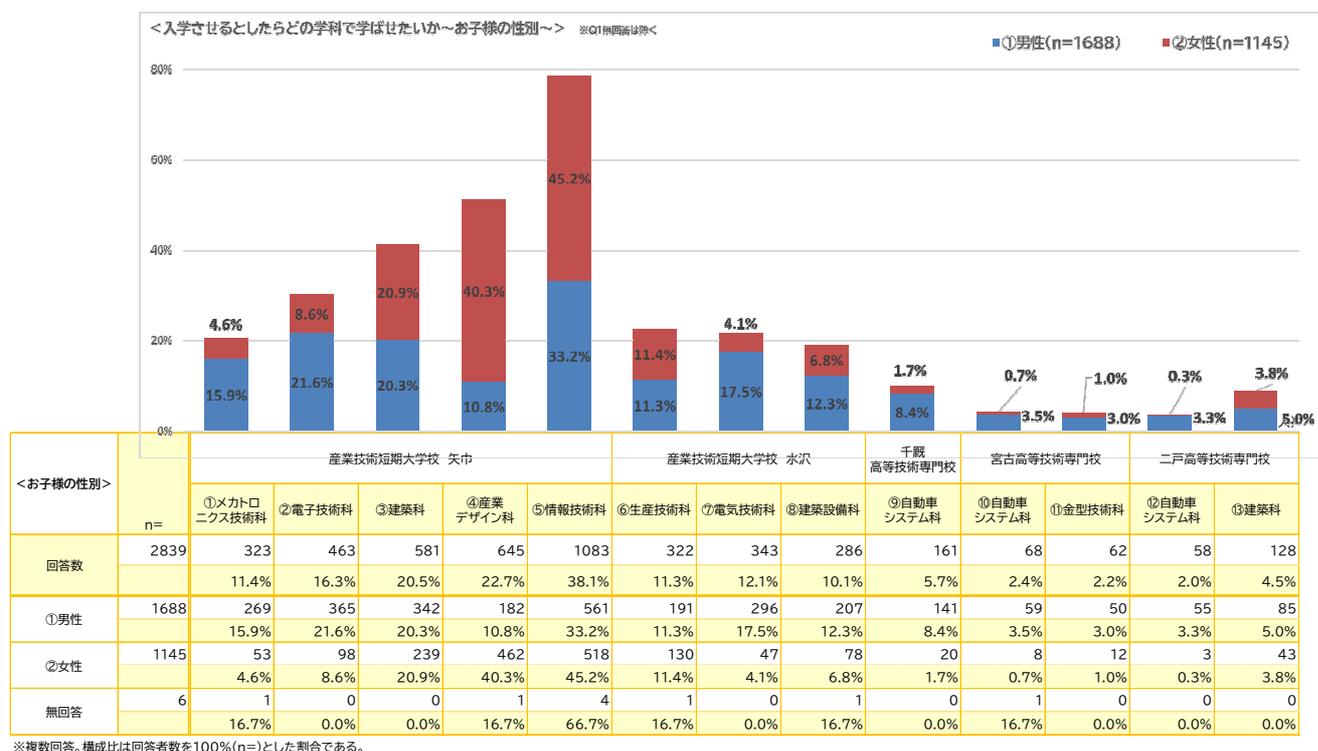
参考：【施設への興味（高校生×保護者）】



参考までに「産業技術短期大学校」の興味度（「興味がある」+「少し興味がある」）は、高校生は 13.7%であったのに対して、保護者は 35.9%と、22.2 ポイントの差があった。「高等技術専門学校」についても、高校生が 10.4%であったのに対して、保護者は 27.9%と、いずれも保護者のほうが職業能力開発施設に対して興味を示している割合が高いことがわかった。

Q13. お子様を産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学させるとしたら、どの学科で学んでほしいですか。（2つ以内）

【どの学科で学んでほしいか×男女別】



保護者の方から、産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学させるとしたら、どの学科で学んでほしいか聞いたところ、「産業技術短期大学校：情報技術科」が 38.1%と最も高く、次いで「産業技術短期大学校：産業デザイン科」の 22.7%、「産業技術短期大学校：建築科」の 20.5%となった。いずれも産業技術短期大学校となった。

男女別でみると、「男性」では「産業技術短期大学校：情報技術科」が最も高く 33.2%、次いで「産業技術短期大学校：電子技術科」の 21.6%、「産業技術短期大学校：建築科」の 20.3%と続く。「女性」では「産業技術短期大学校：情報技術科」が 45.2%、次いで「産業技術短期大学校：産業デザイン科」の 40.3%、「産業技術短期大学校：建築科」の 20.9%と続く。高校生アンケートでは、トップは「産業技術短期大学校：産業デザイン科」であったが、保護者では「産業技術短期大学校：情報技術科」が最多。ただ「女性」の「産業技術短期大学校：産業デザイン科」は依然高い割合を示している。

また男女比では「産業技術短期大学校：産業デザイン科」と「産業技術短期大学校：情報技術科」、「高等技術専門校二戸校：建築科」は、「男性」より「女性」のほうが高い割合となっている。

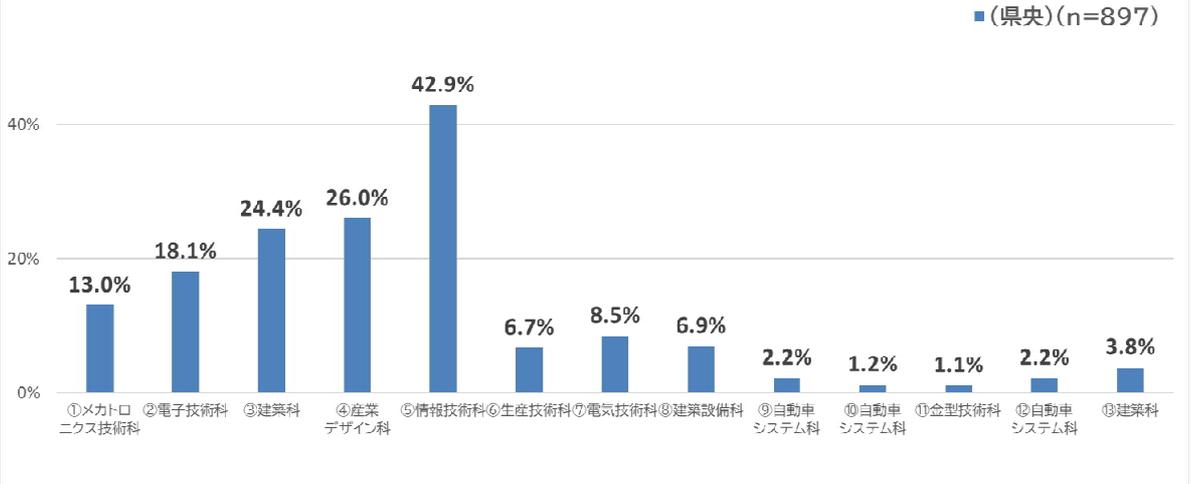
【どの学科で学んでほしいか×地区別】

(単位:人)

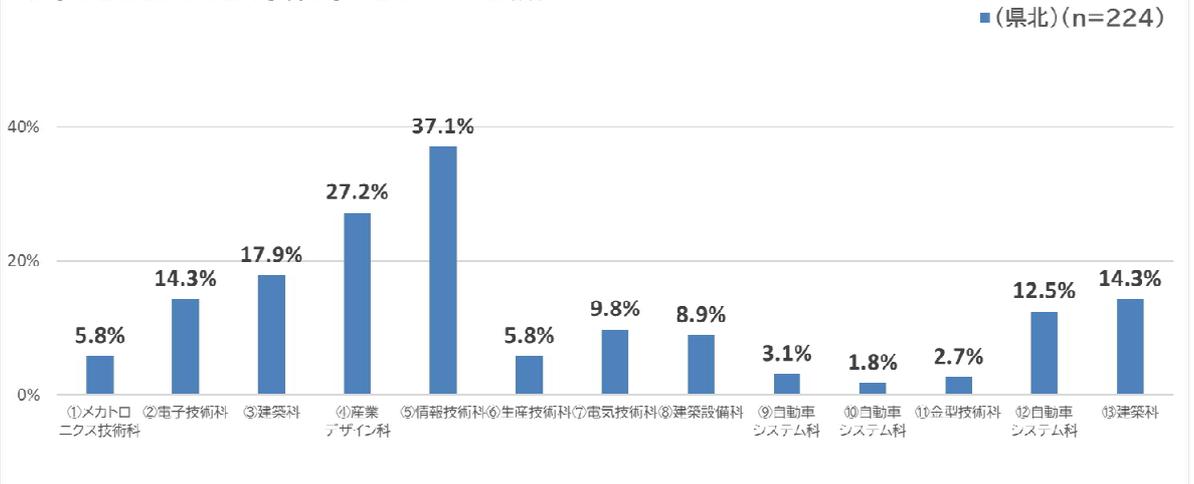
<地域別>	n=	産業技術短期大学校 矢巾					産業技術短期大学校 水沢			千厩 高等技術専門学校	宮古高等技術専門学校		二戸高等技術専門学校	
		①メカトロ ニクス技術科	②電子技術科	③建築科	④産業 デザイン科	⑤情報技術科	⑥生産技術科	⑦電気技術科	⑧建築設備科	⑨自動車 システム科	⑩自動車 システム科	⑪金型技術科	⑫自動車 システム科	⑬建築科
回答数	2839	323	463	581	645	1083	322	343	286	161	68	62	58	128
		11.4%	16.3%	20.5%	22.7%	38.1%	11.3%	12.1%	10.1%	5.7%	2.4%	2.2%	2.0%	4.5%
(県央)	897	117	162	219	233	385	60	76	62	20	11	10	20	34
		13.0%	18.1%	24.4%	26.0%	42.9%	6.7%	8.5%	6.9%	2.2%	1.2%	1.1%	2.2%	3.8%
(県北)	224	13	32	40	61	83	13	22	20	7	4	6	28	32
		5.8%	14.3%	17.9%	27.2%	37.1%	5.8%	9.8%	8.9%	3.1%	1.8%	2.7%	12.5%	14.3%
(県南)	1240	141	198	218	255	446	201	186	152	107	9	19	5	41
		11.4%	16.0%	17.6%	20.6%	36.0%	16.2%	15.0%	12.3%	8.6%	0.7%	1.5%	0.4%	3.3%
(沿岸)	447	48	65	100	90	158	44	55	51	24	43	27	2	19
		10.7%	14.5%	22.4%	20.1%	35.3%	9.8%	12.3%	11.4%	5.4%	9.6%	6.0%	0.4%	4.3%
(県外)	22	2	5	2	5	7	4	4	0	3	0	0	2	2
		9.1%	22.7%	9.1%	22.7%	31.8%	18.2%	18.2%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
無回答	9	2	1	2	1	4	0	0	1	0	1	0	1	0
		22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%

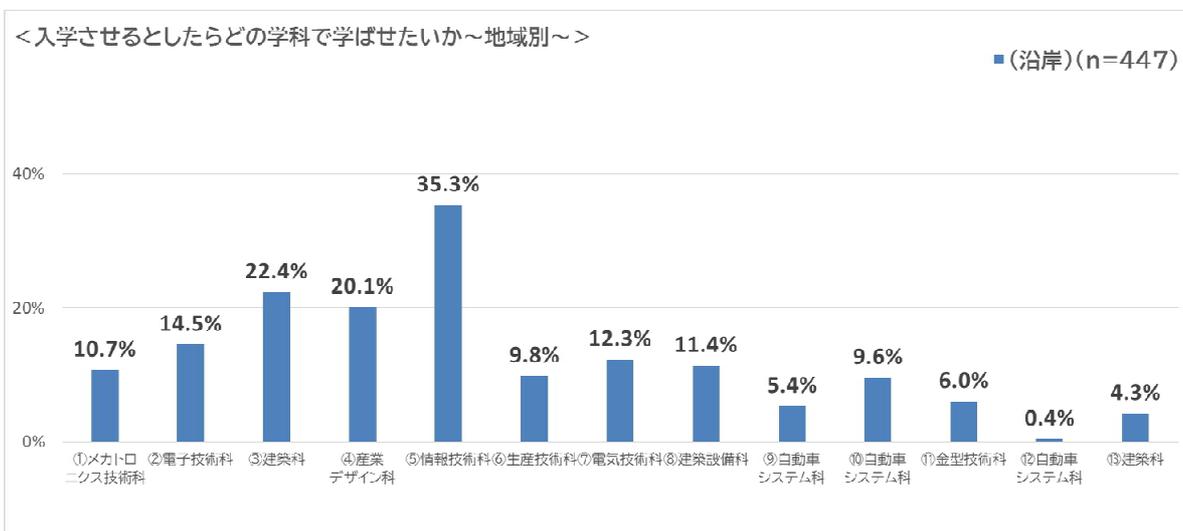
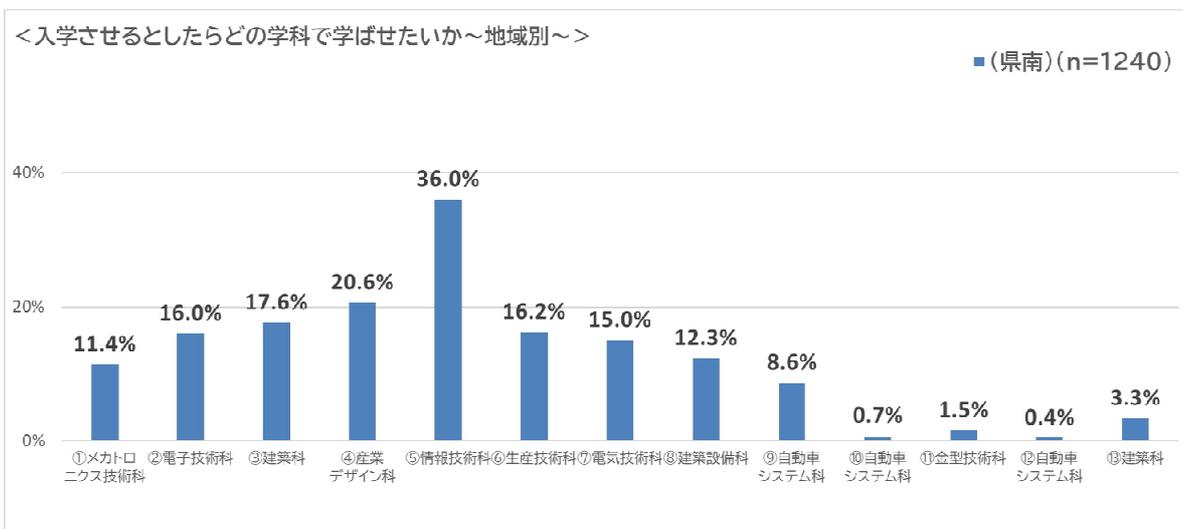
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

<入学させるとしたらどの学科で学ばせたいか～地域別～>



<入学させるとしたらどの学科で学ばせたいか～地域別～>





地区別でみると、いずれの地区でも「産業技術短期大学校：情報技術科」が最も多い。高い割合となったのは、「県央」では「産業技術短期大学校：情報技術科」と「産業技術短期大学校：建築科」、「産業技術短期大学校：電子技術科」、「産業技術短期大学校：メカトロニクス技術科」となっている。「県北」では「産業技術短期大学校：産業デザイン科」、「高等技術専門校二戸校：建築科」と「高等技術専門校二戸校：自動車システム科」となっている。「県南」では、「産業技術短期大学校水沢キャンパス：生産技術科」と「産業技術短期大学校水沢キャンパス：電気技術科」、「産業技術短期大学校水沢キャンパス：建築設備科」、「高等技術専門校千厩校：自動車システム科」となっている。「沿岸」では「高等技術専門校宮古校：自動車システム科」、「高等技術専門校宮古校：金型技術科」となっている。やはり居住地と学校の所在地の相関関係もありそうだ。

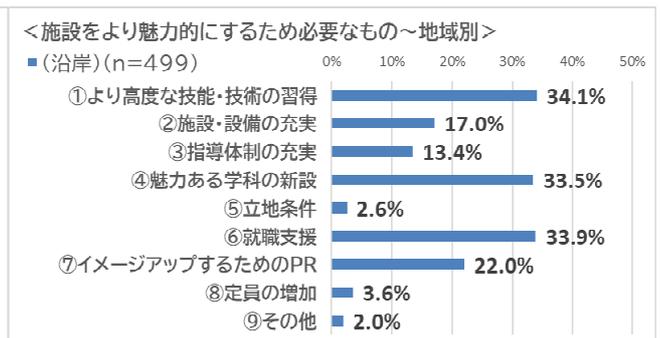
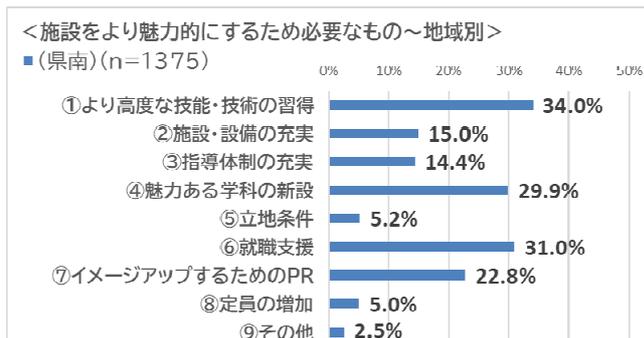
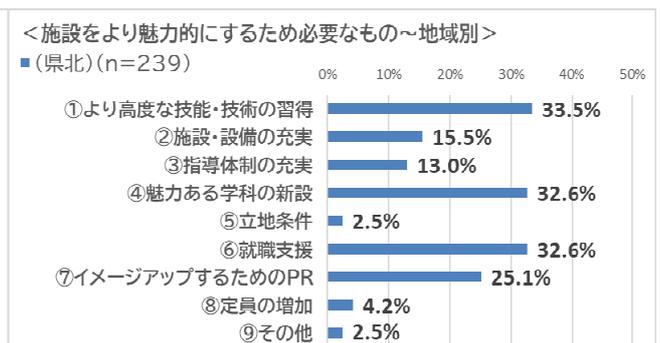
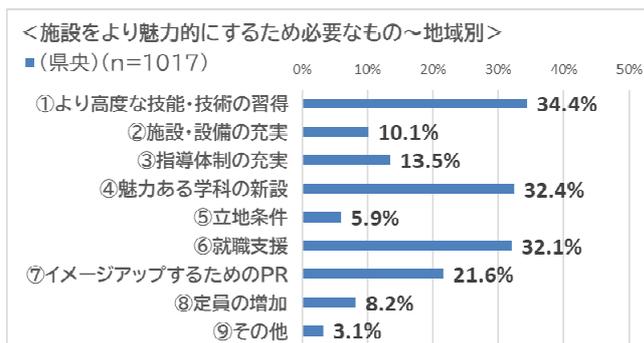
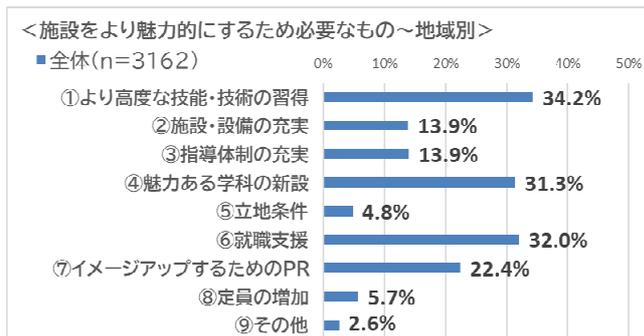
Q14. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

【魅力的な施設とするために必要なこと×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3162	1081	438	440	989	153	1011	707	181	83
		34.2%	13.9%	13.9%	31.3%	4.8%	32.0%	22.4%	5.7%	2.6%
(県央)	1017	350	103	137	330	60	326	220	83	32
		34.4%	10.1%	13.5%	32.4%	5.9%	32.1%	21.6%	8.2%	3.1%
(県北)	239	80	37	31	78	6	78	60	10	6
		33.5%	15.5%	13.0%	32.6%	2.5%	32.6%	25.1%	4.2%	2.5%
(県南)	1375	468	206	198	411	71	426	313	69	35
		34.0%	15.0%	14.4%	29.9%	5.2%	31.0%	22.8%	5.0%	2.5%
(沿岸)	499	170	85	67	167	13	169	110	18	10
		34.1%	17.0%	13.4%	33.5%	2.6%	33.9%	22.0%	3.6%	2.0%
(県外)	23	9	5	5	1	1	8	4	1	0
		39.1%	21.7%	21.7%	4.3%	4.3%	34.8%	17.4%	4.3%	0.0%
無回答	9	4	2	2	2	2	4	0	0	0
		44.4%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



保護者の方に、より魅力的な施設にするために何が必要か聞いたところ、「より高度な技能・技術の習得」が34.2%と最も高く、次いで「就職支援」の32.0%、「魅力ある学科の新設」の31.3%、「イメージアップするためのPR」の22.4%と続く。

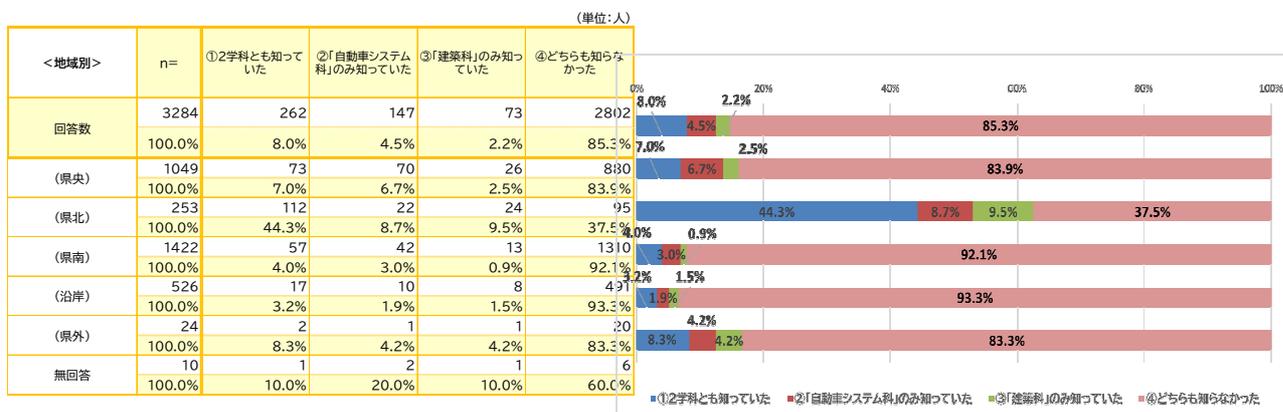
地区別でみると、「県央」は「より高度な技能・技術の習得」が34.4%と最も高く、次いで「魅力ある学科の新設」の32.4%、「就職支援」の32.1%と続く。「県北」は「より高度な技能・技術の習得」が33.5%と最も多く、次いで「魅力ある学科の新設」と「就職支援」が同数で32.6%となっている。「県南」は「より高度な技能・技術の習得」が34.0%と最も高く、次いで「就職支援」の31.0%、「魅力ある学科の新設」の29.9%と続く。「沿岸」は「より高度な技能・技術の習得」が34.1%が最多で、次いで「就職支援」の33.9%、「魅力ある学科の新設」の33.5%と続く。高校生と比べて、「施設・設備の充実」は重要視せず、「就職支援」や「魅力ある学科の新設」を望む声が多い。

【その他記載】⑨

<その他>	
PR、どんなことをしているか。	1
カリスマ性のある指導者。的確な指導もあるがここでしか学べない指導があつて就職先へのルートが入学時から描けることで子側が進んで選択するもの(未来ビジョン確立)	1
これから情報を得ようとしていた。	1
そもそも知っている人を増やす(保護者)	1
そもそも知らない方が多いのではないか。	1
どういったことをしているのか具体的に発信する。さまざまな方法を。	1
よくわかりません	1
わからない	2
わからない。	1
医療、福祉系、学科	1
一般への認知度を上げる	1
一般企業の開発支援	1
下宿や寮の完備→2,3人同じ部屋でも金額が抑えられるようなWi-Fi完備	1
何を学ぶ学校なのかをPRすると共に、就職先はどのような所かを各高校、中学校などを通してよいので、定期的に周知する必要があると思います。入学するメリットがわかりません。	1
科の充実、男性が学が分野のように思う。	1
学科の新設。	1
学校の名前を変える事	1
学校名	1
学費補助	1
学費無料	1
活きる技術の習得	1
興味があれば調べて行くと思うので、学科を新設して頂くとありがたい。	1
興味がない	1
具体的に学べる内容のPR	1
検定料を安く、裏面の学校案内を別紙でもらえると、見返しもできるのですが！	1
広く知ってもらうためのPR	1
考えたことがないのでわかりかねます	1
行政としてじゃなく、人作りとしてもっと積極的になってほしい。サービス業じゃなくエンジニアを育てる時期だと思う。	1
高等技専門学校に関しては近くにない	1
今のポジションをぜひ維持してください	1
四大への移行	1
支援金制度	1
資格取得のラックアップ	1
資格取得の充実	1
時間の意識、仕事に就いて早い時期に身に付けてほしい	1
時代に合った分野の新設(需要と供給)	1
実績	2
社会で通用する人間性の構築、実際弊社で採用した人材に難あり	1
授業料支援	1
需要の多い企業に直結するスキル習得	1
就職率	1
充分魅力的。	1
初めて知ったばかりなので、特にもとめる事はない。	1
女の子にも興味をもてる学科もあると良い。	1
女子が希望する科が少ないと思う	1
女性が興味をもてる学科があれば良い。	1
女性でも行きやすい産業にすべき。	1
小学校・中学校の時点で興味を持てるようなPR	1
上記の学科だと女子が行きたいと思える学科が少ない。	1
真に役に立つものへの集約	1
人を育てる事	1
先日見学させていただきました。良さをもっと広めてほしい。すばらしかったです。	1
知らないところが沢山ありました。矢巾キャンパス。	1
専門技術に習うより慣れろというのもありだと思う。	1
祖母世代の現在就労している方々とのパイプ	1
卒業した生徒たちが、どこの企業に就職したのか。	1
大学・短大・専門学校との違いを明確にし、費用面や就職率と強みを前面に出した	1
短期大学ではなく大学にする	1
知名度	1
知名度、認知度	1
知名度を上げる	1
地元企業と連携する取り組み	1
中学時代からPR	1
土木関係の仕事	1
特になし	1
入学・在学中の支援アピール	1
普通高校からならそのまま良いと思いますが、工業高校だと高校の復習が多いと感じます	1
分からない	3
寮をもっときれいな建物にしてほしい。	1

Q15. 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等技術専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

【二戸校認知度×地区別】



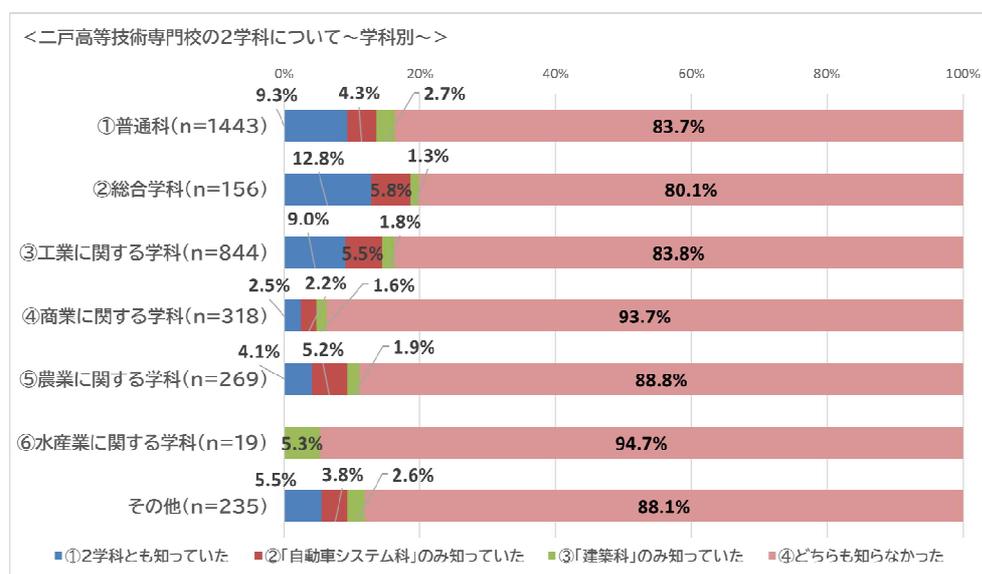
保護者の方に、二戸高等技術専門校の認知度について聞いた。「2学科ともに知っていた」は8.0%、「自動車システム科のみ知っていた」は4.5%、「建築科のみ知っていた」は2.2%にとどまり、「どちらも知らなかった」は85.3%にも及ぶ。

地区別にみると、二戸校の所在する「県北」は他地区と比べて認知度は高く、「2学科ともに知っていた」は44.3%と、高校生と比べて32.0ポイントの差がついた。「自動車システム科のみ知っていた」は8.7%、「建築科のみ知っていた」は9.5%となり、約6割の保護者からの認知度は確認される。ただ一方で、他地区については、高校生アンケート同様、認知度は低い結果となった。

【二戸校認知度×学科別】

(単位:人)

<学科別>	n=	①2学科とも知っていた	②「自動車システム科」のみ知っていた	③「建築科」のみ知っていた	④どちらも知らなかった
回答数	3284	262	147	73	2802
	100.0%	8.0%	4.5%	2.2%	85.3%
①普通科	1443	134	62	39	1208
	100.0%	9.3%	4.3%	2.7%	83.7%
②総合学科	156	20	9	2	125
	100.0%	12.8%	5.8%	1.3%	80.1%
③工業に関する学科	844	76	46	15	707
	100.0%	9.0%	5.5%	1.8%	83.8%
④商業に関する学科	318	8	7	5	298
	100.0%	2.5%	2.2%	1.6%	93.7%
⑤農業に関する学科	269	11	14	5	239
	100.0%	4.1%	5.2%	1.9%	88.8%
⑥水産業に関する学科	19	0	0	1	18
	100.0%	0.0%	0.0%	5.3%	94.7%
⑦芸術・スポーツに関する学科	20	1	1	0	18
	100.0%	5.0%	5.0%	0.0%	90.0%
⑧生活に関する学科	88	6	1	2	79
	100.0%	6.8%	1.1%	2.3%	89.8%
⑨福祉に関する学科	31	2	4	0	25
	100.0%	6.5%	12.9%	0.0%	80.6%
⑩国債に関する学科	1	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	67	1	3	3	60
	100.0%	1.5%	4.5%	4.5%	89.6%
無回答	28	2	0	1	25
	100.0%	7.1%	0.0%	3.6%	89.3%



学科別で見ると、「総合学科」からの認知度は他より若干高いものの、各学科ともに約8～9割近くの保護者が知らなかったこととなる。

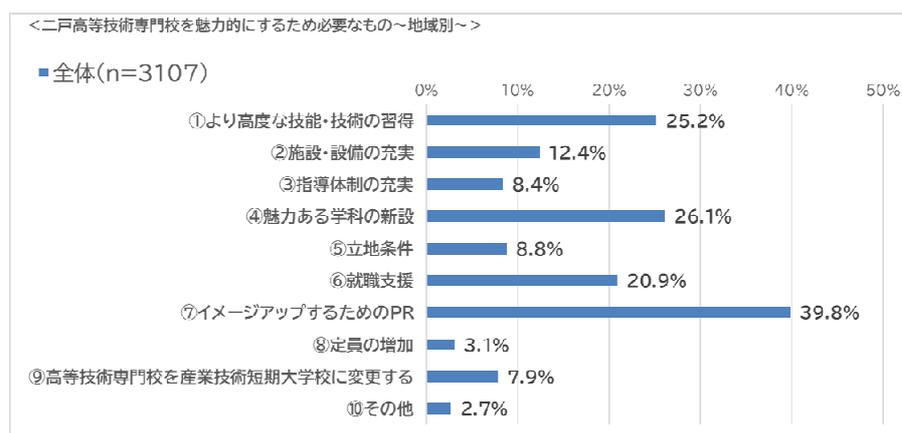
Q16. 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が重要だと思いますか。（2つ以内）

【二戸校をより魅力的にするために必要なもの×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨高等技術専門校を産業技術短期大学校に変更する	⑩その他
全体	3107	782	385	260	812	273	649	1238	95	244	83
		25.2%	12.4%	8.4%	26.1%	8.8%	20.9%	39.8%	3.1%	7.9%	2.7%
(県央)	1001	238	100	77	291	106	206	393	39	95	30
		23.8%	10.0%	7.7%	29.1%	10.6%	20.6%	39.3%	3.9%	9.5%	3.0%
(県北)	249	83	36	25	78	8	58	78	7	27	5
		33.3%	14.5%	10.0%	31.3%	3.2%	23.3%	31.3%	2.8%	10.8%	2.0%
(県南)	1330	319	166	111	320	132	250	568	39	89	34
		24.0%	12.5%	8.3%	24.1%	9.9%	18.8%	42.7%	2.9%	6.7%	2.6%
(沿岸)	495	132	74	40	117	26	126	191	10	32	14
		26.7%	14.9%	8.1%	23.6%	5.3%	25.5%	38.6%	2.0%	6.5%	2.8%
(県外)	23	6	6	7	3	0	7	7	0	0	0
		26.1%	26.1%	30.4%	13.0%	0.0%	30.4%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	4	3	0	3	1	2	1	0	1	0
		44.4%	33.3%	0.0%	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%

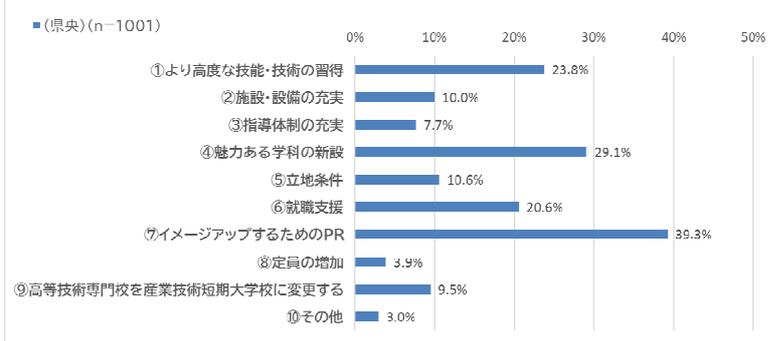
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



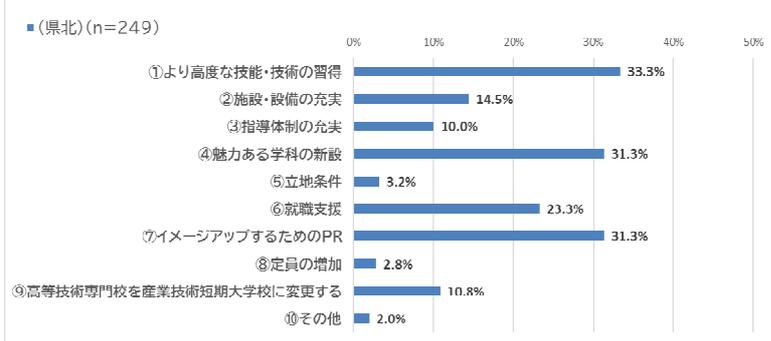
保護者の方に、高等技術専門校二戸校をより魅力的な施設にするために必要なことを聞いた。「イメージアップするためのPR」が最多の39.8%で、次いで「魅力ある学科の新設」の26.1%、「より高度な技能・技術の習得」の25.2%、「就職支援」の20.9%と続く。尚、Q14と比較すると、「イメージアップするためのPR」を必要とする割合が多くなっている。

地区別でも、いずれの地区でも最多は「イメージアップするためのPR」（「県北」はトップ同数で「魅力ある学科の新設」）となっている。

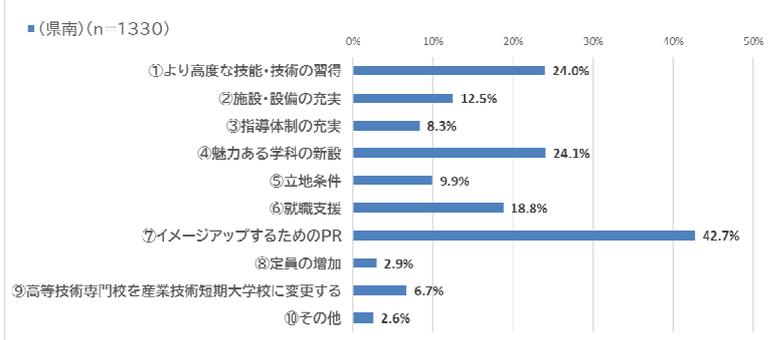
<二戸高等技術専門学校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



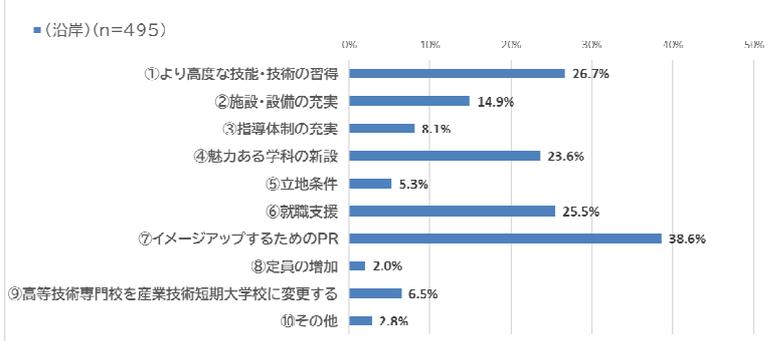
<二戸高等技術専門学校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



<二戸高等技術専門学校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



<二戸高等技術専門学校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



【その他記載】⑩

＜その他＞	
3年生を新規として、自動車と建築の両方の技能・技術を出来るようにする。	1
PR	1
TV、CMなどで、PR。	1
あることを知らなかった。存在をアピール	1
そもそも知っている人を増やす(保護者)	1
どういったことをしているのか具体的に発信する。さまざまな方法を。	1
ほかには無い学科に特化すると良いと思います。	1
よくわかりません	1
よく内容を知らないのではなんとも言えない	1
わからない	5
わからない。	2
わかりません	1
わかりません。	1
一般への認知度を上げる	1
下宿や寮の完備→2,3人同じ部屋でも金額が抑えられるようなWi-Fi完備	1
何かに特化した予算の集中	1
各学校へ出向いて進学PRを行う必要がある。何をしてくわかわからないので。	1
確実な高度な資格取得	1
学科を増やす	1
学業以外の生活の質について向上する必要	1
学校があることを知らなかったの、そこからPRするべきでは？	1
学校名	1
学生にもっと知ってもらうことが必要だと思う	1
技術などの大会を開催し、名前をおぼえてもらうことから。	1
興味がない	1
興味がないと調べない	1
県の人材育成を明確にする	1
広く知ってもらうためのPR	1
広報	1
今回初めて知ったので、特に求める事はない。	1
施設に関する概要を知らないなので回答できない。	1
社会で通用する人間性の構築、実際弊社で採用した人材に難あり	1
授業料の支援	1
就職先など(就職率、会社名をアピールしたPR)。卒業後のPR。	1
修行年数2年→3年	1
初めて知ったので、情報発信。	1
初めて知ったのでどういう学校なのかわからない	1
製造関係(機械科や電気科等直接資格に結び付く学科が必要)	1
他にはない学習や体験ができること	1
知らない	1
知名度	1
知名度・知らないのに答えることはできません	1
知名度を上げる	1
地元以外の県民で知っている人が少ないのでは。存在のPR	1
地場産業のマッチした学科の設置(被覆等)	1
中学時代からPR	1
特になし、よく分からない	1
特になし	1
二戸のことを良く知りません	1
二戸高等技術専門校で学べる技術・技能のPRをする。	1
二戸地域への関連企業の誘致	1
認知度ある事すら知らなかったの	1
分からない	5
魅力ある情報発信	1
名前を変える	1
寮・アルバイトの充実	1
寮の設備。	1
寮を魅力的に！	1

Q17. 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。Ⅰ～Ⅴ、それぞれにお答えください。

Ⅰ. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

Ⅱ. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

Ⅲ. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

Ⅳ. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

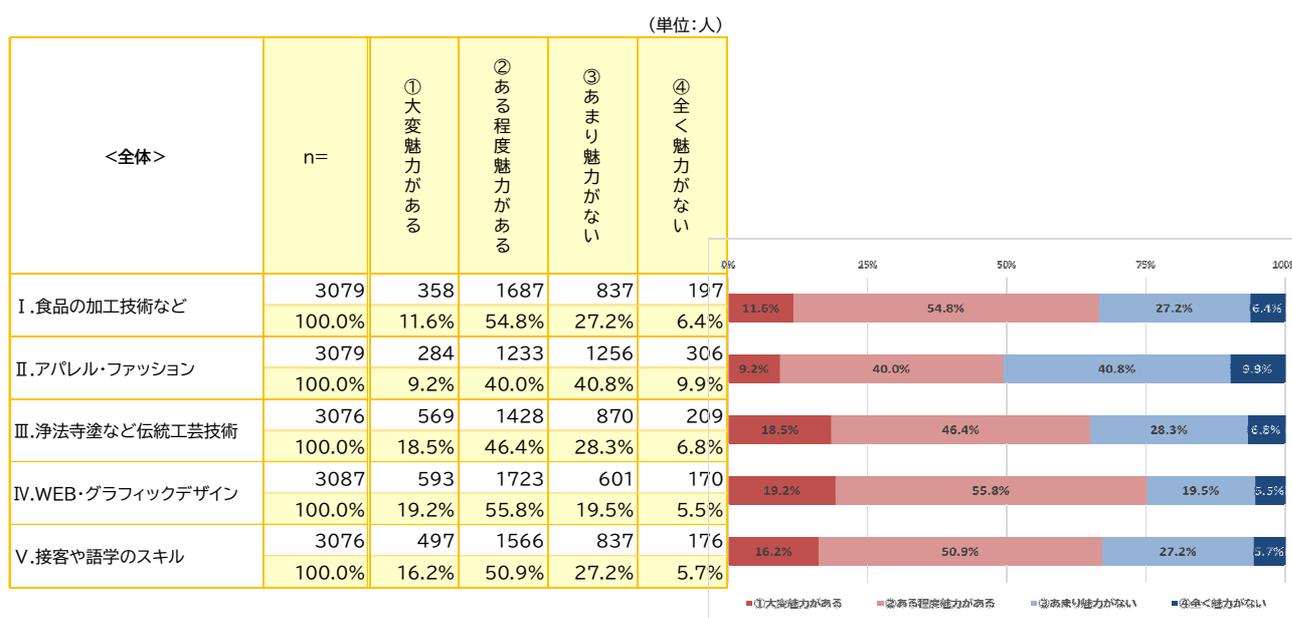
Ⅴ. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

様々な期待される新設コースは検討の余地があるが、今回は二戸校のある県北エリアの基幹産業や県民計画で示されている県北の特色ある産業に関連する上記選択肢を設定した。

※選択肢の「Ⅰ. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース」を「食品の加工技術など」に、「Ⅱ. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース」を「アパレル・ファッション」に、「Ⅲ. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース」を「浄法寺塗など伝統工芸技術」に、「Ⅳ. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース」を「WEB・グラフィックデザイン」に、「Ⅴ. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース」を「接客や語学のスキル」と略しています。

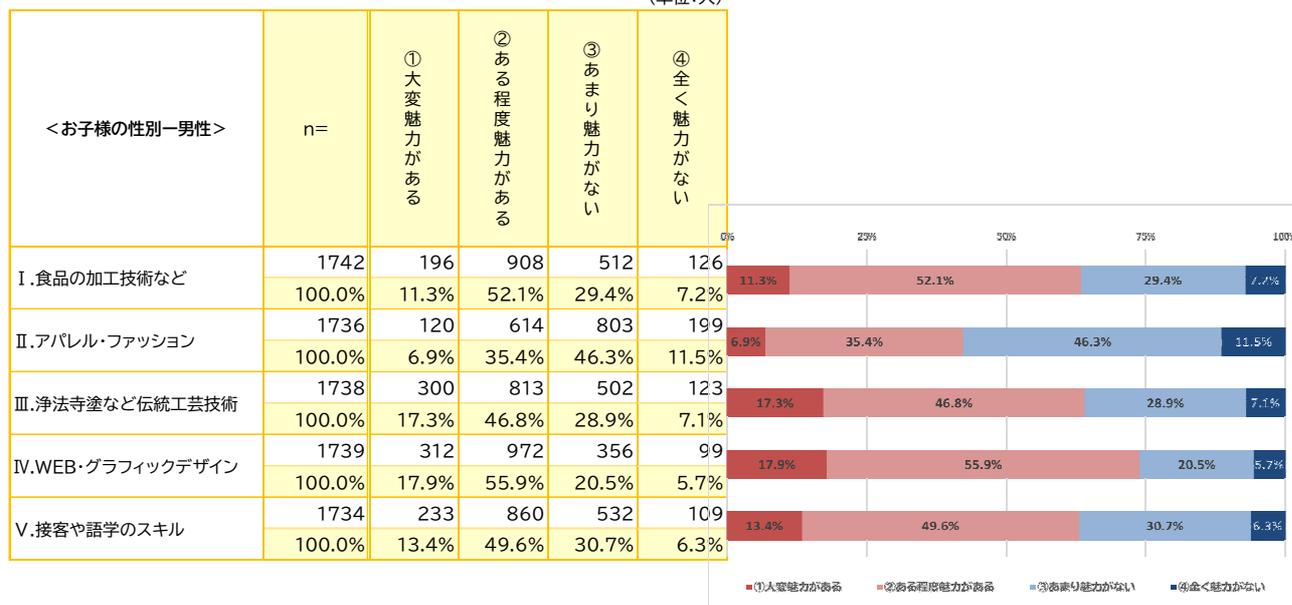
【二戸校新設コース×男女別】

<全体>



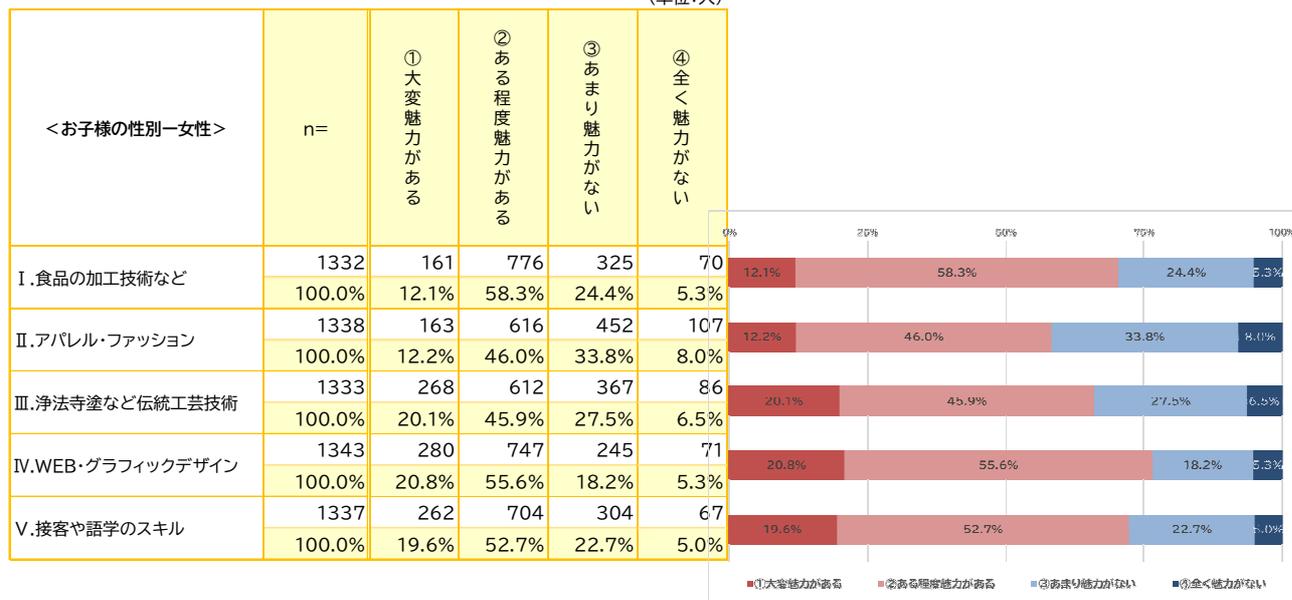
<男性>

(単位:人)



<女性>

(単位:人)



保護者の方に、高等技術専門校二戸校に新たな新設コースを設置するとしたらどのようなコースなら魅力を感じるか聞いた。尚、以降の分析については、「大変魅力がある」と「ある程度魅力がある」を「魅力がある」、「あまり魅力がない」と「全く魅力がない」を「魅力がない」として、分析している。全体では最多は「WEB・グラフィックデザイン」が75.0%、次いで「接客や語学のスキル」の67.1%「食品の加工技術など」の66.4%、と続く。

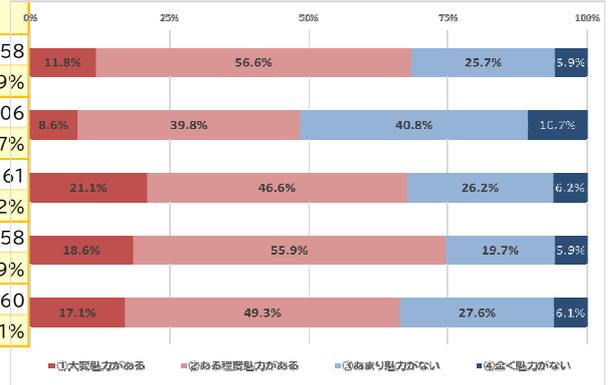
男女別でみると、「男性」は「WEB・グラフィックデザイン」が73.8%と最も高く、次いで「浄法寺塗など伝統工芸技術」の64.1%、「食品の加工技術など」の63.4%と続く。一方「女性」は「WEB・グラフィックデザイン」が最も高く76.4%と最も高く、次いで「接客や語学のスキル」の72.3%、「食品の加工技術など」の70.4%と続く。高校生アンケートでは上位であった「アパレル・ファッション」は低くなり、「WEB・グラフィックデザイン」、「食品の加工技術など」、「接客や語学のスキル」の割合が高くなった。

【二戸校新設コース×地区別】

<県央>

(単位:人)

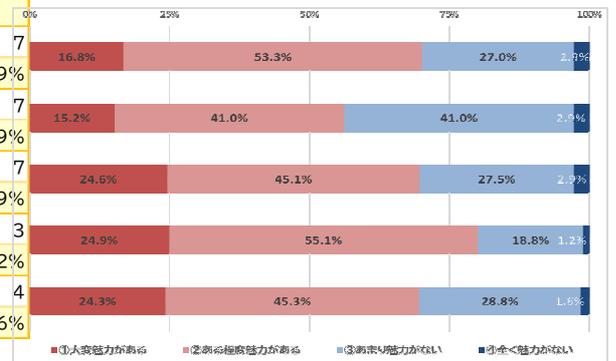
<県央>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	991	117	561	255	58
	100.0%	11.8%	56.6%	25.7%	5.9%
II.アパレル・ファッション	989	85	394	404	106
	100.0%	8.6%	39.8%	40.8%	10.7%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	988	208	460	259	61
	100.0%	21.1%	46.6%	26.2%	6.2%
IV.WEB・グラフィックデザイン	991	184	554	195	58
	100.0%	18.6%	55.9%	19.7%	5.9%
V.接客や語学のスキル	990	169	488	273	60
	100.0%	17.1%	49.3%	27.6%	6.1%



<県北>

(単位:人)

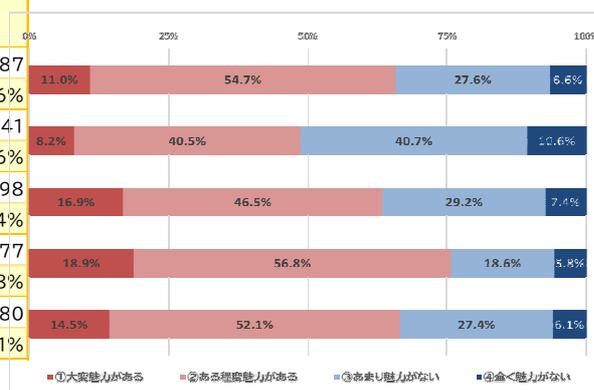
<県北>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	244	41	130	66	7
	100.0%	16.8%	53.3%	27.0%	2.9%
II.アパレル・ファッション	244	37	100	100	7
	100.0%	15.2%	41.0%	41.0%	2.9%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	244	60	110	67	7
	100.0%	24.6%	45.1%	27.5%	2.9%
IV.WEB・グラフィックデザイン	245	61	135	46	3
	100.0%	24.9%	55.1%	18.8%	1.2%
V.接客や語学のスキル	243	59	110	70	4
	100.0%	24.3%	45.3%	28.8%	1.6%



<県南>

(単位:人)

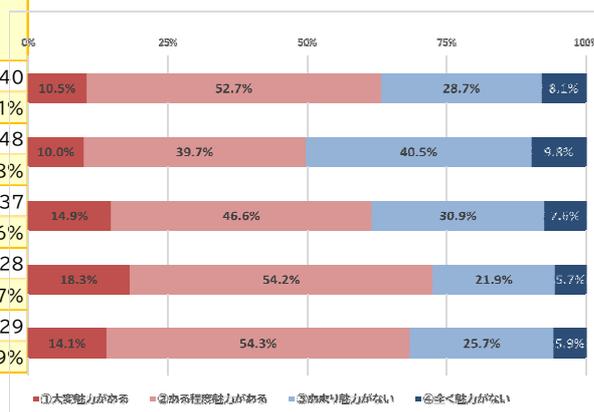
<県南>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1317	145	721	364	87
	100.0%	11.0%	54.7%	27.6%	6.6%
II.アパレル・ファッション	1325	108	537	539	141
	100.0%	8.2%	40.5%	40.7%	10.6%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1323	224	615	386	98
	100.0%	16.9%	46.5%	29.2%	7.4%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1326	250	753	246	77
	100.0%	18.9%	56.8%	18.6%	5.8%
V.接客や語学のスキル	1321	191	688	362	80
	100.0%	14.5%	52.1%	27.4%	6.1%



<沿岸>

(単位:人)

<沿岸>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	495	52	261	142	40
	100.0%	10.5%	52.7%	28.7%	8.1%
II.アパレル・ファッション	489	49	194	198	48
	100.0%	10.0%	39.7%	40.5%	9.8%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	489	73	228	151	37
	100.0%	14.9%	46.6%	30.9%	7.6%
IV.WEB・グラフィックデザイン	493	90	267	108	28
	100.0%	18.3%	54.2%	21.9%	5.7%
V.接客や語学のスキル	490	69	266	126	29
	100.0%	14.1%	54.3%	25.7%	5.9%



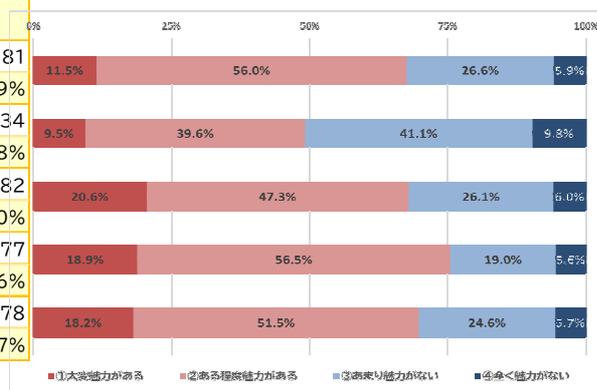
地区別にみると、いずれの地区も最多は「WEB・グラフィックデザイン」。「県央」と「県北」については、第2順位は「食品の加工技術など」、第3順位は「浄法寺塗など伝統工芸技術」となっている。一方「県南」と「沿岸」は、第2順位は「接客や語学のスキル」、第3順位は「食品の加工技術など」となっている。

【二戸校新設コース×学科別】

<普通科>

(単位:人)

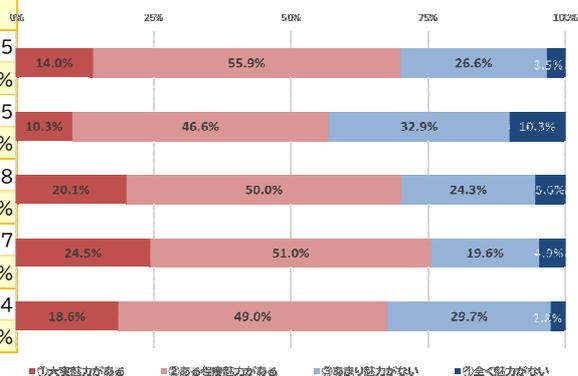
①普通科	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1363	157	763	362	81
	100.0%	11.5%	56.0%	26.6%	5.9%
II.アパレル・ファッション	1366	130	541	561	134
	100.0%	9.5%	39.6%	41.1%	9.8%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1362	280	644	356	82
	100.0%	20.6%	47.3%	26.1%	6.0%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1371	259	774	261	77
	100.0%	18.9%	56.5%	19.0%	5.6%
V.接客や語学のスキル	1364	248	702	336	78
	100.0%	18.2%	51.5%	24.6%	5.7%



<総合学科>

(単位:人)

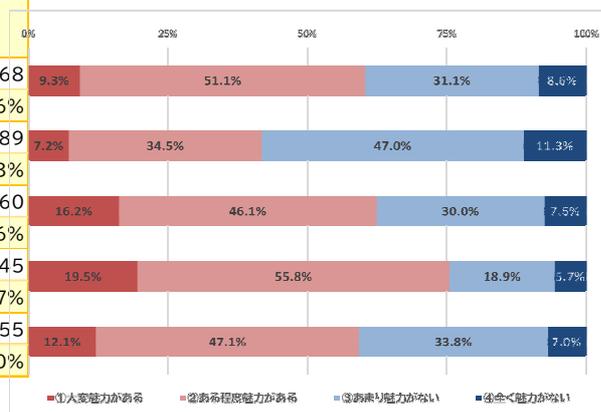
②総合学科	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	143	20	80	38	5
	100.0%	14.0%	55.9%	26.6%	3.5%
II.アパレル・ファッション	146	15	68	48	15
	100.0%	10.3%	46.6%	32.9%	10.3%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	144	29	72	35	8
	100.0%	20.1%	50.0%	24.3%	5.6%
IV.WEB・グラフィックデザイン	143	35	73	28	7
	100.0%	24.5%	51.0%	19.6%	4.9%
V.接客や語学のスキル	145	27	71	43	4
	100.0%	18.6%	49.0%	29.7%	2.8%



<工業に関する学科>

(単位:人)

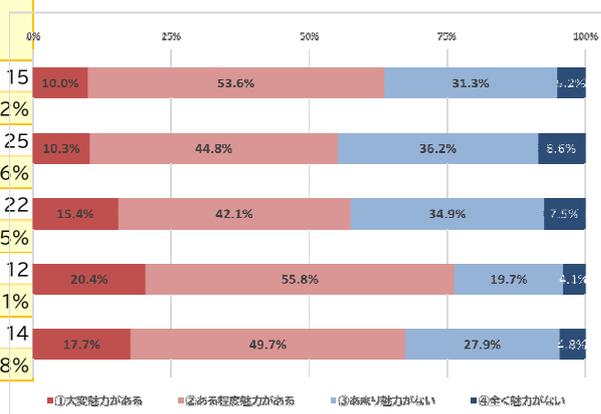
③工業に関する学科	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	789	73	403	245	68
	100.0%	9.3%	51.1%	31.1%	8.6%
II.アパレル・ファッション	788	57	272	370	89
	100.0%	7.2%	34.5%	47.0%	11.3%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	789	128	364	237	60
	100.0%	16.2%	46.1%	30.0%	7.6%
IV.WEB・グラフィックデザイン	788	154	440	149	45
	100.0%	19.5%	55.8%	18.9%	5.7%
V.接客や語学のスキル	785	95	370	265	55
	100.0%	12.1%	47.1%	33.8%	7.0%



<商業に関する学科>

(単位:人)

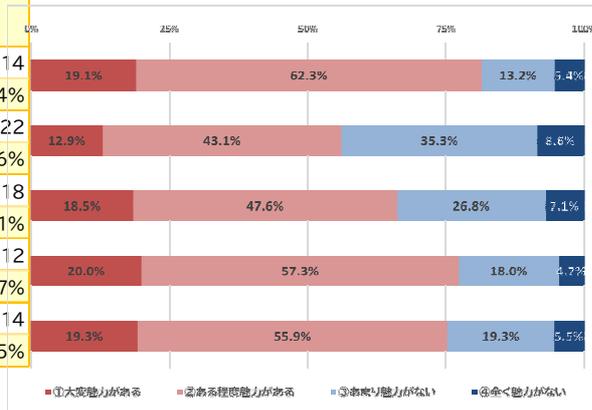
④商業に関する学科	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	291	29	156	91	15
	100.0%	10.0%	53.6%	31.3%	5.2%
II.アパレル・ファッション	290	30	130	105	25
	100.0%	10.3%	44.8%	36.2%	8.6%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	292	45	123	102	22
	100.0%	15.4%	42.1%	34.9%	7.5%
IV.WEB・グラフィックデザイン	294	60	164	58	12
	100.0%	20.4%	55.8%	19.7%	4.1%
V.接客や語学のスキル	294	52	146	82	14
	100.0%	17.7%	49.7%	27.9%	4.8%



<農業に関する学科>

(単位:人)

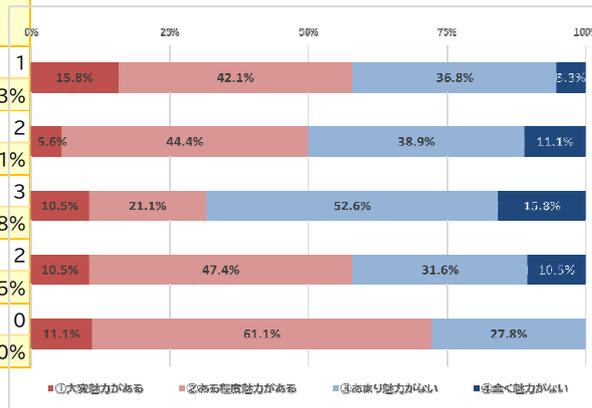
⑤農業に関する学科	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	257	49	160	34	14
	100.0%	19.1%	62.3%	13.2%	5.4%
II.アパレル・ファッション	255	33	110	90	22
	100.0%	12.9%	43.1%	35.3%	8.6%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	254	47	121	68	18
	100.0%	18.5%	47.6%	26.8%	7.1%
IV.WEB・グラフィックデザイン	255	51	146	46	12
	100.0%	20.0%	57.3%	18.0%	4.7%
V.接客や語学のスキル	254	49	142	49	14
	100.0%	19.3%	55.9%	19.3%	5.5%



<水産に関する学科>

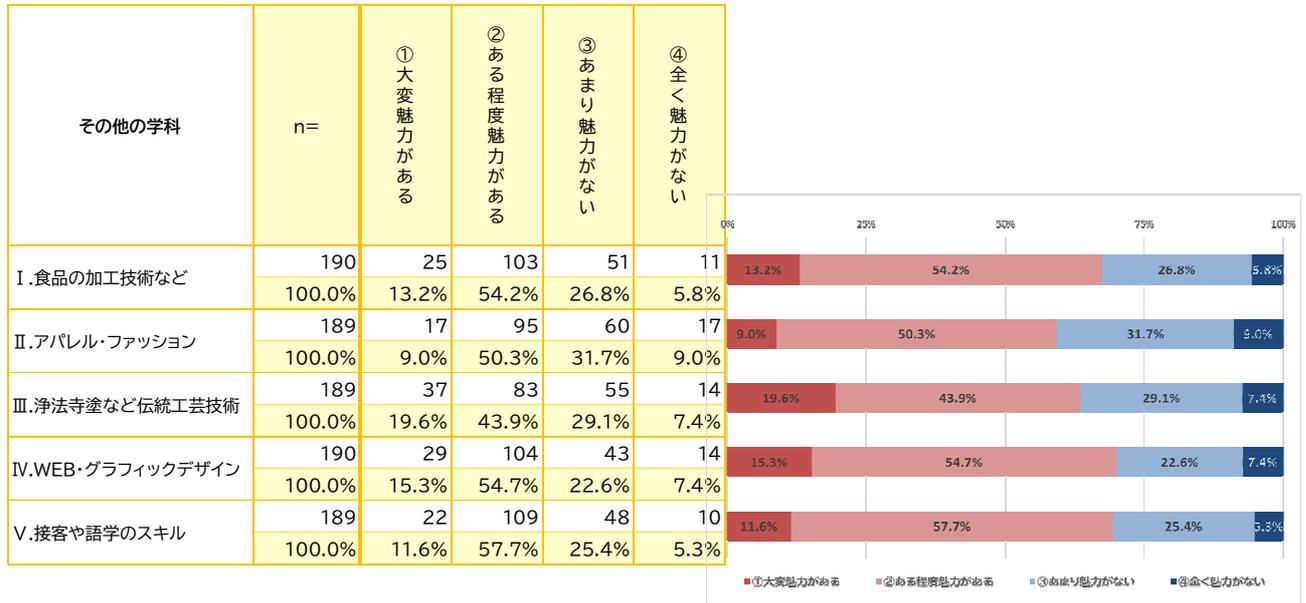
(単位:人)

⑥水産に関する学科	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	19	3	8	7	1
	100.0%	15.8%	42.1%	36.8%	5.3%
II.アパレル・ファッション	18	1	8	7	2
	100.0%	5.6%	44.4%	38.9%	11.1%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	19	2	4	10	3
	100.0%	10.5%	21.1%	52.6%	15.8%
IV.WEB・グラフィックデザイン	19	2	9	6	2
	100.0%	10.5%	47.4%	31.6%	10.5%
V.接客や語学のスキル	18	2	11	5	0
	100.0%	11.1%	61.1%	27.8%	0.0%



<その他の学科>

(単位:人)

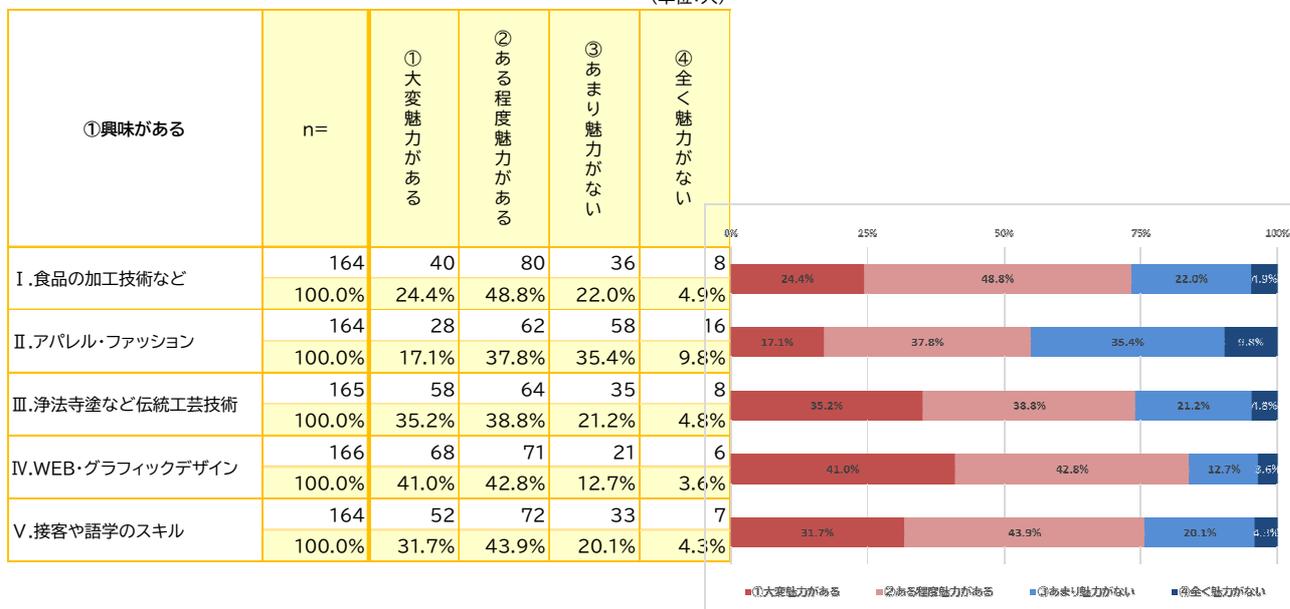


学科別にみると、「農業に関する学科」は「食品の加工技術など」、「水産に関する学科」は「接客や語学のスキル」が最多となっているが、その他の学科については、「WEB・グラフィックデザイン」が最多となっている。

【二戸校新設コース×職業能力開発施設校への興味別】

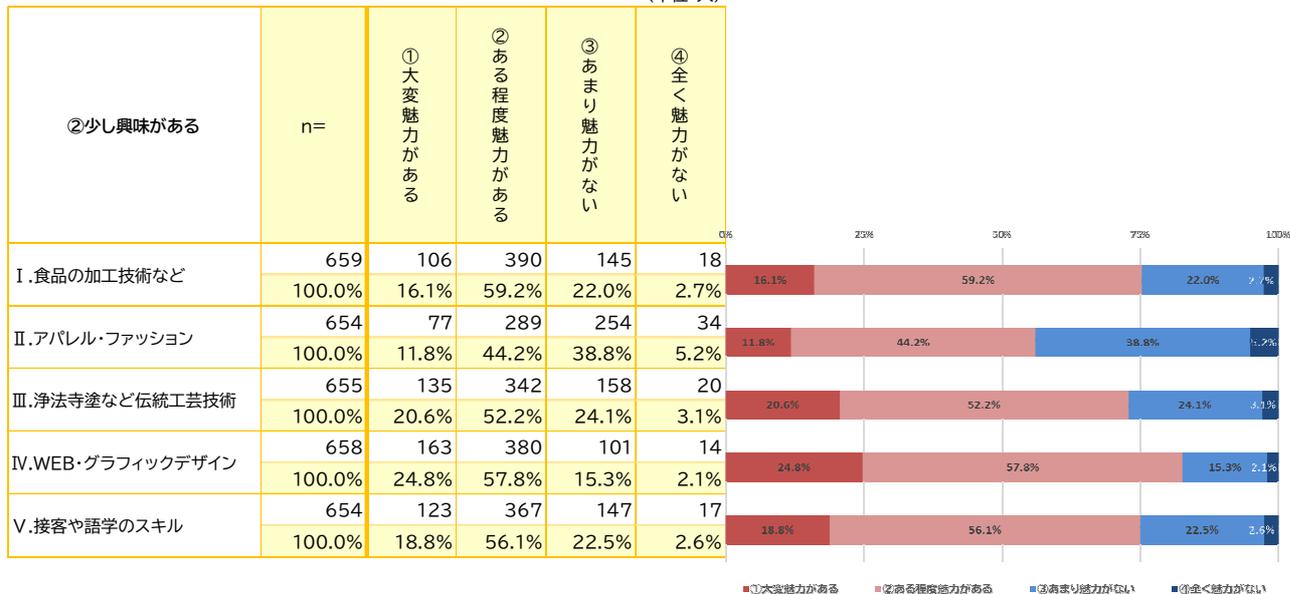
<興味がある>

(単位:人)



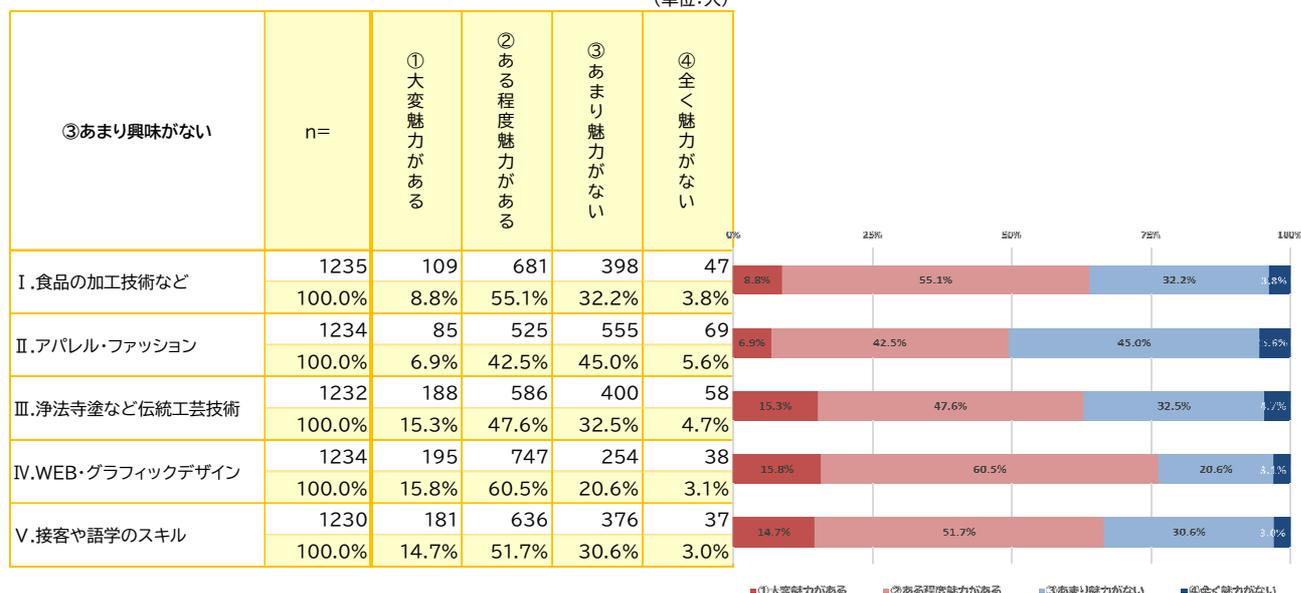
<少し興味がある>

(単位:人)



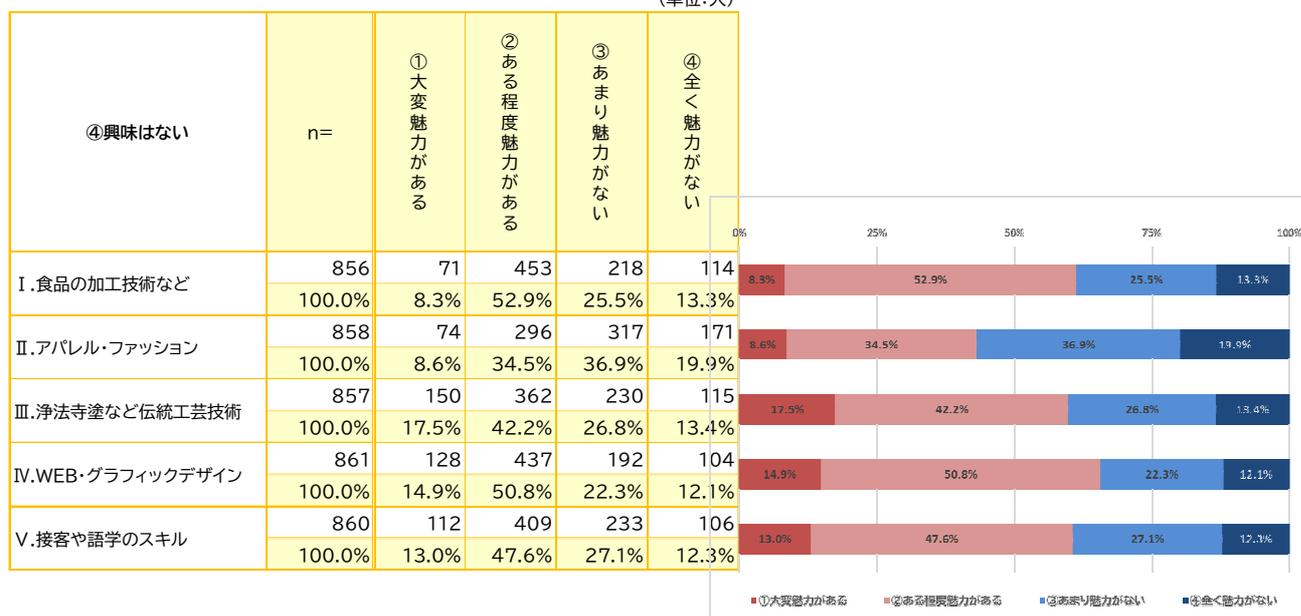
<あまり興味がない>

(単位:人)



<興味はない>

(単位:人)



職業能力開発施設への興味有無別にみると、興味ある・無しに関わらず、いずれも最多は「WEB・グラフィックデザイン」となっている。次いで「食品の加工技術など」、「接客や語学のスキル」が上位となるが、「浄法寺塗など伝統工芸技術」も高校生に比べて高くなっている。

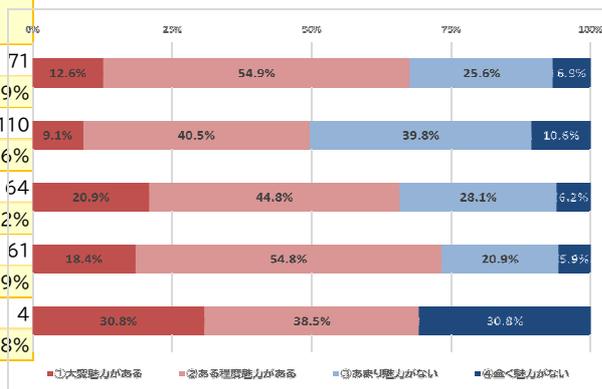
注目すべき点は、職業能力開発施設に「興味はない」、「あまり興味がない」と回答した保護者も、各コースに7割近くが魅力を感じている点。新たな魅力あるコースの新設によって、進路先として興味を持ってくれる可能性もある。

【二戸校新設コース×県内就職希望別】

<就職してほしい>

(単位:人)

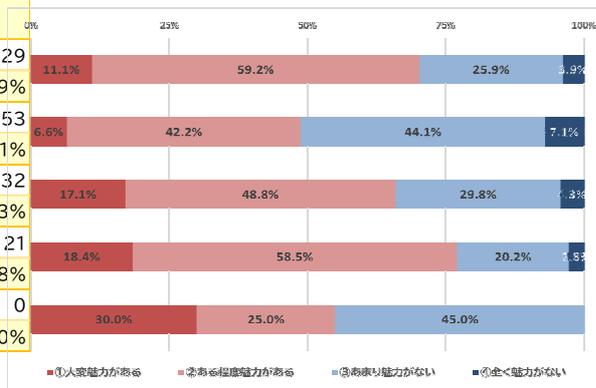
①就職してほしい	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1036	131	569	265	71
	100.0%	12.6%	54.9%	25.6%	6.9%
II.アパレル・ファッション	1036	94	420	412	110
	100.0%	9.1%	40.5%	39.8%	10.6%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1038	217	465	292	64
	100.0%	20.9%	44.8%	28.1%	6.2%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1041	192	570	218	61
	100.0%	18.4%	54.8%	20.9%	5.9%
V.接客や語学のスキル	13	4	5	0	4
	100.0%	30.8%	38.5%	0.0%	30.8%



<どちらかという就職してほしい>

(単位:人)

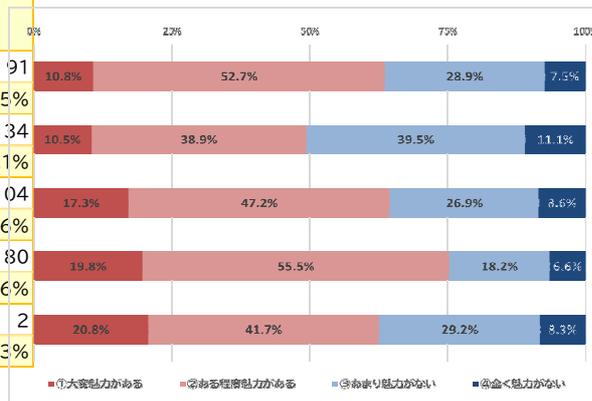
②どちらかという就職してほしい	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	742	82	439	192	29
	100.0%	11.1%	59.2%	25.9%	3.9%
II.アパレル・ファッション	742	49	313	327	53
	100.0%	6.6%	42.2%	44.1%	7.1%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	742	127	362	221	32
	100.0%	17.1%	48.8%	29.8%	4.3%
IV.WEB・グラフィックデザイン	743	137	435	150	21
	100.0%	18.4%	58.5%	20.2%	2.8%
V.接客や語学のスキル	20	6	5	9	0
	100.0%	30.0%	25.0%	45.0%	0.0%



<特にこだわらない>

(単位:人)

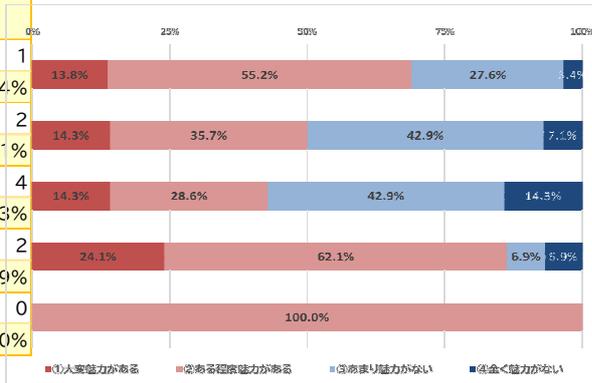
③特にこだわらない	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1208	131	637	349	91
	100.0%	10.8%	52.7%	28.9%	7.5%
II.アパレル・ファッション	1209	127	470	478	134
	100.0%	10.5%	38.9%	39.5%	11.1%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1204	208	568	324	104
	100.0%	17.3%	47.2%	26.9%	8.6%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1210	239	671	220	80
	100.0%	19.8%	55.5%	18.2%	6.6%
V.接客や語学のスキル	24	5	10	7	2
	100.0%	20.8%	41.7%	29.2%	8.3%



<どちらかという就職してほしくない>

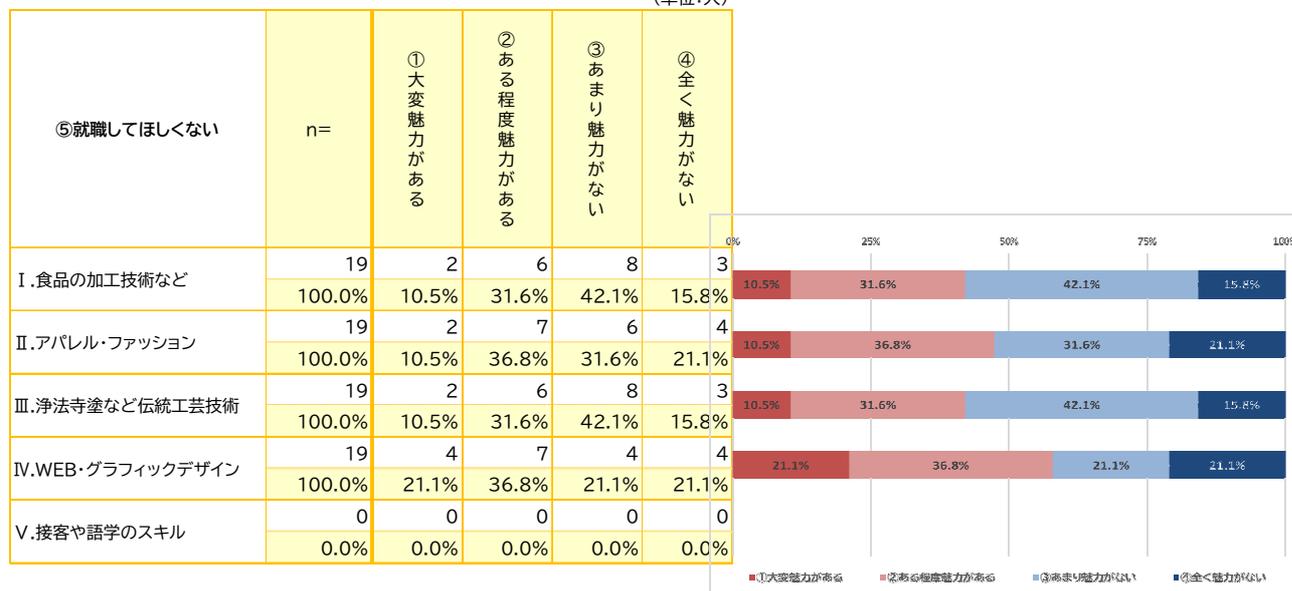
(単位:人)

④どちらかという就職してほしくない	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	29	4	16	8	1
	100.0%	13.8%	55.2%	27.6%	3.4%
II.アパレル・ファッション	28	4	10	12	2
	100.0%	14.3%	35.7%	42.9%	7.1%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	28	4	8	12	4
	100.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%
IV.WEB・グラフィックデザイン	29	7	18	2	2
	100.0%	24.1%	62.1%	6.9%	6.9%
V.接客や語学のスキル	1	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%



<就職してほしくない>

(単位:人)



県内就職希望別にみると、「就職してほしい」が、「WEB・グラフィックデザイン」が73.2%と最も高く、次いで「接客や語学のスキル」、「食品の加工技術など」と続く。「どちらかという就職してほしい」は、「WEB・グラフィックデザイン」が76.9%と最多で、次いで「食品の加工技術など」、「浄法寺塗など伝統工芸技術」と続く。「特にこだわらない」は、「WEB・グラフィックデザイン」が最多、次いで「浄法寺塗など伝統工芸技術」、「食品の加工技術など」と続く。「どちらかという就職したくない」と「就職してほしくない」は少数のため参考となるが、いずれも「WEB・グラフィックデザイン」が最多となっている。

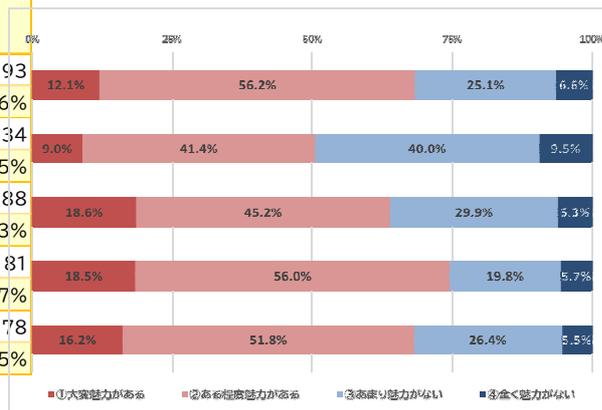
注目すべき点は、県外への就職希望者も、新たな新設コースに興味を示しており、「WEB・グラフィックデザイン」への魅力が高いとする傾向がある。

【二戸校新設コース×進路先県内外別】

<県内>

(単位:人)

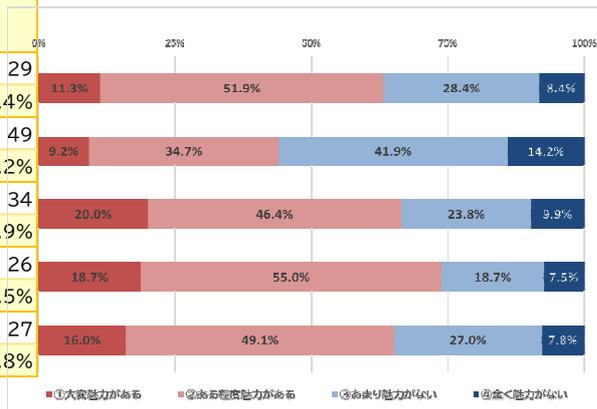
①県内	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1408	170	791	354	93
	100.0%	12.1%	56.2%	25.1%	6.6%
II.アパレル・ファッション	1406	127	582	563	134
	100.0%	9.0%	41.4%	40.0%	9.5%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1406	261	636	421	88
	100.0%	18.6%	45.2%	29.9%	6.3%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1409	260	789	279	81
	100.0%	18.5%	56.0%	19.8%	5.7%
V.接客や語学のスキル	1406	228	729	371	78
	100.0%	16.2%	51.8%	26.4%	5.5%



<県外>

(単位:人)

②県外	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	345	39	179	98	29
	100.0%	11.3%	51.9%	28.4%	8.4%
II.アパレル・ファッション	346	32	120	145	49
	100.0%	9.2%	34.7%	41.9%	14.2%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	345	69	160	82	34
	100.0%	20.0%	46.4%	23.8%	9.9%
IV.WEB・グラフィックデザイン	347	65	191	65	26
	100.0%	18.7%	55.0%	18.7%	7.5%
V.接客や語学のスキル	344	55	169	93	27
	100.0%	16.0%	49.1%	27.0%	7.8%

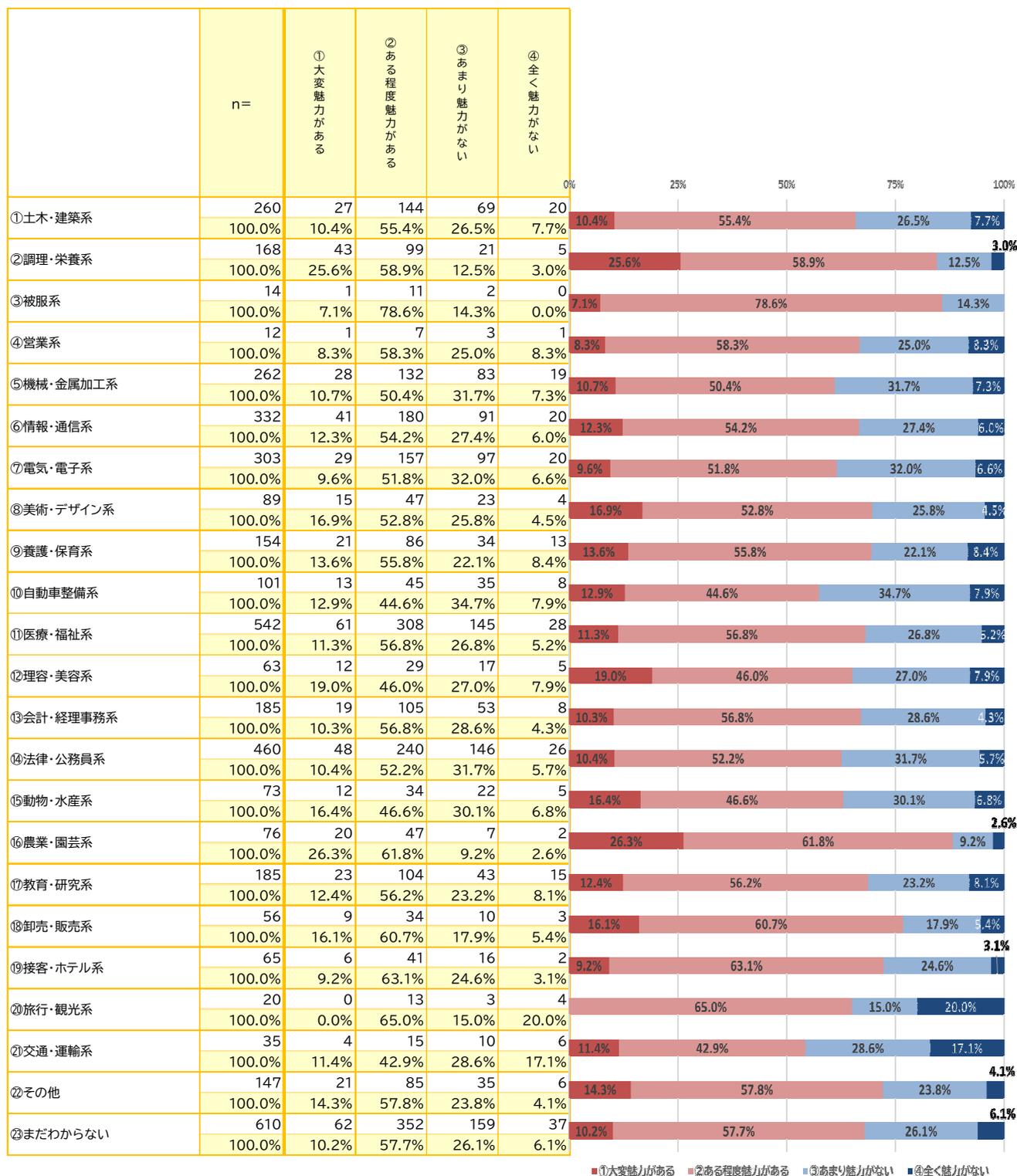


進路先県内外別にみると、「県内」希望者は、「WEB・グラフィックデザイン」が最も高く、次いで「食品の加工技術など」、「接客や語学のスキル」と続く。一方、「県外」希望者は、「WEB・グラフィックデザイン」は最多であるが、次点にて「浄法寺塗など伝統工芸技術」が続く。「県内」・「県外」ともに「WEB・グラフィックデザイン」が最多となり、高校生アンケートの「県外」希望者のトップであった「アパレル・ファッション」は低い結果となっている。

【二戸校新設コース×分野別】

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

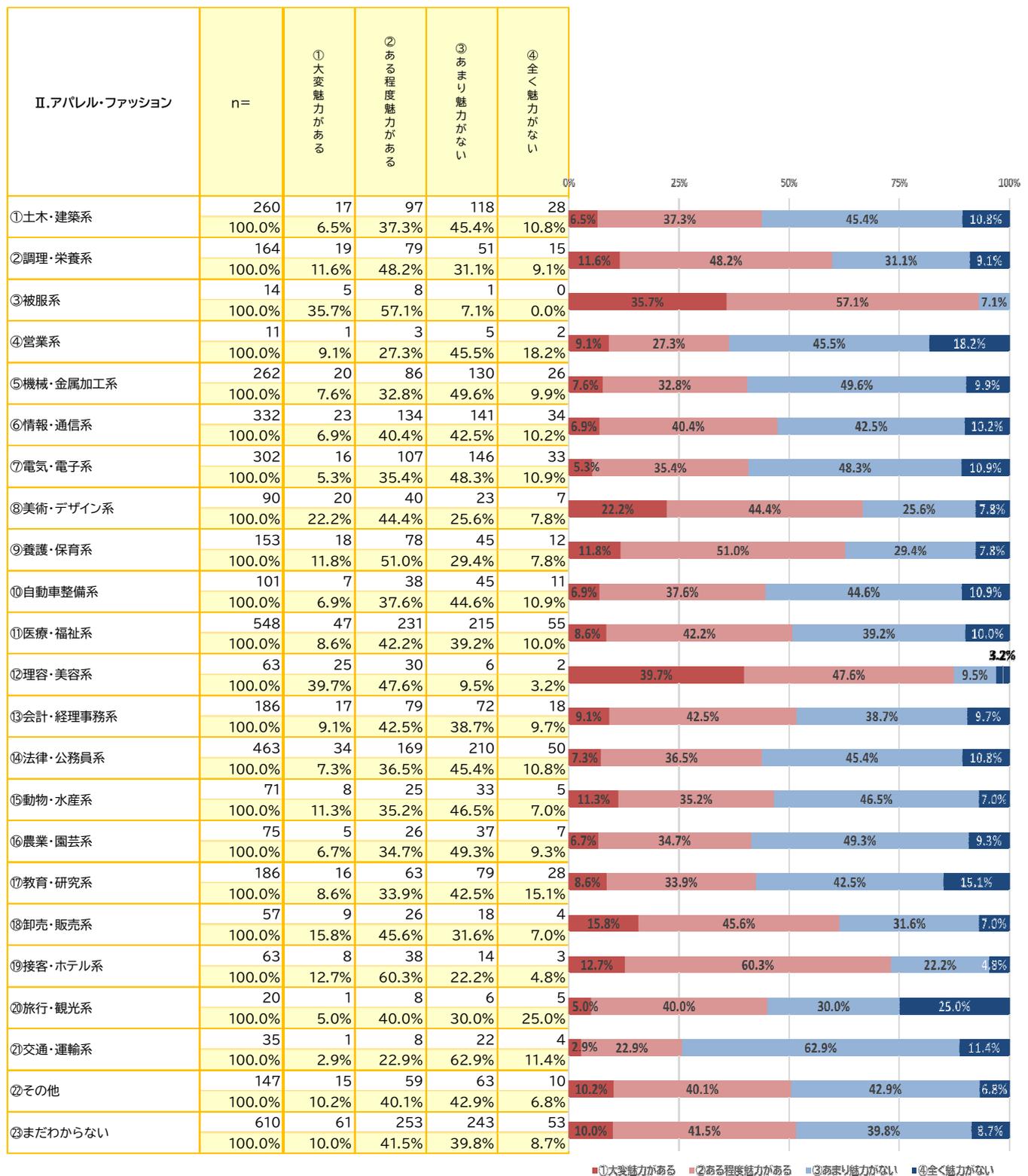
I.食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース (単位:人)



II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

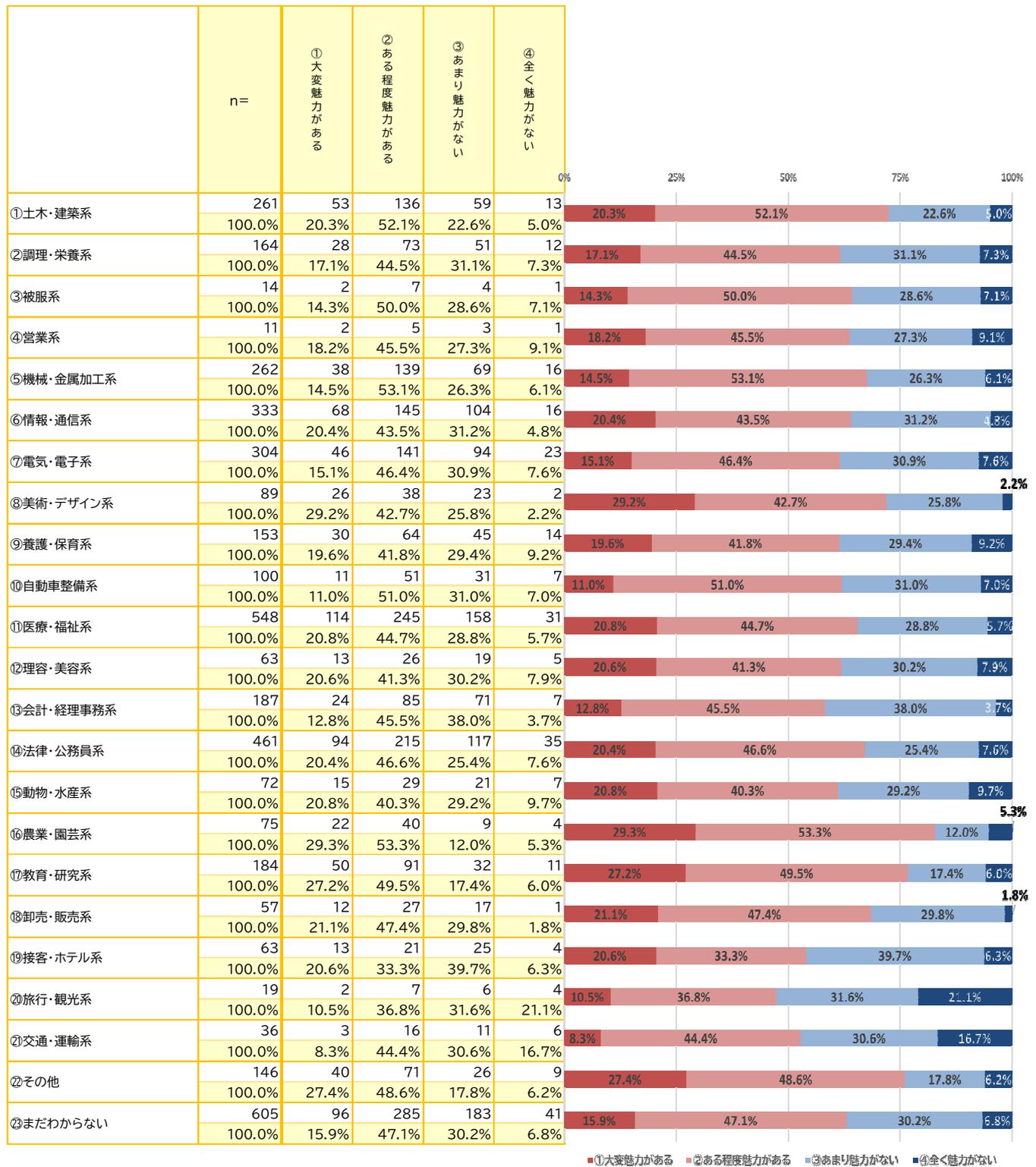
II.アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

(単位:人)



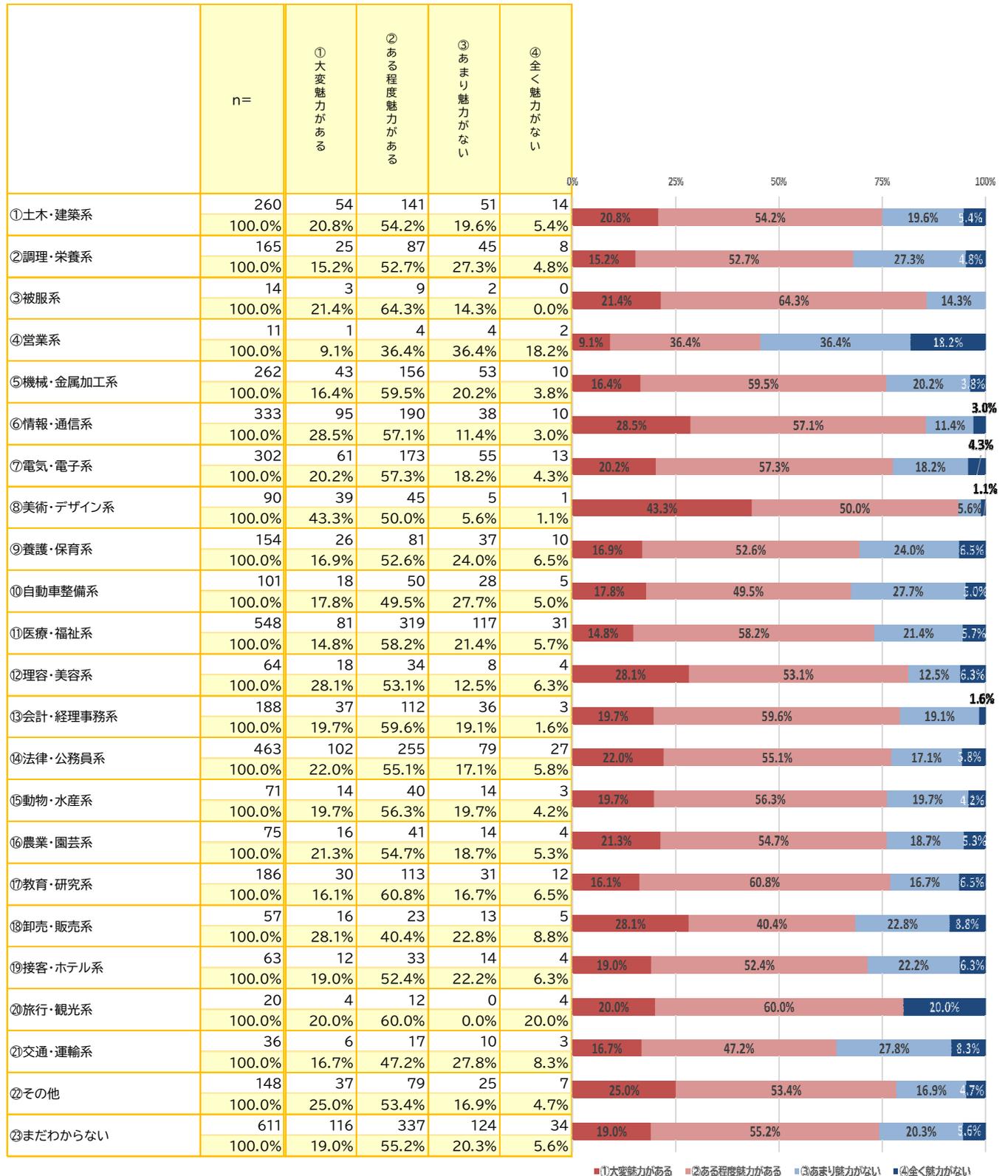
Ⅲ. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

Ⅲ.浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸やそのPR手法を学べるコース (単位:人)



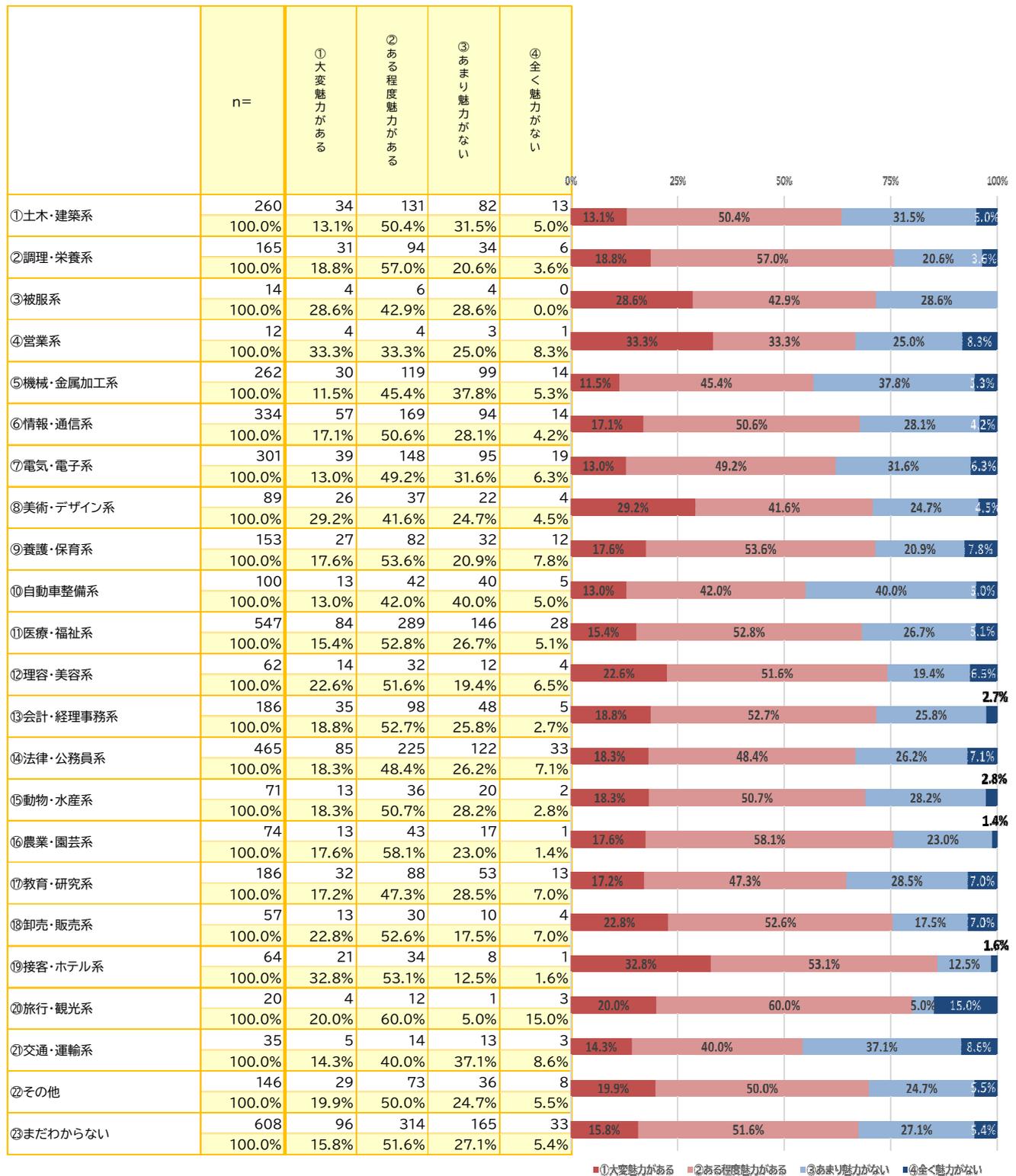
IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

IV.WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや商品開発などの手法を学べるコース (単位:人)



V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

V.接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース (単位:人)



進んでほしい分野別にみると、

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

「食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース」は、「農業・園芸系」からの支持が最も高く、次いで「調理・栄養系」、「被服系」と続く。

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

「アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース」は、「被服系」からの支持が高く、次いで「理容・美容系」、「接客・ホテル系」からの支持が高くなっている。

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

「浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース」は、「農業・園芸系」が最も高く、次いで「教育・研究系」からの支持が高い。高校生と比べると、保護者からの支持は高い傾向にある。

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

「WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース」は、「美術・デザイン系」からの支持が最も高く、その他「被服系」や「情報・通信系」からの支持率も高い。

V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

「接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース」は、「接客・ホテル系」からの支持率が最も高く、その他「旅行・観光系」、「卸売・販売系」からの支持率が高い。

VI. その他（記載）

その他	
(17) I、Ⅲ、Ⅴのコースには、科目として「地域史」を学べる機会はあるのでしょうか？ブランディング・伝統工芸・観光などを学ぶことにおいて、他地域との差別化や発信力を強化していく一つの方法として、「過去にこの地域で、人々は何を選択・受容・克服・創出していったか」を押さえておくのは戦略上有益かと思いません。技術力に加えてマインド思考を会得すれば全国のどの地域でも地域おこしに貢献できる人材が育つと思っています。	1
イメージがわかりません	1
プロイラー業・漆等あるものを活用し県内県外に広めるPRするべし	1
わからない	1
わからない。	1
医療、福祉系についても新設があればと思います	1
医療・福祉系の資格過程	1
介護	1
起業科。科を分けなくて良くない？「何か違ったなあ」と思ってもコース変更できないの？できた方が良いのでは？	1
建築設計一級建築士養成	1
県北地域のこのような就職先があるのか分からない。地域のニーズに合った学科がふさわしいのでは。	1
現在の自動車(塗装や溶接)や建築(コンピューターをつかった設計、内装のデザイン等)に関するコース	1
今までにない発想の学校	1
在学中の暮らしの充実、寮とかアパートとか	1
子供がまだどのようなのに興味があるのか分からないのでうまく答えられなかった	1
上記まで全ては、運営が考えることでは？	1
情報が少ない。	1
二戸だからこの学科を。I、II、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴは二戸でなくてもどこでもある学科。	1
立地的に進路先の候補になりづらい	1
料理系・美容系を選べるコース、動物系を選べるコース	1
林業	1

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

「農業に関する学科」に所属する高校生・「農業・園芸系、被服系、調理・栄養系」に進んでほしい保護者からの評価が高い

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

「被服系・理容・美容系」に進んでほしい保護者からの評価が高い

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

「県央・県北」で第2順位にランクイン。「男性」・「農業・園芸系、教育・研究系」に進んでほしい保護者からの評価が高い。高校生と比べて保護者からの評価が高い

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

全体で1番人気。全地区で最多。「女性」・「県内・外」進路・就職希望者・「普通科・総合学科・工業・商業に関する学科」にお子様が所属している保護者・「美術・デザイン系・情報・通信系・被服系」に進んでほしい保護者からの評価が高い

V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

全体で2番人気。「県南・沿岸」で第2順位にランクイン。「接客・ホテル系、旅行・観光系」に進んでほしい保護者からの評価が高い

Q18. その他、意見・要望等（自由記述）

<p>Q17 その他、意見・要望等(自由記述)</p> <p>(17)のⅡやⅤなどは盛岡辺りの学校でも学べると思う。岩手県にしかない産業の漁業加工やⅢなどもとても良いと思う</p> <p>「どうすればこの学校が…」という内容ばかりだが、岩手県が若者をどう育成定着させたいか、地域をどう活性化させるか。学校はその考えの上になければ「いらぬ」。都会の学校に負けてあたりまえ。だれも入らぬし、入っても県外に出ていく。例えば二戸であれば、農業の専門性を高めたり、ブランディング。りんご、さくらんぼ、鳥、豚など良い物がたくさんあるのに、その人材育成をしないでいたら、地域の産業はすたれ若者は出ていく。県がまずしっかり考えるべき。</p> <p>・子供の興味や自分の仕事にかかわらないと調べない。・学校にもっとアピールすればよい。・子供が興味持てるようにPRすべき。</p> <p>17に関して、コースすべてにおいて販売まで出来れば意味のあるコースになると思います。技術を学んだとしても実施しなければ、机上の空論になると思います。失敗から学ぶことが大事ではないでしょうか。</p> <p>17の二戸高等技術専門学校に女性でも習得しやすく、就職に役に立つコースが追加になったら、進学の実選択肢の一つになるかと思いました。</p> <p>AIの進化による職業の選択、コロナ禍で見えた安定した職種についていない場合の失業する可能性のあるものをデータ化出来るだけ安定して稼げる職につける勉強ができるものを見据えてほしいです。そして県内に工業や会社を呼び寄せる力を岩手県も持ってほしいです。(いつまでも復興に頼らず)</p> <p>IT系のお仕事がしたい様子です。岩手には盛岡には企業が無いと言っていました。(子供が感じている)パソコン・ネット・情報系のできる企業が増えるといいです。もしくは、こんな企業がある…など高校生にも様々な情報があると助かります。県内の大学や(県大)に入れない時、産技短に入ることも考えています。</p> <p>朝学習のために8時までに学校に行かなくてはならないのに、学校前のバス停で止まるバスが1本もありません。茶畑から岩手高校まで直で行けるはずなのに中央通2丁目で降りて歩いています。せっかくバス停があるのに…。</p> <p>PR必要、募集定員も増希望。</p> <p>Ⅴに関しては接客や語学よりも、地域と共に地域おこし等の工夫、イベントの企画～開催などを体験できる様にすれば良いのではないかと。</p> <p>YOUTUBU・SNSを通じて「個性」を発信するための手法を取り入れてみてはどうでしょうか。</p> <p>アパレルはやはり都会の方が日常生活でも関心を引く衣類物が多く、学びの開発のヒントとなるものを目に機会もおおいのでは</p> <p>いずれも名前は知っていますがどんな学科があるかは知りませんでした。今後就職だけでなく進学も考えた時視野に入れて考えてみたいと思いました。</p> <p>うちでは全員娘なので、女子でも行きたくなるような学科があると、助かります。専門学校や大学となると、自宅から通える所はなく、家賃や生活費をかけ、授業料を支払うために奨学金を借りて、高額な出費となります。その分、一生かけて働いて、高卒の人と、もらえる賃金に差額があるので、疑問があります。なので、自宅から通える、宮古高等技術専門学校に、女子でも行きたくなるような学科、就職先の支援があれば行かせたいと思います。</p> <p>カタカナ(英語)文字が多くてわかりにくい。メカトロニクス技術科って何なのかあいまいです。また、今時代に「高等技術専門学校」は必要なのかわかりません。民間の大学、専門学校など受け入れ先は多くあり、何がメリットなのかPRする必要を感じます。</p> <p>これからの世代で何が必要とされているか？</p> <p>コロナで世の中がどうなるのかとても不安です。</p> <p>コロナ後の新しい生活様式で発展が見込まれる分野での育成を充実させたい</p> <p>せっかく建築科があるので土木科や水道工事等をくわしく学習できる科があると土木等資格を得た人が増え県内工事等県外からこななくてもスムーズに復興や復旧等(台風等で)できると思います。</p> <p>どうしても専門学校となると、八戸や盛岡に行かなきゃなってしまうので、二戸にもいろんなコースを作ってほしいです。学校の場所も、駅のすぐ横とかだと、他の場所からも来やすそう。けっこう知らない人も多いので、もっとPRしてほしいです。</p> <p>どちらかというと男の子が行く学校というイメージがあります。女の子が行きたいと思うような学科を考えてみてほしいです。</p> <p>もっと活発に発達して多くの方に楽しそうというのが伝わって学びたい人が増えることを願う。定員アップを希望。</p> <p>もっと多くの人に知ってもらえると嬉しい。</p> <p>安く入学できて高い技術が身につくなら行かせたいが、高校からワンクッション入れてまで入るメリットがわからない。</p> <p>以前から二戸高等学校について子供とチェックしてました。学費等とても安く魅力的ではありましたが。このような学校は岩手に必要だと思えます。これからの子ども達の為にもまたこれからの社会の為にも人材育成強化に力を入れてほしいです。応援期待しております。</p> <p>右の学校は男性が行く学校、男性が活躍するコースしかないというイメージ。技術にこだわれば必然とそうなる。技術以外の分野で女性も興味を持てるコースがあるとイメージアップできる。岩手県はそういう学校が多い。</p> <p>右の施設についての説明をみて初めて詳細を知りました。経済的な負担も少なく、素晴らしいと思いますが、。明らかにPR不足では？</p> <p>沿岸地域にもデザイン科やアパレル科などが学べるコースがあれば良いのではないかとと思う</p> <p>沿岸地域に医療系の学校を設立してほしい</p> <p>何故マークシートではないのか？入力作業で多くの人を雇う費用を別に使うことができる。</p> <p>家の近くに高等技術専門学校はあるのですが、実際どんな科があるのか知らなかった。PRする必要はあると思う。</p> <p>花巻地区にも技術が学べる学校があればいいと思う。</p> <p>各高校、中学校へのPRが必要だと思えます。</p> <p>学びたい分野があれば進路先として検討しますが、我が家では進路の実選択肢には該当しません。ただ産業技術人材の育成として、とても魅力のある学校だと思えます</p> <p>学んだ後の受入先を充実させるも大きな課題では。</p> <p>学んだ先の職業、ざっくりとしていても子供たちが「働く自分の姿」を想像できるような技術を学べるとよいと思う。PRは足りてないと思えます、すいません。</p> <p>学校PRが必要</p> <p>学校のことは、ほぼ知らないに等しい感じです。もっとPRに力を入れてほしいです。就職率が高いのは、とても良いです。進学先からの就職先は、とても重点をおいています。今回のアンケートで学校の存在(内容も)を知ることができてよかったです。</p> <p>岩手から世界へ通用する人材を育成する高い目的をもって、今までにはない発想がこれからは必要となると考えています。世の中はこれまでと比較にならないスピードで変化していく時代となることは目に見えているためそのような発想が必要だと思います</p>
--

岩手に戻ってこれるような、岩手で就職したいと思えるような環境にしたいです。
岩手県としての産業(伝統あるもの)の手法が学べて、仕事にできるものがたくさんあっていいと思います。
岩手県にせっかく施設があるのに学科が少ない。知名度が低いし人数も増やしてほしい。又、女子も入りやすい学科も設置してほしい
岩手県は化学に力を入れていないようなので残念です
岩手県は給与も賃金も安すぎます。自分の子供には岩手県内には就職をしてほしいとは思いません。
岩手県は他県より賃金が安く、資格取得後に就職しても生活が厳しいと若者の離職率が高いような気がします。せっかく取得技術で働けるのであれば進路としての魅力はあると思います。
岩手県立高等技術専門学校に、医療、福祉系の科の新設があってもいいかなあと希望します。
技術を学んだとしても、いかせる、受け入れる先が地元でない。若者の地元定着は難しい。
県にいたくても賃金もほぼ全国ワースト、色々なお金の面では、後から数えワーストの位置にいるため、子供たちは県外就職を選択してしまう。また技術を学ぶ・スキルをUPする・資格を取らせてくれる会社は都会に行けば多いので魅力があるのでしょう。岩手の良さを学べ、技術も知識も未来に向けて沿った学習ができれば、岩手に残るとは思います。やはり賃金が低いと無理でしょう。
県の主力産業は農業や水産業など第一次産業だと思います。他県との差別化をはかるためにもプロを育成できる県立の施設でもっと充実させていただきたいです。
県内において様々な分野のコースが整備され、学べる環境があれば良いと思うが状況は厳しく感じています
県内にこのような学校があることを全く知りませんでした。もっと身近なものになる様にアピールが欲しいです。もっともっと知ってもらいたいという熱意がほしいです。知っている人は、知っているかもしれないけれど是非色んな人に伝わる様にして欲しいと思います。まず知らなければ何も産まれないと思います。もし知っていれば、選択の1つになるけど、知らないという事は、土俵にも上がれないということです。まずは知ってもらって道が開けるのではないのでしょうか？
県内に高度な技能・大学並みの学力が身につく学科があれば県外に学びに行かなくても良くなると思う。県内に公立の大学が増えると思う。
県北も農業関係が盛んなのでそのようなコースがあつたら考えても良いと思った。
県北地域にはあまりない技術専門学校ありがたいので、できれば学科の新設などにもう少し力を入れて頂き、たくさんの子どもたちに夢と希望をあたえてほしいです。
県北地域の給与、賃金水準が引く、「自動車」「建築」の学科があつたとしても、就職先として魅力を感じられない。少子高齢化がさらに進むことから、電子技術のようなプログラムの技術を習得出来る学科があるをより、特に農村産業での環境システムが必要になってくる。
県北地域の人材育成は大切だと思うが、就職先が無いのでは。結果、卒業したら県北には居られないのではないか。人材育成の場にだけ県北に居住してもらうことが目的ではないのか？
高技専3高は、みんな同じような学科なので、ちがう分野、たとえば医療技術系、語学系、岩手の特色を知れて将来PRできるような人材教育できる科など、農業短大とコラボして発信したりしてはどうか？
高校を卒業したあとに学ぶ場で県内での就職向けに特化しているのなら県内の企業の受入先がしっかりとあるのか。OBがどの様に成功しているかを高校生にPRする必要がある。高校の保護者向け生徒向けの説明会やパンフレット等あるのか？アンケートで意見を聞くことも必要かと思うが現状迷走しているのかと感じてしまう。
今、息子が千厩高等技術専門学校に行っているが、高校の時進路を決める時、千厩の学校のことを知ることがなかなか出来なかった。たまたま行った自動車屋の方に整備士さんになるのに家からも通える学校があることを教えてもらった。もっと早く知ることができれば、もっとかかんがえることも子どもにも提案することもできるのにと思いました。
今回のアンケートの中にある県立産業技術大学校、高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校について、全く知らないもので、まずもっと知ってもらうようにPR、活動をした方が良いと思います。知らない状態の中で、特に思うところも無いので。
産技短への進学を考えています。今回のアンケートで高等技術専門学校の学科を知りました。大変興味深いです。やはりPRが必要と考えます。
産技短も高技専も授業料などの費用が安価なので大変魅力的でもあり、様々な分野でもある科目が充実しているので、すごく参考になります。今後も将来に適応していける魅力的な学科が増えていけばうれしいと思います。
産技短や高等技術専門学校について就職や4年生大学との差や魅力をもっとアピールしないと将来の選択に入ってこない。
産技短等の学校の存在は知っているがどの程度の知識が得られるのか知らない。正直イメージもあまりよくない。PRの必要性も感じる。岩手の技術をリードする学校であってほしいです
産業技術をもっと勉強させたいと思っても、家計の状況により、授業料など、ムダなお金を出すより、早く就職して、家計を助けてもらいたいので、専門学校の充実などより、企業の誘致や安定性のある企業を増やすなどの要望をした方がよいと役所にお願したい。
産業技術大学校を知ったのは就職してからであった。もっと知ってもらう様にしたいと思う。
産技短は、どちらかというとな男性にとって魅力があると思うので、やはりもう少し学べる範囲を拡大して頂けるといいのかなと思います。
残念ながら、後半については当てはまる分野が少なかった様に思われますが、希望的観念で記入しました。
子どもの数も減ってきているためか？募集定員も少ないためか？各学校へ通っている学生の姿見えず(若者の活発に動いている姿見えず)施設・設備の老朽化が目立っている様に感じます。人は目から入る第一印象が強く、中身が充実していても伝わりにくいのでは？(特に子供たちは)興味を持たせる魅力づくり大切と思いました。
子供がめざしている職種について、関心もち、調べ、勉強している。
県立の大学、専門学校もよく耳にしている。子供は普通科なので、興味はないようだが、専門に学べて、よい学校と思う。
子供が技術系を希望していないこともあり全く知りませんでした。県北にもこのような学校があるならイメージアップというか知名度をあげる広報に力を入れればよいと思います。
子供にとって何が最適なのか？全くわからずにいます。就職希望ですが、何の職業にしても人間関係が心配な所です。一生続けられる仕事を高校卒業して初めての職場で！！とは思ってませんが、何においても頑張ってくれることを期待したいです。
子供自身で決めた進路が明確で、それとかけ離れた分野の選択肢に、とても困りました。男子親だったらもう少し答えやすかったかもしれません。
私は水沢の卒業生で良いと思っています。息子にすすめているが本人にその気が無い状態です。どうしたら良いのかが私の悩みです。資格取得あできる級が「1級整備士」となれば、魅力アップになるとは思いますが、カリキュラムや制度変更が必要なんだろうね。
児童養護施設としては、児童が興味を持ち、しっかり就職に結びつくことが優先に考えており、自立しやすい方向性を重視しています。自動車システム科が、矢巾が水沢にあってもよいのでは。
授業料などは親にはありがたいです。そのうえ、技術や知識を身に付けて社会へと送り出してもらえるのはとてもいいことだと思います。就職率も親としては安心感がある。ただ子供には魅力を感じるPRやイメージアップなどの認知度を上げる必要があるかもしれません。卒業後の就職も100%の受入先があればと思います。

授業料なども大変リーズナブルだと思います。技術を習得できる実践的な学校だと思います。もっとたくさんPRした方がいいと思う 授業料など家計に負担にならない安さで大変すばらしい。今後魅力的なコースが追加されたら、生徒数も増えるのでは？
就職し、社会に出てから自分を支えるのは、今まで習得した技術・資格が後になって助けられる時があり、とても重要だと思います。業種によっても、専門的技術知識が必要であり、資格を取る事の重要性をもっと指導してほしいと思います。自分の可能性をもっと高める為に。
准看護師、介護福祉士の受験資格が取れる学科があれば・・・と思います。
女子も興味を持って学べるコースがあると嬉しいです。このご時世なので、自宅から近い場所で学べると親としも助かります。
女子も入りやすい科が増えると良いと思います。男性ベースの専門校のように思えます。
女性や障害のある子のために学べるものがほとんどないのが残念です。障害のある子でもいろんな特性もありそれを生かせる学科があっても良いのではないのでしょうか？
上の子の大学進学の際、初めて「さんぎたん」という言葉を聞いて「何それ？」と思った。まったく知らなかったので、大学なのか職業訓練校的な学校なのか？なので入学先の選択肢はありませんでした。どこに就職できるのか等もっとPRすればよいと思う。建物も見たことがないので、TVやCM等があればわかりやすいと思います。
上記のコースが追加になれば、女子生徒の象になり需要が広がると思う。また、授業料その他の経費おいても魅力的と思う。私学に入れない生徒の為にも、コースの拡大と授業料の検討をお願いします。
浄法寺の漆は、日本のとても貴重な資源です。浄法寺塗に特化した課ではなく、漆に技術学び、日本の文化遺産を守るための課、伝統を学ぶ課など、日本全国の特長な技術を学ぶところとしてPRすれば、人が興味を持って集まり所へ繋がっていくような気がします。以前から様々なニュースを目にして、もったいまいと思っていたので記述しました。意見です。中国産に負けるな。
浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術を学べるコースは大変魅力があるが、毎年学びたい子は何名いるだろうか？多すぎても次への就職につながるだろうか？
職種を極めてもらいなおかつ稼げるよう育成していただきたい
親にとっては授業料や入学金が安く、なお、技術の向上になると良いですね。二戸高等技術専門学校についてはもっとわかりやすく車の出入りが良い立地条件が良いのでは？
親の希望とはなかなか意見が合わず話し合いにもならないため答えられない項目もたくさんありました。将来のことを考えて欲しいと思う親と、まだやりたいことも見つからず、相談されることさえ「うるさい」と思う子供とは、じっくり話をするのもできず、もう少し大人？成長して欲しいと思うのですが、自分の今までの関わりが間違っていたのかなど考えても答えが見つからず難しいです。
進路のことでも悩んでいようようです。名前だけでは分からないことばかりのように実際に入学している人の話などを聞ける機会が たくさんあったらと思います
水沢キャンパス、もっと学科があれば通学圏外なので進路選択に考えたい
正直あまり興味がありません
昔は卒業後＝就職でしたが、今は＝就職ばかりではなくなってきていると思います。また副業も可能な職場も増えてきていると思いますので、多様な可能性に対応できるように「起業科」があれば良いかと。在学中に起業できるとか。とりあえず起業の手順を知っていればチャレンジしやすい。協力してくれる企業などの窓口は、学校のバックアップがあれば、そこを卒業した人が作れる。法律とか書類の作り方がわかるとか(事業計画書とか)、収支の計算ができるとか。そこを中心に勉強したい人はそういう学校に行けばネットワークは働く人や仕事を増やしてくれる可能性もある。SNSやYouTubeなどの活用も生徒つながりやネットワークがあれば得意な人に頼めば良いし。
専門学校に関しては、親の私が興味を持つ事はない。子供が興味を持ち、自分に必要だと思う事が今はまだわからないので、このアンケートにお答えする事ができません。申し訳ありません。
専門学校の進学で寮などの住宅環境の問題が第一にあるので、そこを充実させてもらいたい
専門学校卒でも大学や短大卒のように給料にもっと反映されると希望者が増えるのではと思う。大学へ行かなくても深く学べるような学校。
専門機に対しては地域の特性をいかした方が良いと思う。学生の意識調査を取り統計を見る必要がある。各科がどのような職業や会社へ繋がるのかの情報を学生へ伝えイメージを与えることが必要と思う。
全てにおいて岩手県は全国で見ても学べる場所が少ない。田舎なのでしょうがないが働くにも限られた職種になってしまうため、また、給料の水準も低い為全く魅力を感じない。もっと産業誘致するべき。学ぶ・学べる場も増やすべき。学ぶ場所を広い県内あちこちに分散せず全て中心に集め、まずは中央を活性化し若もの達の情報交換できる場を与えるべき。
息子が工業高校在学中に二戸高等技術専門学校の自動車システム科をすすめられました。授業料など進学先にしたいと考えていたが進路を変更したので入学には至りませんでした。その時思ったことは仙台の同じ様な専門学校に比べて、授業風景や就職先が見えてこない気がしました。その辺の周知に力を入れてはどうでしょうか。
短期大学・専門学校にはいりやすい学費の免除か、負担額を減らすなど、人材の育成も大事だが、入りたくても入れない今の現状を変えた方がいい。専門を得意とする若者は沢山いるが、入れない(家庭の事情など)のも事実です。
知らないことばかりでした。娘に興味がある分野がないのですが進路を考え話をする上で話にあげてみます。いろいろな分野が設立され高い技術が会得できるなら魅力的です。
地域的な魅力があればいいなと思います。宿舎があって、そこに住むなら、なおさら。時代にあった技術や知識を習得し、就職の枠を広げてほしい。
中学、高校での積極的なPR
中学校の生徒さんや保護者は知らない人が多いと思います。中学校さんへのPRをしたら良いと思います。
定員を増やしてほしい
定員を増やし間口を広げ県内の学生の学び・知識習得・人材育成の為の場として重要な学校であると思います。二戸校のみだけでなく(17)のコース増設に期待しています。
伝統技術に特化した学校、刀剣、陶芸、竿等)あれば技術継承もできるのではないのでしょうか。
伝統工芸の技術を習得する学校があってもよいと思います。職人になれるなら考えるかもしれない。
伝統工芸を廃れさせることなく次の世代へ引き継いでいくためには、技術の習得と共に生活の安定を保障する必要があると思います。そういった視点からも二戸高等技術専門学校で学んだ人がその技術を生かしこの土地で生活できる就職支援があるとよいと思います。
伝統工芸技術を学べる場所があれば、とても魅力的だし、日本の技術をたやさない為にも必要。ただその先の就職や生活を考えると、一歩踏み出せない(背中をおせない)卒業後の活やくをPRしてほしい。
塗物や鋳物や染物や織物などの岩手県の工芸を学べる入口になるようなコースがあれば、と上の子の進路選択の際に考えたことがあります。美術系の大学に進学するのは技量や経済的にも厳しいので。県内にしかも公立でというのは魅力があると思います。
得た技術や知識をいかせる就職先が十分にあることを希望したい
特になし

二戸に関しては数人しか就職できないような需要の少ない分野は魅力がないと思う。産業短大は授業料も安く子供には進めたいと思った。が、募集人数が少なく残念だと思った
二戸に専門学校がある事を数か月前に初めて知りました。認知度が少し低い気がするので、少しPRが必要かと思います。PRの際には、二戸という土地なので寄宿舍の説明や交通の便など分かりやすく説明があると親的には助かります。専門学校→短期大学の方が最終学歴も変わってくるので、変更することで希望者も増えるのではないのでしょうか？
二戸高等専門学校は自動車システム科はない。地元の特色を生かした浄法寺塗等の学科が必要と思う
入学したいと思う学科が必要不可欠。
普代から宮古が近いから宮古の自動車システムとかがいいと思うし、せつかく資格取ってあるし、宮古の専門学校もいいと思うし、親としても安心だし、遠くより近いほうがいいし、まあ、本人次第ですね。宮古と二戸のパンフレットほしいです。
本人の興味がむくかどうか。見学できるといいです。
本人もよくわからないと思う。本人の参考など魅力ある仕事につけますようご指導願います(祖母)
無料で意見を求めないでください
名称を検討してはどうか？ 例:イーハトーブ工業短大、カシオペア工業学院など
例えば生徒のコミュニケーション能力が発揮されていることを世に知らしめるためマスメディアに協力してもらおう。地方放送枠があるのだから学生パーソナリティーを努めさせてもらおう。学生アイドル誕生をもってカリスマ高まりその学校の知名度・内容知ってもらい堅苦しくない生活が3者に告わることで目標が定められると思います。
産業技術短期大学・高等技術専門学校ともに県立で入学金や寄宿舎料が魅力的ですが全て自動車関連が多いような印象で県内への就職につながっていくのか。また男子メインの進学内容に、女子には選択することすら難しい

IV. 調査票

岩手県職業能力開発に関する基礎調査

(保護者用)

この調査は、高校生のお子さんを持つ保護者の皆様の進路や職業等に関する考え方をおたずねし、岩手県の今後の職業能力開発の取組と県北地域の産業技術人材の育成の方向性の検討に役立てることを目的に実施するものです。

お答えいただいた内容については、調査目的以外に使用することはありませんので、現在のお考えをお答えください。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年10月

岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室

【進路・就職についてお伺いします。】

(1) お子様の性別をお答えください。

- ①男性 ②女性

(2) 記入される保護者の方の性別をお答えください。

- ①男性 ②女性

(3) 保護者の方が住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。

- (県央) ①盛岡市 ②滝沢市 ③岩手町 ④八幡平市 ⑤葛巻町 ⑥雫石町 ⑦矢巾町 ⑧紫波町
(県北) ⑨二戸市 ⑩一戸町 ⑪九戸村 ⑫久慈市 ⑬軽米町 ⑭洋野町 ⑮野田村 ⑯普代村
(県南) ⑰花巻市 ⑱北上市 ⑲金ケ崎町 ⑳奥州市 ㉑一関市 ㉒遠野市 ㉓西和賀町 ㉔平泉町
(沿岸) ㉕宮古市 ㉖釜石市 ㉗大船渡市 ㉘陸前高田市 ㉙田野畑村 ㉚岩泉町 ㉛山田町
㉜大槌町 ㉝住田町

(岩手県外) (都道府県名: _____)

(4) お子様の所属している学科をお答えください。

- ①普通科（英語科・理数科含む） ②総合学科（分野: _____）
③工業に関する学科 ④商業に関する学科 ⑤農業に関する学科
⑥水産業に関する学科 ⑦芸術・スポーツに関する学科 ⑧生活に関する学科
⑨福祉に関する学科 ⑩国際に関する学科 ⑪その他（ _____ ）

(5) 保護者の方が希望している、お子様の進路をお答えください。（複数回答可）

- ①大学 ②短大 ③専門学校（専修学校・各種学校含む） ④産業技術短期大学校* ⑤高等技術専門学校*
⑥就職 ⑦まだ考えていない ⑧その他（ _____ ）

* 岩手県が設置している県立職業能力開発施設です。（施設の詳細については、裏面をご参考ください）

(6) 保護者の方が希望している、お子様の進路先は、県内ですか。県外ですか。

- ①県内 ②県外 ③まだ決まっていない ④特にこだわらない ⑤その他（ _____ ）

(7) お子様には、進学や就職にあたって、どのような分野に進んでほしいと考えていますか。（2つ以内）

- ①土木・建築系 ②調理・栄養系 ③被服系 ④営業系
⑤機械・金属加工系 ⑥情報・通信系 ⑦電気・電子系 ⑧美術・デザイン系
⑨養護・保育系 ⑩自動車整備系 ⑪医療・福祉系 ⑫理容・美容系
⑬会計・経理事務系 ⑭法律・公務員系 ⑮動物・水産系 ⑯農業・園芸系
⑰教育・研究系 ⑱卸売・販売系 ⑲接客・ホテル系 ⑳旅行・観光系
㉑交通・運輸系 ㉒その他（ _____ ） ㉓まだわからない

(8) 職業や就職先を決める際に、重視してほしい点は何ですか。(2つ以内)

- ①給与・賃金が高いこと ②知名度が高いこと ③将来性や安定性があること ④好きな仕事であること
⑤知識や技術が活かせること ⑥社会貢献ができること ⑦職場の雰囲気が良いこと
⑧自分に適した仕事であること ⑨残業が少ないこと ⑩休暇制度の充実 ⑪子育て支援の充実
⑫資格取得支援の充実 ⑬通勤に便利であること ⑭社員寮等住環境の充実 ⑮家族や先生の勧め
⑯その他 () ⑰わからない

(9) 将来、岩手県内の事業所に就職してほしいですか。

- ①就職してほしい ②どちらかという就職してほしい ③特にこだわらない
④どちらかという就職してほしくない ⑤就職してほしくない

(10) (9)で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

- ①県内には希望する仕事がないから ②県内では最新の技術を身につけられないと思うから
③県内では大きな仕事ができないと思うから ④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから
⑤県外で生活させたいから ⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから
⑦県内企業をよく知らないから ⑧知人等が県外企業への就職を勧めるから
⑨その他 ()

【県立職業能力開発施設についてお伺いします。(※施設の詳細については、裏面をご参考ください。)

(11) 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか。(1つずつ)

- 産業技術短期大学校 : ①学べる分野を知っている ②学校名を知っている ③今回初めて知った
[矢巾キャンパス、水沢キャンパス]
■高等技術専門校 : ①学べる分野を知っている ②学校名を知っている ③今回初めて知った
[千厩校、宮古校、二戸校]

(12) お子様の進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

- 産業技術短期大学校 : ①興味がある ②少し興味がある ③あまり興味はない ④興味はない
■高等技術専門校 : ①興味がある ②少し興味がある ③あまり興味はない ④興味はない

(13) お子様を産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学させるとしたら、どの学科で学んでほしいですか。

(2つ以内)

- 産業技術短期大学校矢巾キャンパス ①メカトロニクス技術科 ②電子技術科 ③建築科
④産業デザイン科 ⑤情報技術科
■産業技術短期大学校水沢キャンパス ⑥生産技術科 ⑦電気技術科 ⑧建築設備科
■千厩高等技術専門校 ⑨自動車システム科
■宮古高等技術専門校 ⑩自動車システム科 ⑪金型技術科
■二戸高等技術専門校 ⑫自動車システム科 ⑬建築科

(14) 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が重要だと思いますか。

(2つ以内)

- ①より高度な技能・技術の習得 ②施設・設備の充実 ③指導体制の充実 ④魅力ある学科の新設
⑤立地条件 ⑥就職支援 ⑦イメージアップするためのPR ⑧定員の増加
⑨その他 ()

⇒裏面に続きます

【県北地域の産業技術人材の育成についてお伺いします。】

岩手県では、県北地域の産業技術人材の育成を強化するために、「二戸高等技術専門学校」の担う役割や在り方について、検討しています。以下のアンケートにつきましてもご協力をお願いします。（※県北地区以外の皆さんもアンケートのご協力をお願いいたします。）

(15) 二戸高等技術専門学校についてお伺いします。二戸高等技術専門学校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

- ①2学科とも知っていた ②「自動車システム科」のみ知っていた ③「建築科」のみ知っていた
④どちらも知らなかった

(16) 二戸高等技術専門学校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

- ①より高度な技能・技術の習得 ②施設・設備の充実 ③指導体制の充実 ④魅力ある学科の新設
⑤立地条件 ⑥就職支援 ⑦イメージアップするためのPR ⑧定員の増加
⑨高等技術専門学校を産業技術短期大学校に変更する
⑩その他（ ）

(17) 二戸高等技術専門学校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。Ⅰ～Ⅴ、それぞれにお答えください。

Ⅰ. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

Ⅱ. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

Ⅲ. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

Ⅳ. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

Ⅴ. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

Ⅵ. その他（自由記載： ）

(18) その他、意見・要望等（自由記述）

ご協力いただきありがとうございました。

県立職業能力開発施設について

○ **岩手県立産業技術短期大学校**

職業能力開発促進法に基づく職業能力開発短期大学校として岩手県が設置している施設で、矢巾キャンパスと水沢キャンパスがあります。新規高校卒業者を主な対象として、メカトロニクス技術科をはじめ 8 科において、2 年課程の高度職業訓練を実施しています。卒業後は、実践技術者として多くの県内企業に就職しています。

([令和元年度] 就職率99.3% (うち県内就職率 55.1%))

☆ **矢巾キャンパス**

- メカトロニクス技術科(修業年限2年、募集定員20名) 機械設計・加工技術と制御技術・電子回路設計技術を習得
- 電子技術科(修業年限2年、募集定員20名) マイクロ・コンピュータのハード及びソフトの設計・製作技術を習得
- 建築科(修業年限2年、募集定員20名) 木造住宅など建築物の設計・施工技術を習得
- 産業デザイン科(修業年限2年、募集定員20名) プロダクト・グラフィック・ウェブデザインの技術と技能を習得
- 情報技術科(修業年限2年、募集定員20名) システム構築、マルチメディア技術、ネットワーク構築技術を習得

☆ **水沢キャンパス**

- 生産技術科(修業年限2年、募集定員20名) 精密機械部品や金型等の設計・製作の技術を習得
- 電気技術科(修業年限2年、募集定員20名) 電気設備の設計・施工、電気機器のハード及びソフト技術を習得
- 建築設備科(修業年限2年、募集定員20名) 建築給排水設備、空調設備などの建築設備の設計施工技術を習得

[授業料等について]

区分	授業料	入学検定料	入学校	寄宿舎料
矢巾キャンパス	年額	18,000円	県内の住民 135,400円	月額
水沢キャンパス	390,000円		その他の住民 203,000円	4,300円



○ **岩手県立高等技術専門学校**

職業能力開発促進法に基づく職業能力開発校として岩手県が設置している施設で、一関市千厩町、宮古市、二戸市の3カ所に設置されています。

新規高校卒業者を主な対象として、自動車システムをはじめ 4 科において、2年課程の普通職業訓練を実施しています。

卒業後は、実践技術者として多くの県内企業に就職しています。([令和元年度] 就職率100%(うち県内就職率 68.6%))

また、宮古高等技術専門校の金型技術科において、1年課程の普通職業訓練を実施しています。

☆ **千厩高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員20名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得



☆ **宮古高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員15名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得
- 金型技術科(修業年限 1 年、募集定員10名)
金型設計、金型製作を中心に、高精度な機械加工技術を習得



☆ **二戸高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員20名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得
- 建築科(修業年限2年、募集定員15名)
建築大工の養成を目的とし、木造建築に関する知識と技術・技能を習得



[授業料等について]

区分	授業料	入校検定料	入校料	寄宿舎料	
千厩高等技術専門学校	年額 118,800円	2,200円	5,650円	月額 700円	
宮古高等 技術専門学校				居室 1 室当たりの定員 が 2 人の場合	月額 700円
				居室 1 室当たりの定員 が 1 人の場合	月額 1,400円
二戸高等技術専門学校				月額 1,000円	